

注3

大学番号：国062

[平成29年度設置]

計画の区分：研究科の設置

注1

事前伺い

鳥取大学大学院 持続性社会創生科学研究科

注2

【事前伺い】設置に係る設置計画履行状況報告書

国立大学法人 鳥取大学
平成29年5月1日現在

作成担当者

担当部局（課）名 総務企画部企画課

職名・氏名 企画課長 カワムラ マサル 川村 優

電話番号 0857-31-6745

（夜間） 0857-31-6745

FAX 0857-31-5035

e-mail ma-seisaku@adm.tottori-u.ac.jp

（注）1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には設置時の旧名称を記載し、その下欄に（ ）書きにて、現在の名称を記載してください。

例） 〇〇大学 △△学部 □□学科

（◇◇学部（平成◇◇年度より学科名称変更））

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例）

・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」

・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」

・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」

・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」

・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科（通信教育課程）」

3 大学番号の欄については、平成29年3月31日付事務連絡「大学等の設置に係る設置計画履行状況報告書等の提出について（依頼）」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

目次

持続性社会創生科学研究科

＜地域学専攻（博士前期課程）＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	6
3. 施設・設備の整備状況、経費	11
4. 既設大学等の状況	12
5. 教員組織の状況	15
6. 留意事項等に対する履行状況等	28
7. その他全般的事項	29

＜工学専攻（博士前期課程）＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	33
2. 授業科目の概要	37
3. 施設・設備の整備状況、経費	43
4. 既設大学等の状況	44
5. 教員組織の状況	47
6. 留意事項等に対する履行状況等	69
7. その他全般的事項	70

＜農学専攻（博士前期課程）＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	75
2. 授業科目の概要	79
3. 施設・設備の整備状況、経費	83
4. 既設大学等の状況	84
5. 教員組織の状況	87
6. 留意事項等に対する履行状況等	98
7. その他全般的事項	99

＜国際乾燥地科学専攻（博士前期課程）＞

ページ

1. 調査対象大学等の概要等	103
2. 授業科目の概要	107
3. 施設・設備の整備状況、経費	111
4. 既設大学等の状況	112
5. 教員組織の状況	115
6. 留意事項等に対する履行状況等	128
7. その他全般的事項	129

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設 置 者

国立大学法人 鳥取大学

(2) 大 学 名 鳥取大学

(3) 大学の位置

〒680 - 8550
鳥取県鳥取市湖山町南4丁目101番地

- (注)・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職 名	設 置 時	変 更 状 況	備 考
学 長	(テシマ リョウタ) 豊島 良太 (平成29年4月)		
研究科長	(ナカジマ ヒロミツ) 中島 廣光 (平成29年4月)		
専 攻 長	(フジイ タダシ) 藤井 正 (平成29年4月)		

- (注)・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例)平成27年度に報告済の内容 → (27)

平成29年度に報告する内容 → (29)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象研究科等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部・学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
 ・ 様式は、平成27年度開設の博士後期課程の場合(平成29年度までの3年間)ですが、開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が2年以下の場合には欄を削除し、4年以上の場合には、欄を設けてください。)

(5) - 調査対象研究科等の名称等

調査対象研究科等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画			備考
		修業年限	入学定員	収容定員	
持続性社会創生科学研究科 地域学専攻 (博士前期課程)	文学, 法学, 経済学, 社会学, 教育学・保育学	2年	20人	40人	基礎となる学部等 地域学部
地域創生コース 修士(地域学)		2	10	20	
人間形成コース 修士(教育学)		2	10	20	

- (注) ・ 「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
 ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前的人数, 変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
 ・ 学生募集停止を予定している場合は、「備考」にその旨記載してください。
 ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) - 調査対象研究科等の入学者の状況

【地域学専攻】

区 分	報告年度	平成29年度		平成30年度		平均入学定員 超 過 率	備 考
		春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員		20人 - 人 (-) [-]		人 人 () []		0.75 倍	
志願者数		19 (5) [7]	- (-) [-]	() () []	() () []		
受験者数		18 (5) [7]	- (-) [-]	() () []	() () []		
合格者数		16 (5) [5]	- (-) [-]	() () []	() () []		
B 入学者数		15 (5) [5]	- (-) [-]	() () []	() () []		
入学定員超過率 B / A		0.75					

【地域創生コース】

報告年度 区 分	平成29年度		平成30年度		平均入学定員 超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	10人 - 人 (-) [-]		人 人 () []		0.60 倍	
志願者数	9 (1) [4]	- (-) [-]	() () []	() () []		
受験者数	9 (1) [4]	- (-) [-]	() () []	() () []		
合格者数	7 (1) [2]	- (-) [-]	() () []	() () []		
B 入学者数	6 (1) [2]	- (-) [-]	() () []	() () []		
入学定員超過率 B / A	0.60					

【人間形成コース】

区 分	平成 2 9 年度		平成 3 0 年度		平均入学定員 超 過 率	備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	10人	- 人	人	人	0.90 倍	
	(-)		()			
	[-]		[]			
志願者数	10	-				
	(4)	(-)	()	()		
	[3]	[-]	[]	[]		
受験者数	9	-				
	(4)	(-)	()	()		
	[3]	[-]	[]	[]		
合格者数	9	-				
	(4)	(-)	()	()		
	[3]	[-]	[]	[]		
B 入学者数	9	-				
	(4)	(-)	()	()		
	[3]	[-]	[]	[]		
入学定員超過率 B / A	0.90					

- (注) ・ 数字は、平成 2 9 年 5 月 1 日現在の数字を記入してください。
- ・ () 内には、社会人の状況について **内数で** 記入してください。該当がない年には「 - 」を記入してください。
 - ・ 「社会人」については、認可申請書において貴学が定める社会人の定義に従って記入してください。
 - ・ [] 内には、留学生の状況について **内数で** 記入してください。該当がない年には「 - 」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「 - 」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「入学定員超過率」については、**各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出**してください。なお、計算の際は小数点以下第 3 位を切り捨て、小数点以下第 2 位まで記入してください。
 - ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお、計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。

(5) - 調査対象研究科等の在学者の状況

【地域学専攻】

学 年	報告年度		平成 2 9 年度		平成 3 0 年度		備 考
			春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1 年次	15		-				
	[5]		[-]	[]	[]	[]	
	(-)		(-)	()	()	()	
2 年次							
					[]	[]	
					()	()	
計	15						
	[5]				[]	[]	
	(-)				()	()	

【地域創生コース】

学 年	報告年度		平成 2 9 年度		平成 3 0 年度		備 考
			春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1 年次	6		-				
	[2]		[-]	[]	[]	[]	
	(-)		(-)	()	()	()	
2 年次							
					[]	[]	
					()	()	
計	6						
	[2]				[]	[]	
	(-)				()	()	

【人間形成コース】

学 年	報告年度		平成 2 9 年度		平成 3 0 年度		備 考
			春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1 年次	9		-				
	[3]		[-]	[]	[]	[]	
	(-)		(-)	()	()	()	
2 年次							
					[]	[]	
					()	()	
計	9						
	[3]				[]	[]	
	(-)				()	()	

- (注) ・ 数字は、平成 2 9 年 5 月 1 日現在の数字を記入してください。
- ・ [] 内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「 - 」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「 - 」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。
 - ・ () 内には、**留年者の状況について、内数で記入してください。**該当がない年には「 - 」を記入してください。

(5) - 調査対象学部等の退学者等の状況

【地域学専攻】

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成29年度 入学者	15 人	0 人	平成29年度	人	人		0.00 %
			平成30年度	人	人		
平成30年度 入学者	人	0 人	平成30年度	人	人		#DIV/0! %
合 計	15 人	0 人					0.00 %

【地域創生コース】

対象年度	入学者数 (b)	退学者数 (a)	退学者数 (内訳)			主な退学理由	入学者数に対する退学者数の割合 (a/b)
			退学者数 (内訳)				
			退学した年度	退学者数	退学者数のうち留学生数		
平成29年度 入学者	6 人	0 人	平成29年度	人	人		0.00 %
			平成30年度	人	人		
平成30年度 入学者	人	0 人	平成30年度	人	人		#DIV/0! %
合 計	6 人	0 人					0.00 %

【人間形成コース】

区分 対象年度	入学者数 (b)	退学者数 (a)	退学者数 (内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成29年度 入学者	9 人	0 人	平成29年度	人	人		0.00 %
			平成30年度	人	人		
平成30年度 入学者	人	0 人	平成30年度	人	人		#DIV/0! %
合 計	9 人	0 人					0.00 %

(注)・ 数字は、平成29年5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各年度の入学者数については、該当年度当初に入学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- ・各年度の退学者数については、退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・留学生については、「『出入国管理及び難民認定法』別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）」により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- ・短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- ・「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度の入学者のうち、平成29年5月1日現在までに退学した学生数の合計】を、【当該対象年度の入学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位までを記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
 ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

2 授業科目の概要

＜持続性社会創生科学研究科 地域学専攻（博士前期課程）＞

（1）授業科目表

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					備 考
			必 修	選 択	自 由	教 授	准教授	講 師	助 教	助 手	
研究科共通科目	基盤科目	持続性社会創生科学概論 1	1	1							兼7 オムニバス
		持続性社会創生科学概論 2	1	1		2	2				兼2 オムニバス 担当教員の死去及び授業計画の見直しにより、教員配置を変更
		持続性社会創生技術論 1	1	1		3					兼1
		持続性社会創生技術論 2	1	1							兼1
		起業・知財論	1	1							兼1
		研究者倫理	1	1							兼1
	環境		1								
		国際乾燥地科学特論（環境）	1	2							兼7 オムニバス 教職課程認定申請に当たり授業内容を明確にするため、科目名を変更（29）
		国際乾燥地科学特論（食糧・農業）	1	2							兼7 オムニバス 教職課程認定申請に当たり授業内容を明確にするため、科目名を変更（29）
											8
		生命環境農学特論（里地里山環境）	1	2							兼3 オムニバス 教職課程認定申請に当たり授業内容を明確にするため、科目名を変更（29） 教育効果充実のため、担当教員を追加（29）
											5
		生命環境農学特論（生産資源環境）	1	2							兼3 オムニバス 教職課程認定申請に当たり授業内容を明確にするため、科目名を変更（29） 教育効果充実のため、担当教員を追加（29）
											8
		生命環境農学特論（生命環境科学）	1	2							兼3 オムニバス 教職課程認定申請に当たり授業内容を明確にするため、科目名を変更（29） 教育効果充実のため、担当教員を追加（29）
		グリーンサステナブルケミストリー特論	1	2							兼1
		バイオ資源特論	1	1							兼1
		エネルギー化学特論	1	1							兼3
		再生可能エネルギー特論	1	2							兼1
		サステナブル資源利用特論	1	2							兼1
	地域	地域経済学特論	1	2							兼1
		地域経済学特論	1 ~	2		1					兼1
		戦略的経営論	1 ~	2							兼1
		マーケティング特論	1 ~	2							
		地域づくりとリスクマネジメント	1	1							兼1
		計算社会科学	1	2							兼1
		地域づくりの心理学	1	1							兼1
		スマート社会技術論	1	2							兼1
		自然災害科学概論	1	2							11 兼12 オムニバス 担当教員の異動により、教員配置を変更（29）
	グローバル	国際乾燥地科学特論（人間開発）	1	2							兼7 オムニバス 教職課程認定申請に当たり授業内容を明確にするため、科目名を変更（29）
		国際協力特論	1	2							兼1
		国際交流と異文化理解	1 ~	2		1					
			1 ~								
		コミュニティ特論	1 ~	2		1	1				担当教員の死去により、配当学期及び教員配置を変更（29）
		文化多様性特論	1 ~	2			1				
		比較国際教育特論	1 ~	2			1				
		人間形成特論	1	2			1				
		人権教育特論	1	2			1				兼1 担当教員の異動により、教員配置を変更（29）

科目 区分		授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					備 考				
				必 修	選 択	自 由	教 授	准教授	講 師	助 教	助 手					
基 幹 科 目		特別研究	1通	4			23	29 27	1				担当教員の異動・新規採用等により、教員配置 を変更（29）			
		特別研究	2通	4			23	27	1				担当教員の異動・新規採用等により、教員配置 を変更（29）			
		小計（2科目）	-	8	0	0	23	27	1	0	0	0	-			
	専 門 科 目	地 域 展 開 科 目	地 域 創 生 コ ー ス	政策分析特論	1・2	-		2		1						
地域リテラシー特論				1・2	-		2		2	1					オムニバス	
都市地域特論				1・2	-		2		1							
地域福祉学特論				1・2	-		2			1						
地域政治学特論				1・2	-		2			1						
農村地域特論				1・2	-		2			1						
地域と法				1・2	-		2			1					授業計画の見直しにより、配当時期を変更 （29）	
未開講				1・2	-										履修希望者がいなかったため、未開講（29）	
行政法特論				1	-		2			1					授業計画の見直しにより、配当時期を変更 （29）	
地域参画特論				1	-		1			1						
世界システム特論				1	-		2			1						
地域社会研究特論				1	-		2		1					兼1	新規採用に伴う授業計画の変更により、教員配 置を変更（29）	
環境社会学特論				1・2	-		2		1							
未開講				1・2	-											
地域企業特論				1・2	-		2			1					履修希望者がいなかったため、未開講（29）	
地域フィールドワーク学				1	-		1		2						オムニバス	
地域マネジメント学特別講義				1	-		1								兼2	オムニバス
異分野融合地域プロジェクト				1	-		2			1	1				兼2	オムニバス 授業計画の見直しにより、教員配 置を変更（29）
1									2	2						
地域経営工学特論				1	-		2								兼1	授業計画の見直しにより、配当時期を変更 （29）
東アジア地域文化特論				1	-		2				1					
アフリカ文化特論				1	-		2				1					
フランス地域文化史特論				1	-		2		1							
ヨーロッパ地域芸術特論				1	-		2		1							
日本地域史特論				1	-		2		1							
創造地域特論				1	-		2				1				兼1	新規採用に伴う授業計画の変更により、教員配 置を変更（29）
未開講				1	-											
英語学特論				1	-		2					1				履修希望者がいなかったため、未開講（29）
日本近代文化特論				1	-		2				1					
未開講				1	-											
日本語学特論				1	-		2		1							履修希望者がいなかったため、未開講（29）
日本古典文化特論				1	-		2				1					
歴史遺産学特論				1	-		2				1					
未開講				1	-											
環境考古学特論				1	-		2				1					履修希望者がいなかったため、未開講（29）
未開講				1	-											
保存科学特論				1	-		2				1					履修希望者がいなかったため、未開講（29）
芸術表現研究				1	-		2			2		1				オムニバス
自治法論ゼミ				1・2	-		2			1	3					オムニバス
地域活性化論ゼミ				1・2	-		2			1	2	1				オムニバス 授業計画の見直しにより、担当教 員を追加（29）
							1	2								
コミュニティ論ゼミ	1・2	-		2			2	1	1				オムニバス 担当教員の死去及び授業計画の見 直しにより、教員配置を変更 （29）			
文化交流論ゼミ	1・2	-		2			1	1					オムニバス			
日本古典文化論ゼミ	1・2	-		2				1								
日本近代文化論ゼミ	1・2	-		2				1								
日本語学ゼミ	1・2	-		2			1									
英語学ゼミ	1・2	-		2					1							
アメリカ地域文化論ゼミ	1・2	-		2				1								
中・東欧地域文化論ゼミ	1・2	-		2			1									
東アジア文化論ゼミ	1・2	-		2				1								
フランス地域文化史ゼミ	1・2	-		2			1									
日本地域史ゼミ	1・2	-		2			1									
芸術文化ゼミ	1・2	-		2			2	1	1				オムニバス			
歴史環境学ゼミ	1・2	-		2				1								
環境考古学ゼミ	1・2	-		2				1								
保存科学ゼミ	1・2	-		2				1								

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					備 考	
			必 修	選 択	自 由	教 授	准教授	講 師	助 教	助 手		
専門科目	展開科目 人間形成コース	臨床発達心理学特論	1 ~	2		1						
		教育心理学特論	1 ~	2		1						
		発達心理学特論	1 ~	2			1					
		未開講										
		教育臨床心理学特論	1 ~	2				1				履修希望者がいなかったため、未開講（29）
		認知・学習心理学特論	1 ~	2			1					
		教育臨床心理学研究	1・2 ~	2		1						隔年
		未開講										
		学校カウンセリング特論	1・2 ~	2							兼1	隔年 隔年開講のため、未開講（29）
		未開講										
		学校心理学特論	1・2 ~	2							兼1	隔年 隔年開講のため、未開講（29）
		生徒指導心理学特論	1・2 ~	2							兼1	隔年
		障害児等教育学特論	1 ~	2		1						
		障害児等発達心理学特論	1 ~	2		1						
		障害児等病理学特論	1 ~	2				1				
		未開講										
		保育総合研究	1 ~	2		1	2					オムニバス 履修希望者がいなかったため、未開講（29）
		学校教育実践総合研究	1 ~	2		1						
		障害児等発達診断研究	1・2 ~	2		1						隔年
		特別なニーズ教育研究	1・2 ~	2		1						隔年
		障害児等神経生理学研究	1・2 ~	2				1				隔年
		未開講										
		障害児等教育臨床心理学研究	1・2 ~	2		1						隔年 隔年開講のため、未開講（29）
		未開講										
		障害児等教育思想・制度史研究	1・2 ~	2		1						隔年 隔年開講のため、未開講（29）
		未開講										
		障害児等認知神経科学研究	1・2 ~	2				1				隔年 隔年開講のため、未開講（29）
		コミュニケーション障害特論	1・2 ~	2							兼1	隔年
		未開講										
		障害児療育学特論	1・2 ~	2							兼1	隔年 隔年開講のため、未開講（29）
		障害児教育授業特論	1・2 ~	2							兼1	隔年
		発達障害医学特論	1・2 ~	2							兼1	隔年
		未開講										
		教育社会学特論	1 ~	2			1					履修希望者がいなかったため、未開講（29）
		社会教育学特論	1 ~	2			1					
		教育課程特論	1 ~	2		1						
		未開講										
		教育学研究	1 ~	2			1					履修希望者がいなかったため、未開講（29）
		未開講										
		教育史研究	1 ~	2				1			兼1	履修希望者がいなかったため、未開講（29） 担当教員の異動により、教員配置を変更（29）
		教育社会学研究	1 ~	2				1				
		社会教育学研究	1 ~	2				1				
		教育評価研究	1 ~	2		1						
		比較国際教育研究	1 ~	2				1				
		保育学特論	1 ~	2				1				
		保育心理学特論	1 ~	2				1				
		保育環境特論	1 ~	2		1						
		保育学研究	1 ~	2				1				
		保育心理学研究	1 ~	2				1				
		保育環境研究	1 ~	2		1						
		学習支援特論	1 ~	2		1						
		未開講										
		算数教育研究方法論	1 ~	2			1					履修希望者がいなかったため、未開講（29）
		言語学習支援特論	1 ~	2		1	1					オムニバス 授業計画の見直しにより、教員配置を変更（29）
		社会科学学習支援特論	1 ~	2			1					
		未開講										
		自然認識学習支援特論	1 ~	2		1						履修希望者がいなかったため、未開講（29）
		英語学習支援特論	1 ~	2		1						
		生活科学学習支援特論	1 ~	2		1						
		音楽表現学習支援特論	1 ~	2				1				
		未開講										
		造形学習支援特論	1 ~	2				1				履修希望者がいなかったため、未開講（29）
		健康スポーツ学習支援特論	1 ~	2			1					
		算数教育の教材開発研究	1 ~	2		1						
		言語学習教材開発研究	1 ~	2		1	1					オムニバス

科目 区分				授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					備 考	
						必 修	選 択	自 由	教 授	准教授	講 師	助 教	助 手		
専門科目 展開科目 人間形成コース	社会科教材開発研究			1 ~		2			1						
	自然認識教材開発研究			1 ~		2		1							
	英語学習教材開発研究			1 ~		2		1							
	生活科学学習教材開発研究			1 ~		2		1							
	音楽表現教材開発研究			1 ~		2			1						
	造形教材開発研究			1 ~		2				1					
	健康スポーツ方法開発研究			1 ~		2			1						
	算数教育認識論			1 ~		2			1						
合計（142科目）				-	9	266	0	25	32 30	8	0	0	87 兼27	-	

- （注）・ 認可申請書の様式第2号（その2の1）に準じて作成してください。
- ・ 設置認可時の授業科目全て（兼任，兼任教員が担当する科目を含む。）を黒字で記載してください。その上で，前年度報告時（平成28年度に認可（届出）された大学等は設置認可（届出）時）より変更されているものは赤字見え消し修正し，「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
 - ・ なお，昨年度の報告書において赤字で見え消した部分については，見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 兼任，兼担の教員が担当する授業科目については，備考欄に担当する教員数を「兼○」と記入してください。
 - ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合で，専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては，「専任教員採用等設置計画変更書」の審査予定年月等を「備考」に記入してください。（今後審査を受ける場合には，「平成○年○月 提出予定」と記入してください。）
 - ・ 「配当年次」について，設置認可申請時に開講時期を記入する必要がなかった学部等（平成19年度認可以前）についても，設置認可時の状況を黒字で記入してください。また，前年度報告時より修正があれば，赤字で見え消し修正をしてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

（2）授業科目数

設 置 時 の 計 画				変 更 状 況				備 考
必 修	選 択	自 由	計（A）	必 修	選 択	自 由	計	
科目 3	科目 139	科目 0	科目 142	科目 3	科目 139	科目 0	科目 142	
				[0]	[0]	[0]	[2]	

- （注）・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに，[] 内に，設置時の計画からの増減を記入してください。（記入例：1科目減の場合： 1）

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単 位 数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由，代替措置の有無
1	学校カウンセリング特論	2	1・2 ～	専門	選択	隔年開講のため（平成30年度開講）(29)
2	学校心理学特論	2	1・2 ～	専門	選択	隔年開講のため（平成30年度開講）(29)
3	障害児等教育臨床心理学研究	2	1・2 ～	専門	選択	隔年開講のため（平成30年度開講）(29)
4	障害児等教育思想・制度史研究	2	1・2 ～	専門	選択	隔年開講のため（平成30年度開講）(29)
5	障害児等認知神経科学研究	2	1・2 ～	専門	選択	隔年開講のため（平成30年度開講）(29)
6	障害児療育学特論	2	1・2 ～	専門	選択	隔年開講のため（平成30年度開講）(29)

- (注)・ 設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず，何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお，理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については，記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は，「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単 位 数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由，代替措置の有無
1						
2						
3						

該当なし

- (注)・ 設置時の計画にあり，何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお，理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は，「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

大学の所見...未開講の科目はすべて隔年で開講されるため，学生に特に影響はない。
学生への周知方法...隔年開講の科目については，履修の手引きの冊子類及び新入生オリエンテーションにより周知している。

- (注)・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{6}{142} = \boxed{4.22} \%$$

- (注)・ 小数点以下第3位を切り捨て，小数点以下第2位までを記入してください。
- ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が，「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容					備考		
(1) 校地等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計		大学全体 その他のうち、 附属病院 51,492㎡		
	校 舎 敷 地	250,060 ㎡	0 ㎡	0 ㎡	250,060 ㎡				
	運動場用地	123,946 ㎡	0 ㎡	0 ㎡	123,946 ㎡				
	小 計	374,006 ㎡	0 ㎡	0 ㎡	374,006 ㎡				
	そ の 他	9,321,100 ㎡	0 ㎡	0 ㎡	9,321,100 ㎡				
	合 計	9,695,106 ㎡	0 ㎡	0 ㎡	9,695,106 ㎡				
(2) 校 舎		専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計		大学全体 別途附属病院 72,428㎡		
		132,192 ㎡ (132,192 ㎡)	0 ㎡ (0 ㎡)	0 ㎡ (0 ㎡)	132,192 ㎡ (132,192 ㎡)				
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設		持続性社会創生科学研究科地域学専攻		
	11 室	12 室	13 室	0 室 (補助職員 0人)	0 室 (補助職員 0人)				
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数					
	持続性社会創生科学研究科 地域学専攻			73 室					
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等の 名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕 点	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	図書、学術雑誌及び視聴覚資料は、研究科及び専攻単位での特定不能なため、鳥取地区全体の数 機械・器具及び標本は、持続性社会創生科学研究科地域学専攻	
	持続性社会 創生科学研究科 地域学専攻	541,091〔112,417〕 (541,091〔112,417〕)	9,944〔2,513〕 (9,944〔2,513〕)	4,040〔4,040〕 (4,040〔4,040〕)	4,725 (4,725)	1,040 (1,040)	6 (6)		
	計	541,091〔112,417〕 (541,091〔112,417〕)	9,944〔2,513〕 (9,944〔2,513〕)	4,040〔4,040〕 (4,040〔4,040〕)	4,725 (4,725)	1,040 (1,040)	6 (6)		
(6) 図 書 館	面 積	閱 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数			鳥取地区		
	4,380 ㎡	663 席		463,083 冊					
(7) 体 育 館	面 積	体育館以外のスポーツ施設の概要					鳥取地区		
	2,261 ㎡	武道館，弓道場，陸上競技場，野球場，テニスコート，ラグビー兼サッカー場，水泳プール							
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	
		教員1人当り研究費等	- 千円	- 千円	図書購入費	- 千円	- 千円	- 千円	
	共 同 研 究 費 等	- 千円	- 千円	設備購入費	- 千円	- 千円	- 千円		
	学生1人当り 納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次		
	- 千円	- 千円	- 千円	- 千円	- 千円	- 千円			
	学生納付金以外の維持方法の概要		-						

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成29年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(29)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
 - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4 既設大学等の状況

大学 学 校 名 称	鳥 取 大 学								備 考
既設学部等の名称	修業 年限	入 定 学 員	編入学 定 員	収 容 定 員	学位又は 称号	平均入学 定員 超過率	開 設 年 度	所 在 地	
A C 対象学部等	年	人	年次 人	人		倍			
持続性社会創生科学研究科									
地域学専攻	2	20	-	40		0.75	平成29年度	鳥取県鳥取市湖山町 南4丁目101番地	
地域創生コース	2	10	-	20	修士 (地域学)	0.60	平成29年度	同上	
人間形成コース	2	10	-	20	修士 (教育学)	0.90	平成29年度	同上	
工学専攻	2	165	-	330	修士 (工学又は 学術)	1.18	平成29年度	同上	
農学専攻	2	46	-	92	修士 (農学)	0.78	平成29年度	同上	
国際乾燥地科学専攻	2	20	-	40	修士 (農学又は 学術)	0.95	平成29年度	同上	
< 学部 >									
地域学部									
地域学科	4	170	-	680	学士 (地域学)	1.08	平成29年度	鳥取県鳥取市湖山町 南4丁目101番地	
地域創造コース	4	60	-	240	学士 (地域学)	1.08	平成29年度	同上	
人間形成コース	4	55	-	220	学士 (地域学)	1.07	平成29年度	同上	
国際地域文化コース	4	55	-	220	学士 (地域学)	1.1	平成29年度	同上	
地域政策学科	4	-	-	-	学士 (地域学)	-	平成16年度	同上	平成29年度から学生 募集停止
地域教育学科	4	-	-	-	学士 (地域学)	-	平成16年度	同上	平成29年度から学生 募集停止
地域文化学科	4	-	-	-	学士 (地域学)	-	平成16年度	同上	平成29年度から学生 募集停止
地域環境学科	4	-	-	-	学士 (地域学)	-	平成16年度	同上	平成29年度から学生 募集停止
医学部									
医学科	6	105	2年次 5	655	学士 (医学)	1.00	昭和24年度	鳥取県米子市西町 86番地	
生命科学科	4	40	-	160	学士 (生命科学)	1.03	平成2年度	同上	
保健学科						1.01	平成11年度	同上	
看護学専攻	4	80	3年次 2	324	学士 (看護学)	1.01	平成11年度	同上	平成28年度から3年次編入 学定員を変更
検査技術科学専攻	4	40	-	160	学士 (保健学)	1.01	平成11年度	同上	平成28年度から3年次編入 学定員を変更
工学部									
機械物理系学科	4	115	-	460	学士 (工学)	1.01	平成27年度	鳥取県鳥取市湖山町 南4丁目101番地	

電気情報系学科	4	125	-	500	学士 (工学)	1.02	平成27年度	同上	
化学バイオ系学科	4	100	-	400	学士 (工学)	1.03	平成27年度	同上	
社会システム土木系学科	4	110	-	440	学士 (工学)	1.02	平成27年度	同上	
機械工学科	4	-	-	-	学士 (工学)	-	平成元年度	同上	平成27年度から学生募集停止
知能情報工学科	4	-	-	-	学士 (工学)	-	平成元年度	同上	平成27年度から学生募集停止
電気電子工学科	4	-	-	-	学士 (工学)	-	平成元年度	同上	平成27年度から学生募集停止
物質工学科	4	-	-	-	学士 (工学)	-	平成元年度	同上	平成27年度から学生募集停止
生物応用工学科	4	-	-	-	学士 (工学)	-	平成元年度	同上	平成27年度から学生募集停止
土木工学科	4	-	-	-	学士 (工学)	-	平成元年度	同上	平成27年度から学生募集停止
社会開発システム工学科	4	-	-	-	学士 (工学)	-	平成元年度	同上	平成27年度から学生募集停止
応用数理工学科	4	-	-	-	学士 (工学)	-	平成7年度	同上	平成27年度から学生募集停止
農学部									
生命環境農学科	4	220	-	880	学士 (農学)	1.05	平成29年度	鳥取県鳥取市湖山町南4丁目101番地	
生物資源環境学科	4	-	-	-	学士 (農学)	-	平成11年度	同上	平成29年度から学生募集停止
共同獣医学科	6	35	-	210	学士 (獣医学)	1.02	平成25年度	同上	
獣医学科	6	-	-	-	学士 (獣医学)	-	昭和24年度	同上	平成25年度から学生募集停止
< 大学院 >									
地域学研究科									
地域創造専攻	2	-	-	-	修士 (地域学)	-	平成19年度	鳥取県鳥取市湖山町南4丁目101番地	平成29年度から学生募集停止
地域教育専攻	2	-	-	-	修士 (教育学)	-	平成19年度	同上	平成29年度から学生募集停止
医学系研究科									
修士課程									
臨床心理学専攻	2	6	-	12	修士 (臨床心理学)	1.66	平成21年度	鳥取県米子市西町86番地	平成6年度、医学研究科から名称変更
博士課程									
医学専攻	4	30	-	120	博士 (医学)	1.00	平成16年度	同上	
博士前期課程									
生命科学専攻	2	10	-	20	修士 (生命科学)	1.00	平成6年度	同上	平成16年度、生命科学系専攻から名称変更
機能再生医科学専攻	2	11	-	22	修士 (再生医科学)	1.76	平成15年度	同上	
保健学専攻	2	14	-	28	修士 (保健学)	0.99	平成16年度	同上	
博士後期課程									
生命科学専攻	3	5	-	15	博士 (生命科学)	0.33	平成8年度	同上	平成16年度、生命科学系専攻から名称変更
機能再生医科学専攻	3	7	-	21	博士 (再生医科学)	0.42	平成15年度	同上	
保健学専攻	3	4	-	12	博士 (保健学)	1.58	平成20年度	同上	

工学研究科									
博士前期課程									
機械宇宙工学専攻	2	-	-	-	修士 (工学)	-	平成20年度	鳥取県鳥取市湖山町 南4丁目101番地	平成29年度から学生 募集停止
情報エレクトロニクス専攻	2	-	-	-	修士 (工学)	-	平成20年度	同上	平成29年度から学生 募集停止
化学・生物応用工学専攻	2	-	-	-	修士 (工学)	-	平成20年度	同上	平成29年度から学生 募集停止
社会基盤工学専攻	2	-	-	-	修士 (工学)	-	平成20年度	同上	平成29年度から学生 募集停止
博士後期課程									
機械宇宙工学専攻	3	6	-	18	博士 (工学)	0.38	平成20年度	同上	
情報エレクトロニクス専攻	3	6	-	18	博士 (工学)	0.33	平成20年度	同上	
化学・生物応用工学専攻	3	4	-	12	博士 (工学)	1.00	平成20年度	同上	
社会基盤工学専攻	3	5	-	15	博士 (工学)	0.40	平成20年度	同上	
農学研究科									
修士課程									
フィールド生産科学専攻	2	-	-	-	修士 (農学)	-	平成21年度	鳥取県鳥取市湖山町 南4丁目101番地	平成29年度から学生 募集停止
生命資源科学専攻	2	-	-	-	修士 (農学)	-	平成21年度	同上	平成29年度から学生 募集停止
国際乾燥地科学専攻	2	-	-	-	修士 (農学)	-	平成21年度	同上	平成29年度から学生 募集停止
連合農学研究科									
博士課程									
生物生産科学専攻	3	6	-	18	博士 (農学)	0.66	平成元年度	鳥取県鳥取市湖山町 南4丁目101番地	
生物環境科学専攻	3	4	-	12	博士 (農学)	1.00	平成元年度	同上	
生物資源科学専攻	3	4	-	12	博士 (農学)	0.83	平成元年度	同上	
国際乾燥地科学専攻	3	3	-	9	博士 (農学)	2.77	平成21年度	同上	

(注)・本調査の対象となっている大学等の設置者(学校法人等)が設置している全ての大学(学部,学科),大学院(専攻)及び短期大学(学科)(AC対象学部等含む)について,それぞれの学校種ごとに,平成29年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。

・学部の学科または研究科の専攻等,「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。

「入学定員を定めている組織ごと」には,課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。

なお,課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は,法令上規定されている組織上の最小単位(大学であれば「学科」,短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。

・専攻科に係るものについては,記入する必要はありません。

・AC対象学部等についても必ず記入してください。

・「平均入学定員超過率」には,標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点以下第2位まで(小数点以下第3位を切り捨て)を記入してください。

・学生募集を停止している学部等がある場合,入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「-」とし,「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。

5 教員組織の状況

<持続性社会創生科学研究科 地域学専攻（博士前期課程）>

（１）担当教員表

設 置 時 の 計 画					変 更 状 況					備 考
専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専	教授	小野 達也 (57)	平成29年 4 月	持続性社会創生科学概論2 政策分析特論 地域リサーチ特論 地域フィールドワーク学 異分野融合地域プロジェクト 自治法論ゼミ 特別研究 特別研究						
専	教授	仲野 誠 (52)	平成29年 4 月	持続性社会創生科学概論2	専	教授	仲野——誠 (52)	平成29年 4 月	持続性社会創生科学概論2	平成28年10月担当教員死去のため、削除(29)
				コミュニティ特論 コミュニティ論ゼミ 特別研究 特別研究	専	准教授	稲津 秀樹 (33)	平成29年 4 月	コミュニティ特論 コミュニティ論ゼミ 特別研究 特別研究	担当教員死去のため、担当教員を変更(29) 担当教員死去のため、担当教員を変更(29) 担当教員死去のため、担当教員を変更(29) 担当教員死去のため、担当教員を変更(29)
専	教授	多田憲一郎 (56)	平成29年 4 月	持続性社会創生科学概論2 地域経済学特論 特別研究 特別研究						
専	教授	CATES ALEXANDER KIPPEN (63)	平成29年 4 月	国際交流と異文化理解 文化交流論ゼミ 特別研究 特別研究						
専	教授	藤井 正 (60)	平成29年 4 月	地域リサーチ特論 地域フィールドワーク学 特別研究 特別研究						
専	教授	山下 博樹 (52)	平成29年 4 月	都市地域特論 地域活性化論ゼミ 特別研究 特別研究						
専	教授	家中 茂 (63)	平成29年 4 月	環境社会学特論 コミュニティ論ゼミ 特別研究 特別研究						
専	教授	柳原 邦光 (61)	平成29年 4 月	フランス地域文化史特論 フランス地域文化史ゼミ 特別研究 特別研究						
専	教授	内藤 久子 (59)	平成29年 4 月	ヨーロッパ地域芸術特論 中・東欧地域文化論ゼミ 特別研究 特別研究						

専	教授	岸本 覚 (49)	平成29年 4 月	日本地域史特論 日本地域史ゼミ 特別研究 特別研究						
専	教授	榎木 久薫 (61)	平成29年 4 月	日本語学特論 日本語学ゼミ 特別研究 特別研究						
専	教授	西岡 千秋 (61)	平成29年 4 月	芸術表現研究 特別研究 特別研究						
専	教授	五島 朋子 (53)	平成29年 4 月	芸術表現研究 特別研究 特別研究						
専	教授	石谷 孝二 (64)	平成29年 4 月	芸術文化ゼミ						
専	教授	平井 覚 (62)	平成29年 4 月	芸術文化ゼミ 特別研究 特別研究						
専	教授	寺川志奈子 (54)	平成29年 4 月	臨床発達心理学特論 教育心理学特論 特別研究 特別研究						
専	教授	小林 勝年 (57)	平成29年 4 月	教育臨床心理学研究 障害児等発達心理学特論 障害児等発達診断研究 障害児等教育臨床心理学研究 特別研究 特別研究						
専	教授	三木 裕和 (61)	平成29年 4 月	障害児等教育学特論 特別なニーズ教育研究 障害児等教育思想・制度史研究 特別研究 特別研究						
専	教授	塩野谷 斉 (54)		保育総合研究 保育環境特論 保育環境研究 特別研究 特別研究						
専	教授	矢部 敏昭 (61)	平成29年 4 月	学校教育実践総合研究 学習支援特論 算数教育の教材開発研究 特別研究 特別研究						
専	教授	山根 俊喜 (60)	平成29年 4 月	教育課程特論 教育評価研究 特別研究 特別研究						
専	教授	住川 英明 (59)	平成29年 4 月	言語学習支援特論 言語学習教材開発研究 特別研究 特別研究					言語学習支援特論	授業計画の見直しにより，削除（29）

専	教授	高橋ちぐさ (64)	平成29年 4 月	自然認識学習 支援特論 自然認識教材 開発研究 特別研究 特別研究							
専	教授	足立 和美 (64)	平成29年 4 月	英語学習支援 特論 英語学習教材 開発研究							
専	教授	福田 恵子 (53)	平成29年 4 月	生活科学学習 支援特論 生活科学学習 教材開発研究 特別研究 特別研究							
専	教授	未定		異分野融合地 域プロジェクト	兼任	教授	谷本 圭志 (46)	平成29年 4 月	異分野融合地域プロジェクト	担当教員を決定 (29)	
					専	教授	川井田祥子 (55)	平成29年 4 月	特別研究 特別研究	新規採用に伴い、担当教員を追加 (29) 新規採用に伴い、担当教員を追加 (29)	
専	准教授	竹川 俊夫 (49)	平成29年 4 月	持続性社会創 生科学概論 2 地域福祉学特論 コミュニティ論ゼミ 特別研究 特別研究							
専	准教授	馬場 芳 (43)	平成29年 4 月	持続性社会創 生科学概論 2 地域企業特論 地域活性化論 ゼミ 特別研究 特別研究							
専	准教授	中 朋美 (41)	平成29年 4 月	文化多様性特論 文化交流論ゼミ アリア地域文化 論ゼミ 特別研究 特別研究							
専	准教授	柿内 真紀 (51)	平成29年 4 月	比較国際教育 特論 比較国際教育 研究							
専	准教授	河合 務 (45)	平成29年 4 月	人間形成特論 教育学研究 特別研究 特別研究							
専	准教授	一盛 真 (53)	平成29年 4 月	人権教育特論 教育史研究	兼任					平成29年 3 月担当教員他大学へ転出の ため、兼任から変更 (29)	
				特別研究 特別研究					特別研究— 特別研究—	平成29年 3 月担当教員他大学へ転出に 伴い、削除 (29) 平成29年 3 月担当教員他大学へ転出に 伴い、削除 (29)	
専	准教授	筒井 一伸 (42)	平成29年 4 月	地域リサーチ特論 農村地域特論 異分野融合地 域プロジェクト 地域活性化論 ゼミ 特別研究 特別研究							
専	准教授	塩沢 健一 (38)	平成29年 4 月	地域政治学特論 地域参画特論 自治法論ゼミ 特別研究 特別研究							

専	准教授	丸 祐一 (43)	平成29年 4 月	地域と法 自治法論ゼミ 特別研究 特別研究						
専	准教授	佐藤 匡 (41)	平成29年 4 月	行政法特論 自治法論ゼミ 特別研究 特別研究						
専	准教授	武田 元有 (47)	平成29年 4 月	世界法特論						
専	准教授	柳 静我 (47)	平成29年 4 月	東アジア地域文 化特論 東アジア文化論 ゼミ 特別研究 特別研究						
専	准教授	茨木 透 (61)	平成29年 4 月	アジア文化特論 特別研究 特別研究						
専	准教授	岡村 知子 (35)	平成29年 4 月	日本近代文化 特論 日本近代文化 論ゼミ 特別研究 特別研究						
専	准教授	久保 堅一 (38)	平成29年 4 月	日本古典文化 特論 日本古典文化 論ゼミ 特別研究 特別研究						
専	准教授	高田 健一 (47)	平成29年 4 月	歴史遺産学特論 歴史環境学ゼミ 特別研究 特別研究						
専	准教授	中原 計 (40)	平成29年 4 月	環境考古学特論 環境考古学ゼミ 特別研究 特別研究						
専	准教授	李 素妍 (38)	平成29年 4 月	保存科学特論 保存科学ゼミ 特別研究 特別研究						
専	准教授	筒井 宏樹 (38)	平成29年 4 月	芸術文化ゼミ 特別研究 特別研究						
専	准教授	田中 大介 (41)	平成29年 4 月	発達心理学特論 認知・学習心 理学特論 特別研究 特別研究						
専	准教授	高橋 千枝 (45)	平成29年 4 月	保育総合研究 保育心理学特論 保育心理学研究 特別研究 特別研究						
専	准教授	畑 千鶴乃 (44)	平成29年 4 月	保育総合研究 保育学特論 保育学研究 特別研究 特別研究						
専	准教授	兒島 明 (48)	平成29年 4 月	教育社会学特論 教育社会学研究 特別研究 特別研究						

専	准教授	大谷 直史 (48)	平成29年 4 月	社会教育学特論 社会教育学研究						
専	准教授	溝口 達也 (52)	平成29年 4 月	算数教育研究 方法論 算数教育認識論 特別研究 特別研究						
専	准教授	小笠原 拓 (44)	平成29年 4 月	言語学習支援 特論 言語学習教材 開発研究 特別研究 特別研究						
専	准教授	高橋 健司 (52)	平成29年 4 月	社会科学学習支 援特論 社会科教材開 発研究 特別研究 特別研究						
専	准教授	鈴木慎一郎 (43)	平成29年 4 月	音楽表現学習 支援特論 音楽表現教材 開発研究 特別研究 特別研究						
専	准教授	関 耕二 (39)	平成29年 4 月	健康ｽﾍﾞｰﾙ学 習支援特論 健康ｽﾍﾞｰﾙ方 法開発研究 特別研究 特別研究						
専	准教授	長柄 裕美 (60)	平成29年 4 月	特別研究 特別研究						
専	准教授	未定		異分野融合地 域ﾌﾞﾛｯｸ外	兼担	准教授	桑野 将司 (36)	平成29年 4 月	異分野融合地域ﾌﾞﾛｯｸ外	担当教員を決定(29)
					専	准教授	竹内 潔 (36)	平成29年 4 月	特別研究 特別研究	新規採用に伴い,担当教員を追加(29) 新規採用に伴い,担当教員を追加(29)
					専	准教授	村田 周祐 (39)	平成29年 4 月	特別研究 特別研究	新規採用に伴い,担当教員を追加(29) 新規採用に伴い,担当教員を追加(29)
専	講師	中尾 雅之 (32)	平成29年 4 月	英語学特論 英語学ゼミ						
専	講師	木野 彩子 (40)	平成29年 4 月	芸術表現研究						
専	講師	佐々木友輔 (31)	平成29年 4 月	芸術文化ゼミ						
専	講師	石本 雄真 (35)	平成29年 4 月	教育臨床心理 学特論						
専	講師	谷中 久和 (36)	平成29年 4 月	障害児等病理 学特論 障害児等神経 生理学研究 障害児等認知 神経科学研究 特別研究 特別研究						
専	講師	武田 信吾 (39)	平成29年 4 月	造形学習支援 特論 造形教材開発 研究						
					専	講師	白石 秀壽 (29)	平成29年 4 月	地域活性化論ゼミ	授業計画の見直しにより,担当教員を 追加(29)

						専 講師	東根 ちよ (31)	平成29年 4 月	コミュニティ論ゼミ	授業計画の見直しにより、担当教員を 追加（29）
兼担	教授	恒川 篤史 (56)	平成29年 4 月	持続性社会創 生科学概論 1						
兼担	教授	山中 典和 (58)	平成29年 4 月	持続性社会創 生科学概論 1						
兼担	教授	山本 定博 (56)	平成29年 4 月	持続性社会創 生科学概論 1						
兼担	教授	辻本 壽 (58)	平成29年 4 月	持続性社会創 生科学概論 1						
兼担	教授	黒沢 洋一 (60)	平成29年 4 月	持続性社会創 生科学概論 1						
兼担	教授	伊藤 壽啓 (58)	平成29年 4 月	持続性社会創 生科学概論 1						
兼担	教授	安藤 孝之 (61)	平成29年 4 月	持続性社会創 生科学概論 1 国際乾燥地科学特論 国際協力特論					国際乾燥地科学特論 (人間開発)	教職課程認定申請に当たり授業内容を 明確にするため、科目名を変更（29）
兼担	教授	霜村 典宏 (52)	平成29年 4 月	持続性社会創 生技術論 1 生命環境農学 特論					生命環境農学特論 (生産資源環境)	教職課程認定申請に当たり授業内容を 明確にするため、科目名を変更（29）
兼担	教授	河田 康志 (60)	平成29年 4 月	持続性社会創 生技術論 2						
兼担	教授	藤巻 晴行 (47)	平成29年 4 月	国際乾燥地科学特論					国際乾燥地科学特論 (食糧・農業)	教職課程認定申請に当たり授業内容を 明確にするため、科目名を変更（29）
兼担	教授	日置 佳之 (59)	平成29年 4 月	生命環境農学 特論					生命環境農学特論 (里地里山環境)	教職課程認定申請に当たり授業内容を 明確にするため、科目名を変更（29）
兼担	教授	古塚 秀夫 (63)	平成29年 4 月	生命環境農学 特論					生命環境農学特論 (里地里山環境)	教職課程認定申請に当たり授業内容を 明確にするため、科目名を変更（29）
兼担	教授	永松 大 (48)	平成29年 4 月	生命環境農学 特論					生命環境農学特論 (里地里山環境)	教職課程認定申請に当たり授業内容を 明確にするため、科目名を変更（29）
					兼担	教授	松田 敏信 (50)	平成29年 4 月	生命環境農学特論 (里地里山環境)	教育効果充実のため、担当教員を追加 （29） 教職課程認定申請に当たり授業内容を 明確にするため、科目名を変更（29）
					兼担	教授	大住 克博 (62)	平成29年 4 月	生命環境農学特論 (里地里山環境)	教育効果充実のため、担当教員を追加 （29） 教職課程認定申請に当たり授業内容を 明確にするため、科目名を変更（29）
					兼担	教授	長澤 良太 (61)	平成29年 4 月	生命環境農学特論 (里地里山環境)	教育効果充実のため、担当教員を追加 （29） 教職課程認定申請に当たり授業内容を 明確にするため、科目名を変更（29）
					兼担	教授	能美 誠 (59)	平成29年 4 月	生命環境農学特論 (里地里山環境)	教育効果充実のため、担当教員を追加 （29） 教職課程認定申請に当たり授業内容を 明確にするため、科目名を変更（29）
					兼担	教授	松村 一善 (49)	平成29年 4 月	生命環境農学特論 (里地里山環境)	教育効果充実のため、担当教員を追加 （29） 教職課程認定申請に当たり授業内容を 明確にするため、科目名を変更（29）

兼任	教授	田村 文男 (58)	平成29年 4 月	生命環境農学 特論					生命環境農学特論 (生産資源環境)	教職課程認定申請に当たり授業内容を 明確にするため、科目名を変更(29)
兼任	教授	會見 忠則 (50)	平成29年 4 月	生命環境農学 特論					生命環境農学特論 (生産資源環境)	教職課程認定申請に当たり授業内容を 明確にするため、科目名を変更(29)
					兼任	教授	山口 武視 (56)	平成29年 4 月	生命環境農学特論 (生産資源環境)	教育効果充実のため、担当教員を追加 (29) 教職課程認定申請に当たり授業内容を 明確にするため、科目名を変更(29)
					兼任	教授	中桐 昭 (60)	平成29年 4 月	生命環境農学特論 (生産資源環境)	教育効果充実のため、担当教員を追加 (29) 教職課程認定申請に当たり授業内容を 明確にするため、科目名を変更(29)
兼任	教授	東 政明 (60)	平成29年 4 月	生命環境農学 特論					生命環境農学特論 (生命環境科学)	教職課程認定申請に当たり授業内容を 明確にするため、科目名を変更(29)
兼任	教授	渡邊 文雄 (58)	平成29年 4 月	生命環境農学 特論					生命環境農学特論 (生命環境科学)	教職課程認定申請に当たり授業内容を 明確にするため、科目名を変更(29)
兼任	教授	田村 純一 (55)	平成29年 4 月	生命環境農学 特論					生命環境農学特論 (生命環境科学)	教職課程認定申請に当たり授業内容を 明確にするため、科目名を変更(29)
					兼任	教授	河野 強 (54)	平成29年 4 月	生命環境農学特論 (生命環境科学)	教育効果充実のため、担当教員を追加 (29) 教職課程認定申請に当たり授業内容を 明確にするため、科目名を変更(29)
					兼任	教授	石原 亨 (50)	平成29年 4 月	生命環境農学特論 (生命環境科学)	教育効果充実のため、担当教員を追加 (29) 教職課程認定申請に当たり授業内容を 明確にするため、科目名を変更(29)
					兼任	教授	一柳 剛 (46)	平成29年 4 月	生命環境農学特論 (生命環境科学)	教育効果充実のため、担当教員を追加 (29) 教職課程認定申請に当たり授業内容を 明確にするため、科目名を変更(29)
					兼任	教授	明石 欣也 (48)	平成29年 4 月	生命環境農学特論 (生命環境科学)	教育効果充実のため、担当教員を追加 (29) 教職課程認定申請に当たり授業内容を 明確にするため、科目名を変更(29)
					兼任	教授	児玉基一朗 (57)	平成29年 4 月	生命環境農学特論 (生命環境科学)	教育効果充実のため、担当教員を追加 (29) 教職課程認定申請に当たり授業内容を 明確にするため、科目名を変更(29)
兼任	教授	伊藤 敏幸 (63)	平成29年 4 月	グリーン・サステイナ ブル・フーズ・特論						
兼任	教授	大城 隆 (56)	平成29年 4 月	バイオ資源特論						
兼任	教授	坂口 裕樹 (56)	平成29年 4 月	エネルギー化 学特論						
兼任	教授	増井 敏行 (48)	平成29年 4 月	エネルギー化 学特論						
兼任	教授	片田 直伸 (51)	平成29年 4 月	エネルギー化 学特論						
兼任	教授	小畑 良洋 (61)	平成29年 4 月	サステイナブル資源 利用特論						
兼任	教授	福山 敬 (50)	平成29年 4 月	地域経済学特 論						
兼任	教授	永松 利文 (54)	平成29年 4 月	戦略的経営論 マーケティング 特論						

兼担	教授	裕見 吉晴 (64)	平成29年 4 月	地域づくりと リスケジメント							
兼担	教授	石井 晃 (60)	平成29年 4 月	計算社会科学							
兼担	教授	横田 孝義 (60)	平成29年 4 月	スマート社会 技術論							
兼担	教授	黒岩 正光 (51)	平成29年 4 月	自然災害科学 概論							
兼担	教授	西村 強 (57)	平成29年 4 月	自然災害科学 概論							
兼担	教授	香川 敬生 (54)	平成29年 4 月	自然災害科学 概論							
兼担	教授	檜谷 治 (58)	平成29年 4 月	自然災害科学 概論							
兼担	教授	谷口 朋代 (52)	平成29年 4 月	自然災害科学 概論							
兼担	教授	黒田 保 (49)	平成29年 4 月	自然災害科学 概論							
兼担	教授	安延 久美 (55)	平成29年 4 月	国際乾燥地科学 特論					国際乾燥地科学特論 (人間開発)	教職課程認定申請に当たり授業内容を 明確にするため、科目名を変更(29)	
兼担	教授	緒方 英彦 (47)	平成29年 4 月	国際乾燥地科学 特論					国際乾燥地科学特論 (人間開発)	教職課程認定申請に当たり授業内容を 明確にするため、科目名を変更(29)	
兼担	准教授	山岸 大輔 (41)	平成29年 4 月	起業・知財論							
兼担	准教授	吉野 公 (62)	平成29年 4 月	研究者倫理 自然災害科学 概論							
兼担	准教授	木村 玲二 (47)	平成29年 4 月	国際乾燥地科学 特論					国際乾燥地科学特論 (環境)	教職課程認定申請に当たり授業内容を 明確にするため、科目名を変更(29)	
兼担	准教授	黒崎 泰典 (46)	平成29年 4 月	国際乾燥地科学 特論					国際乾燥地科学特論 (環境)	教職課程認定申請に当たり授業内容を 明確にするため、科目名を変更(29)	
兼担	准教授	谷口 武士 (37)	平成29年 4 月	国際乾燥地科学 特論					国際乾燥地科学特論 (環境)	教職課程認定申請に当たり授業内容を 明確にするため、科目名を変更(29)	
兼担	准教授	田川公太郎 (45)	平成29年 4 月	国際乾燥地科学 特論					国際乾燥地科学特論 (環境)	教職課程認定申請に当たり授業内容を 明確にするため、科目名を変更(29)	
兼担	准教授	眞来佐和子 (43)	平成29年 4 月	国際乾燥地科学 特論					国際乾燥地科学特論 (環境)	教職課程認定申請に当たり授業内容を 明確にするため、科目名を変更(29)	
兼担	准教授	安 萍 (46)	平成29年 4 月	国際乾燥地科学 特論					国際乾燥地科学特論 (食糧・農業)	教職課程認定申請に当たり授業内容を 明確にするため、科目名を変更(29)	
兼担	准教授	西原 英治 (48)	平成29年 4 月	国際乾燥地科学 特論					国際乾燥地科学特論 (食糧・農業)	教職課程認定申請に当たり授業内容を 明確にするため、科目名を変更(29)	
兼担	准教授	山田 智 (50)	平成29年 4 月	国際乾燥地科学 特論		教授			国際乾燥地科学特論 (食糧・農業)	平成29年 4 月昇任のため、職名を変更 (29) 教職課程認定申請に当たり授業内容を 明確にするため、科目名を変更(29)	
兼担	准教授	遠藤 常嘉 (48)	平成29年 4 月	国際乾燥地科学 特論		教授			国際乾燥地科学特論 (食糧・農業)	平成28年 8 月昇任のため、職名を変更 (29) 教職課程認定申請に当たり授業内容を 明確にするため、科目名を変更(29)	

兼任	准教授	清水 克之 (45)	平成29年 4 月	国際乾燥地科学特論					国際乾燥地科学特論 (食糧・農業)	教職課程認定申請に当たり授業内容を明確にするため、科目名を変更(29)
兼任	准教授	齊藤 忠臣 (40)	平成29年 4 月	国際乾燥地科学特論					国際乾燥地科学特論 (食糧・農業)	教職課程認定申請に当たり授業内容を明確にするため、科目名を変更(29)
兼任	准教授	原 豊 (52)	平成29年 4 月	再生可能エネルギー特論						
兼任	准教授	中村 公一 (41)	平成29年 4 月	自然災害科学概論						
兼任	准教授	塩崎 一郎 (56)	平成29年 4 月	自然災害科学概論						
兼任	准教授	矢島 啓 (51)	平成29年 4 月	自然災害科学概論	兼任	准教授	矢島——啓 (—51—)	平成29年 4 月	自然災害科学概論	平成28年 9 月担当教員他大学へ転出のため、削除(29)
兼任	准教授	浅井 秀子 (56)	平成29年 4 月	自然災害科学概論						
兼任	准教授	小野 祐輔 (43)	平成29年 4 月	自然災害科学概論						
兼任	准教授	大谷 眞二 (50)	平成29年 4 月	国際乾燥地科学特論					国際乾燥地科学特論 (人間開発)	教職課程認定申請に当たり授業内容を明確にするため、科目名を変更(29)
兼任	准教授	小林 伸行 (53)	平成29年 4 月	国際乾燥地科学特論					国際乾燥地科学特論 (人間開発)	教職課程認定申請に当たり授業内容を明確にするため、科目名を変更(29)
兼任	准教授	土屋 哲 (41)	平成29年 4 月	地域経営工学特論						
兼任	特命准教授	AYEHU HAREGEWEYN (44)	平成29年 4 月	国際乾燥地科学特論					国際乾燥地科学特論 (人間開発)	教職課程認定申請に当たり授業内容を明確にするため、科目名を変更(29)
兼任	講師	池野なつ美 (31)	平成29年 4 月	国際乾燥地科学特論					国際乾燥地科学特論 (環境)	教職課程認定申請に当たり授業内容を明確にするため、科目名を変更(29)
兼任	助教	衣笠 利彦 (41)	平成29年 4 月	国際乾燥地科学特論		准教授			国際乾燥地科学特論 (環境)	平成29年 4 月昇任のため、職名を変更(29) 教職課程認定申請に当たり授業内容を明確にするため、科目名を変更(29)
兼任	助教	BAYSASRES ELIAS (38)	平成29年 4 月	国際乾燥地科学特論					国際乾燥地科学特論 (人間開発)	教職課程認定申請に当たり授業内容を明確にするため、科目名を変更(29)
兼任		未定		持続性社会創生科学概論 2	兼任		未定		持続性社会創生科学概論 2	授業計画の見直しのため、削除(29)
兼任		未定		持続性社会創生科学概論 2	兼任		未定		持続性社会創生科学概論 2	授業計画の見直しのため、削除(29)
兼任		未定		地域づくりの心理学				平成29年 7 月		非常勤講師を任用予定(29)
兼任		未定		地域社会研究特論	専	教授	川井田祥子 (55)	平成29年 4 月	地域社会研究特論	新規採用に伴い、授業計画を変更(29)
兼任		未定		地域マネジメント学特別講義				平成29年 7 月		非常勤講師を任用予定(29)
兼任		未定		地域マネジメント学特別講義				平成29年 7 月		非常勤講師を任用予定(29)
兼任		未定		創造地域特論	専	准教授	竹内 潔 (36)	平成29年 4 月	創造地域特論	新規採用に伴い授業計画を変更(29)

兼任	岡田 有司 (37)	平成29年 4 月	学校カウンセリング 特論						
兼任	藤岡 秀樹 (61)	平成29年 4 月	学校心理学特論						
兼任	加藤 弘通 (43)	平成29年 4 月	生徒指導心理 学特論						
兼任	高橋 和子 (58)	平成29年 4 月	コミュニケーション障害 特論						
兼任	中野 英二 (59)	平成29年 4 月	障害児療育学 特論 発達障害医学 特論						
兼任	越野 和之 (52)	平成29年 4 月	障害児教育授 業特論						

- (注) ・ 設置時の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 後任が決まっていない場合には、「後任未定」と記入してください。
 - ・ 辞任者は「備考」に退職年月、氏名、理由を記入してください。
 - ・ 年齢は、「**設置時の計画**」には当該学部等の就任時における満年齢を、「**変更状況**」には平成29年5月1日現在の満年齢を記入してください。
 - ・ 教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合(「新規採用」、「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。)は、変更後の状況を記入するとともに、その理由、後任者が決まっていない場合は、「変更状況」の「氏名」に「後任未定」と記入し、及び今後の採用計画を「備考」に記入してください。
 - ・ **編成で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(AC教員審査)を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 - ・ 「専任教員採用等変更書(AC)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「○年○月教員審査済」、変更書を提出予定の場合は「○年○月変更書提出予定」と記入してください。
 なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「備考」に「(教員審査省略)」及びその変更の理由、変更年度()書き等のみを記入してください。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における設置基準上の必要研究指導教員数	うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数	完成年度時における設置基準上の必要研究指導補助教員数
4 名	3 名	4 名

(注) ・ 大学院に専攻ごとに置くものとする教員の数について定める件(平成十一年九月十四日文部省告示第百七十五号)により算出される教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員数

設 置 時 の 計 画					現在（報告書提出時）の状況					現在（報告書提出時）の完成年度時の計画				
教 授	准教授	講 師	助 教	計	教 授	准教授	講 師	助 教	計 （ A ）	教 授	准教授	講 師	助 教	計 （ B ）
25	30	8	0	63	25	32	8	0	65	25	30	8	0	63
（ 25 ）	（ 32 ）	（ 8 ）	（ 0 ）	（ 65 ）						〔 0 〕	〔 0 〕	〔 0 〕	〔 0 〕	〔 0 〕
研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数		研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数		研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数				
28	28	7		28	30	7		28	28	7				
（ 28 ）	（ 30 ）	（ 7 ）		〔 0 〕	〔 0 〕	〔 0 〕								

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、()内に開設時の状況を記入してください。
 ・ 「現在(報告書提出時)の状況」には、報告書提出年度の5月1日の教員数(実人数)を記入してください。
 ・ 「現在(報告書提出時)の完成年度時の計画」には、報告書提出年度の5月1日現在、完成年度時に計画している教員数を記入するとともに、[]内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例: 1名減の場合: 1)

(2) - ③ 年齢構成

年 齢 構 成		
定年規定の定める定年年齢(歳)	報告書提出時(上記(A))の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時(上記(B))の教員のうち、定年を延長して採用する教員数
65 歳	0 名	0 名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢(特例等による定年年齢ではありません)、および、平成29年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。
 ・ 専門職大学院の場合は、「研究指導教員」を「研究者教員」と、「研究指導補助教員」を「実務家教員」と修正して記入してください。

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

(注)・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。

・ 「就任辞退(未就任)」とは、認可又は届出時に就任予定とながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後には辞任した教員は、以下(3)の「専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。

・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退(未就任)」の理由に就任辞退の理由等および()書きで報告年度を記入してください。

・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「 」～「 」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・専任教員が担当する（している）場合は「 」
- ・兼任兼任教員が担当する（している）場合は「 」
- ・後任未定、科目廃止など、上記「 」 「 」 以外の場合は「 」

該当なし

- (注)・一度就任した後に、辞任した**全ての専任教員**の辞任の理由を具体的に記入してください。
- ・昨年度の報告後から今年度の報告時まで**に専任教員が新たに辞任等した場合**、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および() 書きで報告年度を記入してください。
 - ・また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「 」～「 」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・専任教員が担当する（している）場合は「 」
- ・兼任兼担教員が担当する（している）場合は「 」
- ・後任未定、科目廃止など、上記「 」 「 」 以外の場合は「 」

上記(3)－①・(3)－②の合計

(注)・ 就任辞退(未就任)及び辞任した全専任教員について、教員数、担当科目数の合計、後任補充の状況を記入ください。

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

大学の所見...就任辞退した専任教員の担当科目にあつては、他の専任教員が、あるいは辞退した当該人が兼任教員として当該科目を担当するため、科目の未開講がないことから、学生への影響はない。
学生への周知方法...履修の手引きの冊子類等により周知している。

(注)・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

6 留意事項等に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項 等	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
設 置 時 (○ ○ 年 ○ ○ 月)			
設置計画履行状況 調 査 時 (年 2 月)	該当なし		
設置計画履行状況 調 査 時 (□ □ 年 2 月)			
設置計画履行状況 調 査 時 (● ● 年 2 月)			

- (注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時（認可時又は届出時）に付された留意事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を（ ）書きで付記してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された意見に対する履行状況等について、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
 - ・ 同一設置者が設置する既設学部等に付された意見は、当該大学から提出される全ての報告書に記入してください。
 - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査時」の（年月）には、調査結果を公表した月（通常2月）を記入してください。（実地調査や面接調査を実施した日ではありません。）

7 その他全般的事項

＜持続性社会創生科学研究科 地域学専攻（博士前期課程）＞

（１）設置計画変更事項等

設 置 時 の 計 画	変更内容・状況，今後の見通しなど
該当なし	

（注）・ 1～6の項目に記入した事項以外で，設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
 ・ 設置時の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し，それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。（記入例参照）

（２）教員の資質の維持向上の方策（FD活動含む）

実施体制

a 委員会の設置状況
鳥取大学教育支援委員会（常置委員会） 規則は別紙のとおり

b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）
年10回程度（委員会規則により組織された委員の過半数の出席をもって開催している。）
〔FD活動については，別途，教育支援・国際交流推進機構及び各部局等がそれぞれ行っている。〕

c 委員会の審議事項等
一 教育方針・教育計画の立案及び実施に関すること。
二 教育に関連する中期目標・計画等の運営の基本方針に関すること。 等

実施状況

a 実施内容

- ・ 新任FD研修会
- ・ 全学FD研修会
- ・ 全学FD講演会
- ・ 授業公開
- ・ 英語で効果的に教える方法

b 実施方法
教育支援・国際交流推進機構が行うFD活動については，機構長を中心に，実施・運営を教育センターが行っている。

- ・ 新任FD研修会については参加を必須とする。
- ・ その他のFD研修会及び講演会等は，任意または部局から推薦された者が参加する。

c 開催状況（教員の参加状況含む）
平成27年度及び平成28年度については，大学全体のFD活動参加率は75%となっている。

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

- ・ 不定期に教育支援委員会に報告し，各学部等委員へ報告している。

学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期
各学期（若しくはクォーター）の中間期並びに学期末毎に各1回行う。
（学期末アンケートはすべての教員について必須であり，中間期に行うアンケートについては，採用後3年以内の教員のみが必須となる。）

b 教員や学生への公開状況，方法等
学期末アンケートについて，本学ホームページに，「科目名」，「アンケート回答数」，「評価平均値」を公開している。

（注）・ 「a 委員会の設置状況」には，関係規程等を転載又は添付すること。
 「実施状況」には，実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 自己点検・評価等に関する事項

設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見
設置初年度における研究科の運営については概ね計画どおりであるが、設置の趣旨・目的の達成のため、課題の克服や更なる教育改善に取り組んでいくこととしたい。

自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

未定

b 公表方法

未定

認証評価を受ける計画

・平成33年度に評価機関（独立行政法人大学改革支援・学位授与機構）の評価を受ける予定

（注）・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。
また、「 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。
なお、「 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(4) 情報公表に関する事項

o 設置計画履行状況報告書

a ホームページに公表の有無

(有 ・ 無)

b 公表時期（未公表の場合は予定時期）

(平成29年 9月 1日)

○鳥取大学教育支援委員会規則

平成16年4月9日
鳥取大学規則第74号

(趣旨)

第1条 この規則は、鳥取大学の管理運営に関する規則(平成16年鳥取大学規則第57号)第18条第6項の規定に基づき、鳥取大学教育支援委員会(以下「委員会」という。)に関し必要な事項を定めるものとする。

(審議事項)

第2条 委員会は、次に掲げる事項を審議する。

- 一 教育方針・教育計画の立案及び実施に関すること。
- 二 教育に関連する中期目標・計画等の運営の基本方針に関すること。
- 三 その他大学教育に関すること。

(組織)

第3条 委員会は、次に掲げる者をもって組織する。

- 一 理事(教育担当)(以下「理事」という。)
- 二 各学部(工学部を除く。)の学部長又は副学部長(教務担当)
- 三 工学研究科の研究科長又は副研究科長(教務担当)
- 四 教育センター長及び教員養成センター長
- 五 学生部長及び学生部教育支援課長
- 六 その他委員長が必要と認めた者

2 前項第6号の委員の任期は、委員長がその都度定める。

(委員長)

第4条 委員会に委員長を置き、理事をもって充てる。

- 2 委員長は、委員会を招集し、その議長となる。
- 3 委員長に事故があるときは、委員長があらかじめ指名した委員がその職務を代理する。

(議事)

第5条 委員会は、委員の過半数の出席をもって開くものとする。

2 委員会の議事は、出席した委員の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

(意見の聴取)

第6条 委員会が必要と認めたときは、委員以外の者の出席を求め、その意見を聴くことができる。

(専門委員会)

第7条 委員会に、専門的事項を調査審議するため、専門委員会を置くことができる。

2 前項の専門委員会に関し必要な事項は、別に定める。

(事務)

第8条 委員会の事務は、学生部教育支援課において処理する。

(雑則)

第9条 この規則に定めるもののほか、委員会の運営に関し必要な事項は、委員会の議を経て、委員長が定める。

附 則

- 1 この規則は、平成16年4月9日から施行し、平成16年4月1日から適用する。
- 2 鳥取大学全学教育委員会規則(平成14年鳥取大学規則第3号)は、廃止する。

附 則(平成18年12月14日鳥取大学規則第144号)

- 1 この規則は、平成19年1月1日から施行する。ただし、第3条及び第7条の改正規定並びに次項の規定は、平成19年4月1日から施行する。

2 鳥取大学教育支援委員会に設置する専門委員会に関する細則（平成14年鳥取大学規則第5号）は、廃止する。

附 則（平成19年3月14日鳥取大学規則第20号）

この規則は、平成19年4月1日から施行する。

附 則（平成20年3月25日鳥取大学規則第27号）

この規則は、平成20年4月1日から施行する。

附 則（平成20年5月21日鳥取大学規則第72号）

この規則は、平成20年5月21日から施行し、改正後の鳥取大学教育支援委員会規則の規定は、平成20年4月1日から適用する。

附 則（平成21年6月22日鳥取大学規則第66号）

この規則は、平成21年6月22日から施行し、改正後の鳥取大学教育支援委員会規則の規定は、平成21年4月1日から適用する。

附 則（平成22年3月30日鳥取大学規則第59号）

この規則は、平成22年4月1日から施行する。

附 則（平成22年6月21日鳥取大学規則第96号）

この規則は、平成22年6月21日から施行し、改正後の鳥取大学教育支援委員会規則の規定は、平成22年4月1日から適用する。

附 則（平成23年4月18日鳥取大学規則第52号）

この規則は、平成23年4月1日から施行する。

附 則（平成25年2月5日鳥取大学規則第4号）

この規則は、平成25年2月5日から施行する。

附 則（平成27年3月24日鳥取大学規則第28号）

この規則は、平成27年4月1日から施行する。

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設 置 者

国立大学法人 鳥取大学

(2) 大 学 名

鳥取大学

(3) 大学の位置

〒680 - 8550

鳥取県鳥取市湖山町南4丁目101番地

- (注)・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職 名	設 置 時	変 更 状 況	備 考
学 長	(テシマ リョウタ) 豊島 良太 (平成29年4月)		
研究科長	(ナカジマ ヒロミツ) 中島 廣光 (平成29年4月)		
専 攻 長	(カワタ ヤスシ) 河田 康志 (平成29年4月)		

- (注)・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例)平成27年度に報告済の内容 → (27)

平成29年度に報告する内容 → (29)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象研究科等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部・学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
 ・ 様式は、平成27年度開設の博士後期課程の場合(平成29年度までの3年間)ですが、開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が2年以下の場合には欄を削除し、4年以上の場合には、欄を設けてください。)

(5) - 調査対象研究科等の名称等

調査対象研究科等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画			備考
		修業年限	入学定員	収容定員	
持続性社会創生科学研究科 工学専攻 (博士前期課程) 修士(工学又は学術)	工学	2年	165人	330人	基礎となる学部等 工学部

- (注) ・ 「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
 ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
 ・ 学生募集停止を予定している場合は、「備考」にその旨記載してください。
 ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) - 調査対象研究科等の入学者の状況

報告年度 区分	平成29年度		平成30年度		平均入学定員 超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	165人 (-) [-]	- 人 () []	人 () []	人 () []	1.18 倍	
志願者数	236 (-) [6]	- (-) [-]	() () []	() () []		
受験者数	235 (-) [6]	- (-) [-]	() () []	() () []		
合格者数	203 (-) [2]	- (-) [-]	() () []	() () []		
B 入学者数	195 (-) [2]	- (-) [-]	() () []	() () []		
入学定員超過率 B / A	1.18					

- (注) ・ 数字は、平成29年5月1日現在の数字を記入してください。
 ・ ()内には、社会人の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 「社会人」については、認可申請書において貴学が定める社会人の定義に従って記入してください。
 ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
 ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお、計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。

(5) - 調査対象研究科等の在学者の状況

学 年	報告年度	平成 2 9 年度		平成 3 0 年度		備 考
		春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1 年次		195 [2] (-)	- [-] (-)	[] ()	[] ()	
2 年次				[] ()	[] ()	
計				[] ()	[] ()	

- (注) ・ 数字は、平成 2 9 年 5 月 1 日現在の数字を記入してください。
- ・ [] 内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「 - 」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「 - 」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。
 - ・ () 内には、**留年者の状況について、内数で**記入してください。該当がない年には「 - 」を記入してください。

(5) - 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	入学者数 (b)	退学者数 (a)	退学者数 (内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成29年度 入学者	195 人	0 人	平成29年度	人	人		0.00 %
			平成30年度	人	人		
平成30年度 入学者	人	0 人	平成30年度	人	人		#DIV/0! %
合 計	195 人	0 人					0.00 %

(注)・ 数字は、平成29年5月1日現在の数字を記入してください。

- ・ 各年度の入学者数については、該当年度当初に入学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- ・ 各年度の退学者数については、退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)」により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- ・ 「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度の入学者のうち、平成29年5月1日現在までに退学した学生数の合計】を、【当該対象年度の入学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位までを記入してください。
- ・ 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。
 (記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
 ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

2 授業科目の概要

<持続性社会創生科学研究科 工学専攻（博士前期課程）>

（1）授業科目表

科目 区分		授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					備 考			
				必 修	選 択	自 由	教 授	准教授	講 師	助 教	助 手				
研究科 共通科目	基 盤 科 目	持続性社会創生科学概論 1	1		1								兼7 4 兼7 兼1	オムニバス オムニバス 担当教員の死去及び授業計画の見直しにより、教員配置を変更（29）	
		持続性社会創生科学概論 2	1		1										
		持続性社会創生技術論 1	1		1										
		持続性社会創生技術論 2	1		1		1								
		起業・知財論	1		1			1							
		研究者倫理	1	1				1							
	環 境	国際乾燥地科学特論（環境）	1		2								兼7	オムニバス 教職課程認定申請に当たり授業内容を明確にするため、科目名を変更（29）	
		国際乾燥地科学特論（食糧・農業）	1		2								兼7 8	オムニバス 教職課程認定申請に当たり授業内容を明確にするため、科目名を変更（29）	
		生命環境農学特論（里地里山環境）	1		2								兼3 5	オムニバス 教職課程認定申請に当たり授業内容を明確にするため、科目名を変更（29） 教育効果充実のため、担当教員を追加（29）	
		生命環境農学特論（生産資源環境）	1		2								兼3 8	オムニバス 教職課程認定申請に当たり授業内容を明確にするため、科目名を変更（29） 教育効果充実のため、担当教員を追加（29）	
		生命環境農学特論（生命環境科学）	1		2								兼3	オムニバス 教職課程認定申請に当たり授業内容を明確にするため、科目名を変更（29） 教育効果充実のため、担当教員を追加（29）	
		グリーンサステナブルケミストリー特論	1		2		1								
		バイオ資源特論	1		1		1								
		エネルギー化学特論	1		1		3								
		再生可能エネルギー特論	1		2			1							
		サステナブル資源利用特論	1		2		1							オムニバス	
		地 域	地域経済学特論	1		2		1							
			地域経済学特論	1 ~		2								兼1	
			戦略的経営論	1 ~		2		1							
			マーケティング特論	1 ~		2		1							
	地域づくりとリスクマネジメント		1		1		1								
	計算社会科学		1		2		1								
	地域づくりの心理学		1		1								兼1		
	スマート社会技術論		1		2		1								
	グ ロ ー バ ル	自然災害科学概論	1		2		6	5 6						オムニバス 担当教員の異動により、教員配置を変更（29）	
		国際乾燥地科学特論（人間開発）	1		2								兼7	オムニバス 教職課程認定申請に当たり授業内容を明確にするため、科目名を変更（29）	
		国際協力特論	1		2								兼1		
		国際交流と異文化理解	1 ~ 1 ~		2								兼1		
		コミュニティ特論	1 ~ 1 ~		2								兼1	担当教員の死去により、配当学期を変更（29）	
		文化多様性特論	1 ~		2								兼1		
		比較国際教育特論	1 ~		2								兼1		
		人間形成特論	1		2								兼1		
		人権教育特論	1		2								兼1		

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					備 考			
			必 修	選 択	自 由	教 授	准教授	講 師	助 教	助 手				
専 門 科 目	専 攻 共 通 科 目	特別学外実習	1・2	-	1		1					兼1	記載誤りのため、教員配置を変更(29)	
		長期特別学外実習	1・2	-	3		1					兼1	記載誤りのため、教員配置を変更(29)	
		国際連携特別研究	1・2	-	3		1					兼1	記載誤りのため、教員配置を変更(29)	
		メタンハイドレート概論	1		2		1							
		地球科学概論	1		2		1					兼1		
		海洋調査基礎論	1		2		1					兼1		
		機械宇宙工学特別講義	1	～	1		1	1				兼1	教育効果充実のため、担当教員を追加(29)	
		機械宇宙工学特別講義	1	～	1		1					兼1	教育効果充実のため、担当教員を追加(29)	
		情報エレクトロニクス特別講義	1	～	1		1					兼1		
		情報エレクトロニクス特別講義	1	～										
		情報エレクトロニクス特別講義	1	～	1		1					兼1	授業計画の見直しにより、配当時期を変更(29)	
		化学バイオ特別講義	1・2	-	1		1					兼1	隔年 授業計画の見直しにより、配当時期を変更(29)	
		化学バイオ特別講義	1・2	-	1		1					兼1	隔年 授業計画の見直しにより、配当時期を変更(29)	
		化学バイオ特別講義	1	～										
		社会システム土木特別講義	1・2	-	1		1					兼1	隔年 授業計画の見直しにより、配当時期を変更(29)	
		社会システム土木特別講義	1・2	-	1		1					兼1	隔年 授業計画の見直しにより、配当時期を変更(29)	
	メタンハイドレート科学特別講義	1・2	-											
	メタンハイドレート科学特別講義	1・2	-	1		1					兼1	隔年 授業計画の見直しにより、配当時期を変更(29)		
	メタンハイドレート科学特別講義	未開講												
	メタンハイドレート科学特別講義	1・2	-	1		1					兼1	隔年 隔年開講のため、未開講(29)		
	展 開 科 目	機 械 宇 宙 工 学 コ ー ス	弾性力学特論	1		2		1						
			計算力学	1		2			1					
			材料科学特論	1		2		1						授業計画の見直しにより、配当時期を変更(29)
			熱物理工学	1		2		1						
			遅い流れの流体力学	1		2		1						
			航空宇宙流体力学	1		2				1				
			高速空気力学	1		2		1			1			教育効果充実のため、担当教員を追加(29)
			ナノトライボロジー特論	1		2		1	1					担当教員の昇任により、教員配置を変更(29)
			数理生物学	1		2			1					
			振動工学特論	1		2		1						
			機械システムダイナミクス	1		2			1					
			伝熱工学特論	1		2			1					
材料強度学特論			1		2			1						
破壊力学			1		2		1							
設計工学特論			1		2				1				教育課程充実のため、科目を追加(29)	
機械加工工学特論			1		2		1							
塑性力学特論			1		2			1						
制御工学特論			1		2			1						
計測工学特論			1		2		1							
流体力学セミナー			1		1		1		1		1		オムニバス 教育効果充実のため、担当教員を追加(29)	
流体力学セミナー			1		1		1		1		1		オムニバス 教育効果充実のため、担当教員を追加(29)	
応用数学特論			1		2			1						
応用数学特論			1		2		1							
対称性の数理			1		2		1							
対称性の数理			1		2			1						
物理数学基礎			1		2		1							
物理数学基礎	1		2			1								
数理手法と先端工学	1・2		2			1								
量子計算物質科学特論	未開講													
量子計算物質科学特論	1・2	-	2			1					隔年 授業計画の見直しにより、隔年としたため未開講(29)			
プラズマ物理学基礎	1		2			1								
機械宇宙工学実験及び演習	1通				12	11	2		8		授業計画の見直しにより、配当時期を変更(29)			
機械宇宙工学実験及び演習	2通		4		11	12	1		9		担当教員の昇任等により、教員配置を変更(29)			
機械宇宙工学実験及び演習	2通				12	11	2		8					
機械宇宙工学実験及び演習	2通		4		11	12	1		9		授業計画の見直しにより、配当時期を変更(29)			

科目 区分		授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置						備 考	
				必 修	選 択	自 由	教 授	准教授	講 師	助 教	助 手			
専門 科目	展開 科目	システム L S I 特論	1		2		1							
		音声言語処理特論	1 ~		2			1						
		計算インタラクション特論	1・2		2		1							隔年
		未開講												
		パターン処理特論	1・2		2		1							隔年 隔年開講のため、未開講（29）
		制御理論特論	1		2			1						
		メカトロニクス	1		2			1						
		デジタル信号処理工学	1		2		1							
		回路システム工学	1		2		1							
		静電気工学	1		2			1						
		量子力学	1		2			1						
		固体物性論	1		2		1							
		1												
		応用数理解析特論	1		2		1							授業計画の見直しにより、配当時期を変更（29）
		1												
		ソフトウェアアーキテクチャ特論	1		2		1							授業計画の見直しにより、配当時期を変更（29）
		パターン認識特論	1		2			1						
		1												
		情報ネットワーク特論	1		2			1						授業計画の見直しにより、配当時期を変更（29）
		ソフトコンピューティング論	1		2					1				
		自然言語処理特論	1		2		1							
		人工知能特論	1		2			1						
		生物情報学特論	1		2		1							
		未開講												
		地図情報処理特論	1・2		2		1							隔年 隔年開講のため、未開講（29）
		データ解析特論	1・2		2		1							隔年
		1 ~												
		情報通信工学特論	1		2		1	1						オムニバス 授業計画の見直しにより、配当時期を変更（29）
		最適化特論	1		2			1						
		システム解析工学特論	1		2		1							
		1												
		M E M S 特論	1		2		1							授業計画の見直しにより、配当時期を変更（29）
		固体電子工学特論	1		2		1							
		酸化物エレクトロニクス特論	1		2		1	1						担当教員の異動により、教員配置を変更（29）
		通信機器工学特論	1		2		1							教育課程充実のため、科目を追加（29）
		画像処理工学特論	1		2			1						教育課程充実のため、科目を追加（29）
							16				8			
		情報エレクトロニクス実験及び演習	1通		2		13	11	1		9			担当教員の新規採用・昇任等により、教員配置を変更（29）
							16				8			
		情報エレクトロニクス実験及び演習	2通		2		13	11	1		9			担当教員の新規採用・昇任等により、教員配置を変更（29）
	化学 バイオ コース	未開講												
		触媒設計特論	1・2		2		1						隔年 授業計画の見直しにより、隔年としたため未開講（29）	
		未開講												
		構造化学特論	1・2		2		1						隔年 授業計画の見直しにより、隔年としたため未開講（29）	
		未開講												
		有機合成化学特論	1・2		2		1						隔年 授業計画の見直しにより、隔年としたため未開講（29）	
		未開講												
		有機材料設計特論	1・2		2		1						隔年 授業計画の見直しにより、隔年としたため未開講（29）	
		無機材料化学特論	1・2		2		1							
		未開講												
		固体物理化学特論	1・2		1		1						隔年 授業計画の見直しにより、隔年としたため未開講（29）	
		未開講												
		生物資源応用特論	1・2		1		1						隔年 授業計画の見直しにより、隔年としたため未開講（29）	
		微生物生産工学特論	1・2		2		1							
		生分子機能工学特論	1・2		2			1						
		未開講												
		生物有機化学特論	1・2		2		1						隔年 授業計画の見直しにより、隔年としたため未開講（29）	
		生物化学特論	1・2		2		1							
		生物物理化学特論	1・2		2		1							
		未開講												
		構造生物学特論	1・2		2		1						隔年 授業計画の見直しにより、隔年としたため未開講（29）	

科目 区分		授業科目の名称	配 年 次	単位数			専任教員等の配置					備 考		
				必 修	選 択	自 由	教 授	准教授	講 師	助 教	助 手			
専門 科目	化学 バイオ コース	表面化学特論	1・2		2				1				授業計画の見直しにより、配当時期を変更（29） 担当教員の異動により、教員配置を変更（29）	
		有機金属化学特論	1・2		2			1						
		精密合成化学特論	1・2		2			1						
			1・2											
		分子集積化学特論	1・2		2		1	1						
		有機材料化学特論	1・2		2			1						
		機能材料化学特論	1・2		2			1						
			1											
		電子材料化学特論	1・2		2			1					授業計画の見直しにより、配当時期を変更（29）	
			未開講											
		微生物生理学特論	1・2		2			1					隔年 授業計画の見直しにより、隔年としたため未開講（29）	
		超分子化学特論	1・2		2			1						
			未開講											
		遺伝子工学特論	1・2		2			1					隔年 授業計画の見直しにより、隔年としたため未開講（29）	
		蛋白質工学特論	1・2		2		1							
		生体触媒機能特論	1・2		2		1	1					担当教員の昇任により、教員配置を変更（29）	
		蛋白質構造機能科学特論	1・2		2			1						
			未開講											
		生体医工学特論	1・2		2						1		隔年 授業計画の見直しにより、隔年としたため未開講（29）	
	化学バイオ実験及び演習	1通		4			11	12	1	9		兼1 担当教員の昇任・異動により、教員配置を変更（29）		
		化学バイオ実験及び演習	2通		4		11	12	1	9		兼1 担当教員の昇任・異動により、教員配置を変更（29）		
	展 開 科 目	社会 システム 土木 コース	河川水理学	1		2		1					兼1 兼1 教育効果充実のため、担当教員を追加（29）	
			交通計画学特論	1		2			1					
			信頼性設計工学	1		2			1					
			情報システム特論	1		2								
			確率システム工学特論	1		2			1					
			地域経営工学特論	1		2			1					兼2 オムニバス
				1										
			システム計画学特論	1		2		1						授業計画の見直しにより、配当時期を変更（29）
			環境システム工学	1		2		1						
			構造工学	1		2			1					
				1										
			地図情報工学特論	1		2		1						授業計画の見直しにより、配当時期を変更（29）
			固体地球科学	1		2			1					兼2 オムニバス
			海域制御工学	1		2			1					
			海洋水産資源学	1		2								
			構造振動学特論	1		2		1						
			建設材料科学特論	1		2			1					
			コンクリート物性論	1		2		1						兼1 兼1 昇任に伴う授業計画の変更により、教員配置を変更（29）
			建設学特論	1		2			1					
			岩盤力学特論	1		2		1						
			岩盤物性論	1		2					1			
			地盤工学特論	1		2			1					
			水工計画学特論	1 ～		2			1					兼1 授業計画の見直しにより、配当時期を変更（29） 担当教員の異動により、教員配置を変更（29）
			海岸水理学特論	1		2		1						兼1
			オペレーションズ・リサーチ特論	1		2			1					
			防災システム工学	1		2			1					
			環境管理工学	1		2			1					
			海洋調査演習	1通		3		1						兼1
									10			11		
			社会システム土木実験及び演習	2通		4		10	11	1	13			担当教員の昇任・異動により、教員配置を変更（29）
							10		11					
	社会システム土木実験及び演習	2通		4		10	11	1	13			担当教員の昇任・異動により、教員配置を変更（29）		
	地域フィールドワーク学	1		1								兼2 オムニバス		
	地域マネジメント学特別講義	1		1								兼2 オムニバス		
												2		
	異分野融合地域プロジェクト	1 ～		2		1	1					兼4 オムニバス 授業計画の見直しにより、教員配置を変更（29）		
創造地域特論	1 ～		2								兼1			
地域リテラシー特論	1・2 ～		2								兼3 オムニバス			
174 合計（171科目）		-	1	329	0	53 48	43 48	5 3	36 40	0	兼82	-		

- (注)・ 認可申請書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 設置認可時の授業科目全て(兼任, 兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で, 前年度報告時(平成28年度に認可(届出)された大学等は設置認可(届出)時)より変更されているものは赤字見え消し修正し, 「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
 なお, 昨年度の報告書において赤字で見え消しした部分については, 見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 兼任, 兼担の教員が担当する授業科目については, 備考欄に担当する教員数を「兼○」と記入してください。
 - ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合で, 専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては, 「専任教員採用等設置計画変更書」の審査予定年月等を「備考」に記入してください。(今後審査を受ける場合には, 「平成○年○月 提出予定」と記入してください。)
 - ・ 「配当年次」について, 設置認可申請時に開講時期を記入する必要がなかった学部等(平成19年度認可以前)についても, 設置認可時の状況を黒字で記入してください。また, 前年度報告時より修正があれば, 赤字で見え消し修正をしてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
科目 1	科目 170	科目 0	科目 171	科目 1	科目 173	科目 0	科目 174	
				[0]	[3]	[0]	[3]	

- (注)・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに, [] 内に, 設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例: 1科目減の場合: 1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由，代替措置の有無
1	マルチメディア科学特別講義	1	1・2	専門	選択	隔年開講のため（平成30年度開講）（29）
2	量子計算物質科学特論	2	1・2	専門	選択	隔年開講のため（平成30年度開講）（29）
3	パターン処理特論	2	1・2	専門	選択	隔年開講のため（平成30年度開講）（29）
4	地図情報処理特論	2	1・2	専門	選択	隔年開講のため（平成30年度開講）（29）
5	触媒設計特論	2	1・2	専門	選択	隔年開講のため（平成30年度開講）（29）
6	構造化学特論	2	1・2	専門	選択	隔年開講のため（平成30年度開講）（29）
7	有機合成化学特論	2	1・2	専門	選択	隔年開講のため（平成30年度開講）（29）
8	有機材料設計特論	2	1・2	専門	選択	隔年開講のため（平成30年度開講）（29）
9	固体物理化学特論	1	1・2	専門	選択	隔年開講のため（平成30年度開講）（29）
10	生物資源応用特論	1	1・2	専門	選択	隔年開講のため（平成30年度開講）（29）
11	生物有機化学特論	2	1・2	専門	選択	隔年開講のため（平成30年度開講）（29）
12	構造生物学特論	2	1・2	専門	選択	隔年開講のため（平成30年度開講）（29）
13	微生物生理学特論	2	1・2	専門	選択	隔年開講のため（平成30年度開講）（29）
14	遺伝子工学特論	2	1・2	専門	選択	隔年開講のため（平成30年度開講）（29）
15	生体医工学特論	2	1・2	専門	選択	隔年開講のため（平成30年度開講）（29）

- (注) ・ 設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず，何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお，理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については，記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は，「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由，代替措置の有無
1						
2						
3						

該当なし

- (注) ・ 設置時の計画にあり，何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお，理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は，「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

大学の所見...未開講の科目はすべて隔年で開講されるため，学生に特に影響はない。
 学生への周知方法...隔年開講の科目については，履修の手引きの冊子類及び新入生オリエンテーションにより周知している。

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{15}{171} = 8.77\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て，小数点以下第2位までを記入してください。
- ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が，「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備考			
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	大学全体 その他のうち、 附属病院 51,492㎡			
	校 舎 敷 地	250,060 ㎡	0 ㎡	0 ㎡	250,060 ㎡				
	運動場用地	123,946 ㎡	0 ㎡	0 ㎡	123,946 ㎡				
	小 計	374,006 ㎡	0 ㎡	0 ㎡	374,006 ㎡				
	そ の 他	9,321,100 ㎡	0 ㎡	0 ㎡	9,321,100 ㎡				
	合 計	9,695,106 ㎡	0 ㎡	0 ㎡	9,695,106 ㎡				
(2) 校 舎		専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	大学全体 別途附属病院 72,428㎡			
		132,192 ㎡ (132,192 ㎡)	0 ㎡ (0 ㎡)	0 ㎡ (0 ㎡)	132,192 ㎡ (132,192 ㎡)				
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	持続性社会創生科学研究科工学専攻			
	13 室	10 室	140 室	0 室 (補助職員 0人)	0 室 (補助職員 0人)				
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数					
	持続性社会創生科学研究科 工学専攻			134 室					
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等の 名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕 点	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	図書、学術雑誌及び視聴覚資料は、研究科及び専攻単位での特定不能なため、鳥取地区全体の数 機械・器具及び標本は、持続性社会創生科学研究科工学専攻	
	持続性社会 創生科学研究科 工学専攻	541,091〔112,417〕 (541,091〔112,417〕)	9,944〔2,513〕 (9,944〔2,513〕)	4,040〔4,040〕 (4,040〔4,040〕)	4,725 (4,725)	4,375 (4,375)	3 (3)		
	計	541,091〔112,417〕 (541,091〔112,417〕)	9,944〔2,513〕 (9,944〔2,513〕)	4,040〔4,040〕 (4,040〔4,040〕)	4,725 (4,725)	4,375 (4,375)	3 (3)		
(6) 図 書 館	面 積		閱 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数		鳥取地区		
	4,380 ㎡		663 席		463,083 冊				
(7) 体 育 館	面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要					鳥取地区	
	2,261 ㎡		武道館，弓道場，陸上競技場，野球場，テニスコート，ラグビー兼サッカー場，水泳プール						
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	
		教員1人当たり研究費等	- 千円	- 千円	図書購入費	- 千円	- 千円	- 千円	
	共 同 研 究 費 等	- 千円	- 千円	設備購入費	- 千円	- 千円	- 千円		
	学生1人当り 納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次		
	- 千円	- 千円	- 千円	- 千円	- 千円	- 千円			
	学生納付金以外の維持方法の概要		-						

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成29年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(29)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
 - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4 既設大学等の状況

大学 学 校 名 称	鳥 取 大 学								備 考
既設学部等の名称	修業 年限	入 定 学 員	編入学 定 員	収 容 定 員	学位又 は称号	平均入学 定員 超過率	開 設 年 度	所 在 地	
A C 対象学部等	年	人	年次 人	人		倍			
持続性社会創生科学研究科									
地域学専攻	2	20	-	40		0.75	平成29年度	鳥取県鳥取市湖山町 南4丁目101番地	
地域創生コース	2	10	-	20	修士 (地域学)	0.60	平成29年度	同上	
人間形成コース	2	10	-	20	修士 (教育学)	0.90	平成29年度	同上	
工学専攻	2	165	-	330	修士 (工学又は 学術)	1.18	平成29年度	同上	
農学専攻	2	46	-	92	修士 (農学)	0.78	平成29年度	同上	
国際乾燥地科学専攻	2	20	-	40	修士 (農学又は 学術)	0.95	平成29年度	同上	
< 学部 >									
地域学部									
地域学科	4	170	-	680	学士 (地域学)	1.08	平成29年度	鳥取県鳥取市湖山町 南4丁目101番地	
地域創造コース	4	60	-	240	学士 (地域学)	1.08	平成29年度	同上	
人間形成コース	4	55	-	220	学士 (地域学)	1.07	平成29年度	同上	
国際地域文化コース	4	55	-	220	学士 (地域学)	1.1	平成29年度	同上	
地域政策学科	4	-	-	-	学士 (地域学)	-	平成16年度	同上	平成29年度から学生 募集停止
地域教育学科	4	-	-	-	学士 (地域学)	-	平成16年度	同上	平成29年度から学生 募集停止
地域文化学科	4	-	-	-	学士 (地域学)	-	平成16年度	同上	平成29年度から学生 募集停止
地域環境学科	4	-	-	-	学士 (地域学)	-	平成16年度	同上	平成29年度から学生 募集停止
医学部									
医学科	6	105	2年次 5	655	学士 (医学)	1.00	昭和24年度	鳥取県米子市西町 86番地	
生命科学科	4	40	-	160	学士 (生命科学)	1.03	平成2年度	同上	
保健学科						1.01	平成11年度	同上	
看護学専攻	4	80	3年次 2	324	学士 (看護学)	1.01	平成11年度	同上	平成28年度から3年次編入 学定員を変更
検査技術科学専攻	4	40	-	160	学士 (保健学)	1.01	平成11年度	同上	平成28年度から3年次編入 学定員を変更
工学部									
機械物理系学科	4	115	-	460	学士 (工学)	1.01	平成27年度	鳥取県鳥取市湖山町 南4丁目101番地	

電気情報系学科	4	125	-	500	学士 (工学)	1.02	平成27年度	同上	
化学バイオ系学科	4	100	-	400	学士 (工学)	1.03	平成27年度	同上	
社会システム土木系学科	4	110	-	440	学士 (工学)	1.02	平成27年度	同上	
機械工学科	4	-	-	-	学士 (工学)	-	平成元年度	同上	平成27年度から学生募集停止
知能情報工学科	4	-	-	-	学士 (工学)	-	平成元年度	同上	平成27年度から学生募集停止
電気電子工学科	4	-	-	-	学士 (工学)	-	平成元年度	同上	平成27年度から学生募集停止
物質工学科	4	-	-	-	学士 (工学)	-	平成元年度	同上	平成27年度から学生募集停止
生物応用工学科	4	-	-	-	学士 (工学)	-	平成元年度	同上	平成27年度から学生募集停止
土木工学科	4	-	-	-	学士 (工学)	-	平成元年度	同上	平成27年度から学生募集停止
社会開発システム工学科	4	-	-	-	学士 (工学)	-	平成元年度	同上	平成27年度から学生募集停止
応用数理工学科	4	-	-	-	学士 (工学)	-	平成7年度	同上	平成27年度から学生募集停止
農学部									
生命環境農学科	4	220	-	880	学士 (農学)	1.05	平成29年度	鳥取県鳥取市湖山町南4丁目101番地	
生物資源環境学科	4	-	-	-	学士 (農学)	-	平成11年度	同上	平成29年度から学生募集停止
共同獣医学科	6	35	-	210	学士 (獣医学)	1.02	平成25年度	同上	
獣医学科	6	-	-	-	学士 (獣医学)	-	昭和24年度	同上	平成25年度から学生募集停止
< 大学院 >									
地域学研究科									
地域創造専攻	2	-	-	-	修士 (地域学)	-	平成19年度	鳥取県鳥取市湖山町南4丁目101番地	平成29年度から学生募集停止
地域教育専攻	2	-	-	-	修士 (教育学)	-	平成19年度	同上	平成29年度から学生募集停止
医学系研究科									
修士課程									
臨床心理学専攻	2	6	-	12	修士 (臨床心理学)	1.66	平成21年度	鳥取県米子市西町86番地	平成6年度、医学研究科から名称変更
博士課程									
医学専攻	4	30	-	120	博士 (医学)	1.00	平成16年度	同上	
博士前期課程									
生命科学専攻	2	10	-	20	修士 (生命科学)	1.00	平成6年度	同上	平成16年度、生命科学系専攻から名称変更
機能再生医科学専攻	2	11	-	22	修士 (再生医科学)	1.76	平成15年度	同上	
保健学専攻	2	14	-	28	修士 (保健学)	0.99	平成16年度	同上	
博士後期課程									
生命科学専攻	3	5	-	15	博士 (生命科学)	0.33	平成8年度	同上	平成16年度、生命科学系専攻から名称変更
機能再生医科学専攻	3	7	-	21	博士 (再生医科学)	0.42	平成15年度	同上	
保健学専攻	3	4	-	12	博士 (保健学)	1.58	平成20年度	同上	

工学研究科									
博士前期課程									
機械宇宙工学専攻	2	-	-	-	修士 (工学)	-	平成20年度	鳥取県鳥取市湖山町 南4丁目101番地	平成29年度から学生 募集停止
情報エレクトロニクス専攻	2	-	-	-	修士 (工学)	-	平成20年度	同上	平成29年度から学生 募集停止
化学・生物応用工学専攻	2	-	-	-	修士 (工学)	-	平成20年度	同上	平成29年度から学生 募集停止
社会基盤工学専攻	2	-	-	-	修士 (工学)	-	平成20年度	同上	平成29年度から学生 募集停止
博士後期課程									
機械宇宙工学専攻	3	6	-	18	博士 (工学)	0.38	平成20年度	同上	
情報エレクトロニクス専攻	3	6	-	18	博士 (工学)	0.33	平成20年度	同上	
化学・生物応用工学専攻	3	4	-	12	博士 (工学)	1.00	平成20年度	同上	
社会基盤工学専攻	3	5	-	15	博士 (工学)	0.40	平成20年度	同上	
農学研究科									
修士課程									
フィールド生産科学専攻	2	-	-	-	修士 (農学)	-	平成21年度	鳥取県鳥取市湖山町 南4丁目101番地	平成29年度から学生 募集停止
生命資源科学専攻	2	-	-	-	修士 (農学)	-	平成21年度	同上	平成29年度から学生 募集停止
国際乾燥地科学専攻	2	-	-	-	修士 (農学)	-	平成21年度	同上	平成29年度から学生 募集停止
連合農学研究科									
博士課程									
生物生産科学専攻	3	6	-	18	博士 (農学)	0.66	平成元年度	鳥取県鳥取市湖山町 南4丁目101番地	
生物環境科学専攻	3	4	-	12	博士 (農学)	1.00	平成元年度	同上	
生物資源科学専攻	3	4	-	12	博士 (農学)	0.83	平成元年度	同上	
国際乾燥地科学専攻	3	3	-	9	博士 (農学)	2.77	平成21年度	同上	

(注)・本調査の対象となっている大学等の設置者(学校法人等)が設置している全ての大学(学部,学科),大学院(専攻)及び短期大学(学科)(AC対象学部等含む)について,それぞれの学校種ごとに,平成29年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。

・学部の学科または研究科の専攻等,「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。

「入学定員を定めている組織ごと」には,課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。

なお,課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は,法令上規定されている組織上の最小単位(大学であれば「学科」,短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。

・専攻科に係るものについては,記入する必要はありません。

・AC対象学部等についても必ず記入してください。

・「平均入学定員超過率」には,標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点以下第2位まで(小数点以下第3位を切り捨て)を記入してください。

・学生募集を停止している学部等がある場合,入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「-」とし,「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。

5 教員組織の状況

<持続性社会創生科学研究科 工学専攻（博士前期課程）>

（１）担当教員表

設 置 時 の 計 画					変 更 状 況					備 考
専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専	教授	河田 康志 (60)	平成29年 4 月	持続性社会創 生技術論 2 蛋白質工学特 論 化学Ⅱ Ⅰ実験 及び演習 化学Ⅱ Ⅰ実験 及び演習						
専	教授	伊藤 敏幸 (63)	平成29年 4 月	グリーンサステナ ブル・特論 化学Ⅱ Ⅰ実験 及び演習 化学Ⅱ Ⅰ実験 及び演習						
専	教授	大城 隆 (56)	平成29年 4 月	Ⅱ Ⅰ資源特論 生物資源応用 特論 微生物生産工 学特論 化学Ⅱ Ⅰ実験 及び演習 化学Ⅱ Ⅰ実験 及び演習						
専	教授	坂口 裕樹 (56)	平成29年 4 月	エネルギー化 学特論 固体物理化学 特論 化学Ⅱ Ⅰ実験 及び演習 化学Ⅱ Ⅰ実験 及び演習						
専	教授	増井 敏行 (48)	平成29年 4 月	エネルギー化 学特論 化学バイオ特 別講義 無機材料化学 特論 化学Ⅱ Ⅰ実験 及び演習 化学Ⅱ Ⅰ実験 及び演習						
専	教授	片田 直伸 (51)	平成29年 4 月	エネルギー化 学特論 触媒設計特論 化学Ⅱ Ⅰ実験 及び演習 化学Ⅱ Ⅰ実験 及び演習						
専	教授	小畑 良洋 (61)	平成29年 4 月	サステナブル資源 利用特論 弾性力学特論 機械宇宙工学 実験及び演習 機械宇宙工学 実験及び演習						

専	教授	福山 敬 (50)	平成29年 4 月	地域経済学特論 社会システム土木 実験及び演習 社会システム土木 実験及び演習						
専	教授	永松 利文 (54)	平成29年 4 月	戦略的経営論 マーケティング 特論						
専	教授	松見 吉晴 (64)	平成29年 4 月	地域づくりと リスクマネジメント						
専	教授	石井 晃 (60)	平成29年 4 月	計算社会科学 機械宇宙工学 実験及び演習 機械宇宙工学 実験及び演習						
専	教授	横田 孝義 (60)	平成29年 4 月	スマート社会技術 論						
				応用数理解析 特論	専	教授	吉村 和之 (48)	平成29年 4 月	応用数理解析特論	平成29年 4 月新規採用に伴い、授業計 画を変更 (29)
				地図情報処理 特論 データ解析特論 情報システム 実験及び演習 情報システム 実験及び演習						
専	教授	黒岩 正光 (51)	平成29年 4 月	自然災害科学 概論 海岸水理学特 論 社会システム土木 実験及び演習 社会システム土木 実験及び演習						
専	教授	西村 強 (57)	平成29年 4 月	自然災害科学 概論 岩盤力学特論 社会システム土木 実験及び演習 社会システム土木 実験及び演習						
専	教授	香川 敬生 (54)	平成29年 4 月	自然災害科学 概論 地図情報工学 特論 社会システム土木 実験及び演習 社会システム土木 実験及び演習						
専	教授	檜谷 治 (58)	平成29年 4 月	自然災害科学 概論 河川水理学 社会システム土木 実験及び演習 社会システム土木 実験及び演習						
専	教授	谷口 朋代 (52)	平成29年 4 月	自然災害科学 概論 構造振動学特 論 社会システム土木 実験及び演習 社会システム土木 実験及び演習						

専	教授	黒田 保 (49)	平成29年 4 月	自然災害科学 概論 コンクリート物性論 社会システム土木 実験及び演習 社会システム土木 実験及び演習						
専	教授	海老沼孝郎 (59)	平成29年 4 月	メタハイドレート概 論 地球科学概論 海洋調査基礎論 メタハイドレート科 学特別講義						
				メタハイドレート科 学特別講義				平成30年 4 月		授業計画の見直しにより、担当教員を 変更 (29)
				海洋調査演習 社会システム土木 実験及び演習 社会システム土木 実験及び演習						
専	教授	陳 中春 (54)	平成29年 4 月	材料科学特論 機械宇宙工学 実験及び演習 機械宇宙工学 実験及び演習						
専	教授	酒井 武治 (46)	平成29年 4 月	熱物理学 機械宇宙工学 実験及び演習 機械宇宙工学 実験及び演習						
専	教授	後藤 知伸 (53)	平成29年 4 月	遅い流れの流 体力学 機械宇宙工学 実験及び演習 機械宇宙工学 実験及び演習						
専	教授	川添 博光 (63)	平成29年 4 月	高速空気力学 流体力学メカニ クス 流体力学メカニ クス 機械宇宙工学 実験及び演習 機械宇宙工学 実験及び演習						
専	教授	小出 隆夫 (62)	平成29年 4 月	振動工学特論 機械宇宙工学 特別講義 機械宇宙工学 実験及び演習 機械宇宙工学 実験及び演習						
専	教授	小野 勇一 (44)	平成29年 4 月	破壊力学 機械宇宙工学 実験及び演習 機械宇宙工学 実験及び演習						
専	教授	佐藤 昌彦 (49)	平成29年 4 月	機械宇宙工学 特別講義 機械加工学特 論 機械宇宙工学 実験及び演習 機械宇宙工学 実験及び演習						

専	教授	西田信一郎 (61)	平成29年 4 月	計測工学特論 機械宇宙工学 実験及び演習 機械宇宙工学 実験及び演習						
専	教授	橋本 隆司 (53)	平成29年 4 月	応用数学特論 対称性の数理						
専	教授	小谷 岳生 (56)	平成29年 4 月	物理数学基礎 機械宇宙工学 実験及び演習 機械宇宙工学 実験及び演習						
専	教授	菅原 一孔 (60)	平成29年 4 月	システムLSI特論 情報エレクトロニクス 実験及び演習 情報エレクトロニクス 実験及び演習						
専	教授	岩井 儀雄 (47)	平成29年 4 月	計算インテリジェンス 特論 パターン処理特論 情報エレクトロニクス 実験及び演習 情報エレクトロニクス 実験及び演習						
専	教授	中西 功 (55)	平成29年 4 月	デジタル信号処理工学 情報エレクトロニクス 実験及び演習 情報エレクトロニクス 実験及び演習						
専	教授	石田 雅 (64)	平成29年 4 月	回路システム工学 情報エレクトロニクス 実験及び演習 情報エレクトロニクス 実験及び演習						
専	教授	市野 邦男 (50)	平成29年 4 月	固体物性論 情報エレクトロニクス 実験及び演習 情報エレクトロニクス 実験及び演習						
専	教授	川村 尚生 (51)	平成29年 4 月	ソフトウェア-ハードウェア 特論 情報エレクトロニクス 実験及び演習 情報エレクトロニクス 実験及び演習						
専	教授	村田 真樹 (46)	平成29年 4 月	自然言語処理 特論 情報エレクトロニクス 実験及び演習 情報エレクトロニクス 実験及び演習						
専	教授	木村 周平 (44)	平成29年 4 月	情報エレクトロニクス 特別講義 生物情報学特論 情報エレクトロニクス 実験及び演習 情報エレクトロニクス 実験及び演習						

専	教授	伊藤 良生 (61)	平成29年 4 月	情報通信工学 特論 情報エレクトロニクス 実験及び演習 情報エレクトロニクス 実験及び演習						
専	教授	近藤 克哉 (50)	平成29年 4 月	システム解析工学 特論 情報エレクトロニクス 実験及び演習 情報エレクトロニクス 実験及び演習						
専	教授	李 相錫 (51)	平成29年 4 月	情報エレクトロニクス 特別講義 M E M S 特論 情報エレクトロニクス 実験及び演習 情報エレクトロニクス 実験及び演習						
専	教授	大観 光徳 (55)	平成29年 4 月	固体電子工学 特論 情報エレクトロニクス 実験及び演習 情報エレクトロニクス 実験及び演習						
専	教授	南条真佐人 (48)	平成29年 4 月	構造化学特論 化学Ⅱ ⅴ実験 及び演習 化学Ⅱ ⅴ実験 及び演習						
専	教授	斎本 博之 (61)	平成29年 4 月	有機合成化学 特論 化学Ⅱ ⅴ実験 及び演習 化学Ⅱ ⅴ実験 及び演習						
専	教授	松浦 和則 (48)	平成29年 4 月	有機材料設計 特論 化学Ⅱ ⅴ実験 及び演習 化学Ⅱ ⅴ実験 及び演習						
専	教授	木瀬 直樹 (60)	平成29年 4 月	生物有機化学 特論 生物化学特論 化学Ⅱ ⅴ実験 及び演習 化学Ⅱ ⅴ実験 及び演習						
専	教授	永野 真吾 (49)	平成29年 4 月	化学バイオ特別講義 生物物理化学 特論 構造生物学特論 化学Ⅱ ⅴ実験 及び演習 化学Ⅱ ⅴ実験 及び演習						
専	教授	谷本 圭志 (46)	平成29年 4 月	社会システム土木 特別講義 システム計画学特論 社会システム土木 実験及び演習 社会システム土木 実験及び演習						

専	教授	星川 淑子 (62)	平成29年 4 月	環境システム工学 社会システム土木 実験及び演習 社会システム土木 実験及び演習						
専	教授	未定		社会システム土木 特別講義				平成29年 7 月		担当教員を決定予定(29)
					専	教授	吉村 和之 (48)	平成29年 4 月	情報システム実験及 び演習 情報システム実験及 び演習	平成29年 4 月新規採用に伴い、授業計 画を変更(29) 平成29年 4 月新規採用に伴い、授業計 画を変更(29)
					専	教授	中川 匡夫 (53)	平成29年 4 月	通信機器工学特論 情報システム実験及 び演習 情報システム実験及 び演習	平成29年 4 月新規採用に伴い、授業計 画を変更(29) 平成29年 4 月新規採用に伴い、授業計 画を変更(29) 平成29年 4 月新規採用に伴い、授業計 画を変更(29)
専	准教授	山岸 大輔 (41)	平成29年 4 月	起業・知財論						
専	准教授	吉野 公 (62)	平成29年 4 月	研究者倫理 自然災害科学 概論 建設材料科学特 論 社会システム土木 実験及び演習 社会システム土木 実験及び演習						
専	准教授	原 豊 (52)	平成29年 4 月	再生可能エネ ルギー特論 機械宇宙工学 実験及び演習 機械宇宙工学 実験及び演習						
専	准教授	中村 公一 (41)	平成29年 4 月	自然災害科学 概論 地盤工学特論 社会システム土木 実験及び演習 社会システム土木 実験及び演習						
専	准教授	塩崎 一郎 (56)	平成29年 4 月	自然災害科学 概論 固体地球科学 社会システム土木 実験及び演習 社会システム土木 実験及び演習						
専	准教授	矢島 啓 (51)	平成29年 4 月	自然災害科学 概論					自然災害科学概論	平成28年 9 月担当教員他大学へ転出の ため、削除(29)
				水工計画学特 論	兼任				水工計画学特論	平成28年 9 月担当教員他大学へ転出の ため、専任から変更(29)
				社会システム土木 実験及び演習 社会システム土木 実験及び演習					社会システム土木実験及 び演習— 社会システム土木実験及 び演習—	平成28年 9 月担当教員他大学へ転出の ため、削除(29) 平成28年 9 月担当教員他大学へ転出の ため、削除(29)

専	准教授	浅井 秀子 (56)	平成29年 4 月	自然災害科学 概論 建設学特論 社会システム土木 実験及び演習 社会システム土木 実験及び演習						
専	准教授	小野 祐輔 (43)	平成29年 4 月	自然災害科学 概論 構造工学 社会システム土木 実験及び演習 社会システム土木 実験及び演習						
専	准教授	岩佐 貴史 (45)	平成29年 4 月	計算力学 機械宇宙工学 実験及び演習 機械宇宙工学 実験及び演習						
専	准教授	松岡 広成 (49)	平成29年 4 月	ナノテクノロジー - 特論 機械宇宙工学 実験及び演習 機械宇宙工学 実験及び演習		教授			機械宇宙工学特別講 義	平成29年 4 月昇任のため、職名を変更 (29) 教育効果充実のため、担当教員を追加 (29)
専	准教授	中井 唱 (37)	平成29年 4 月	数理生物学 機械宇宙工学 実験及び演習 機械宇宙工学 実験及び演習						
専	准教授	田村 篤敬 (43)	平成29年 4 月	機械システムイ ンテリジェント 機械宇宙工学 実験及び演習 機械宇宙工学 実験及び演習						
専	准教授	小田 哲也 (52)	平成29年 4 月	伝熱工学特論 機械宇宙工学 実験及び演習 機械宇宙工学 実験及び演習						
専	准教授	音田 哲彦 (51)	平成29年 4 月	材料強度学特 論 機械宇宙工学 実験及び演習 機械宇宙工学 実験及び演習						
専	准教授	松野 崇 (37)	平成29年 4 月	塑性力学特論 機械宇宙工学 実験及び演習 機械宇宙工学 実験及び演習						
専	准教授	櫻間 一徳 (41)	平成29年 4 月	制御工学特論 機械宇宙工学 実験及び演習 機械宇宙工学 実験及び演習						
専	准教授	井上 順子 (54)	平成29年 4 月	応用数学特論 対称性の数理						

専	准教授	土井 俊行 (54)	平成29年 4 月	物理学基礎 機械宇宙工学 実験及び演習 機械宇宙工学 実験及び演習						
専	准教授	星 健夫 (46)	平成29年 4 月	数理手法と先端工学 量子計算物質 科学特論 機械宇宙工学 実験及び演習 機械宇宙工学 実験及び演習					機械宇宙工学特別講義	教育効果充実のため、担当教員を追加 (29)
専	准教授	古川 勝 (44)	平成29年 4 月	ﾌﾞﾗｽﾞ物理学基礎 機械宇宙工学 実験及び演習 機械宇宙工学 実験及び演習						
専	准教授	村上 仁一 (55)	平成29年 4 月	音声言語処理 特論 情報エレクトロニクス 実験及び演習 情報エレクトロニクス 実験及び演習						
専	准教授	竹森 史暁 (49)	平成29年 4 月	制御理論特論 情報エレクトロニクス 実験及び演習 情報エレクトロニクス 実験及び演習						
専	准教授	有井 士郎 (60)	平成29年 4 月	エレクトロニクス 情報エレクトロニクス 実験及び演習 情報エレクトロニクス 実験及び演習						
専	准教授	西村 亮 (50)	平成29年 4 月	静電気工学 情報エレクトロニクス 実験及び演習 情報エレクトロニクス 実験及び演習						
専	准教授	阿部 友紀 (44)	平成29年 4 月	量子力学 情報エレクトロニクス 実験及び演習 情報エレクトロニクス 実験及び演習						
専	准教授	西山 正志 (40)	平成29年 4 月	パターン認識特論 情報エレクトロニクス 実験及び演習 情報エレクトロニクス 実験及び演習						
専	准教授	高橋 健一 (40)	平成29年 4 月	情報ネットワーク特論 情報エレクトロニクス 実験及び演習 情報エレクトロニクス 実験及び演習						
専	准教授	清水 忠昭 (54)	平成29年 4 月	人工知能特論 情報エレクトロニクス 実験及び演習 情報エレクトロニクス 実験及び演習						

専	准教授	笹岡 直人 (38)	平成29年 4 月	情報通信工学 特論 情報エレクトロニクス 実験及び演習 情報エレクトロニクス 実験及び演習						
専	准教授	大木 誠 (53)	平成29年 4 月	最適化特論						
専	准教授	木下健太郎 (42)	平成29年 4 月	酸化物エレクトロニクス 特論 情報エレクトロニクス 実験及び演習 情報エレクトロニクス 実験及び演習	専	教授	岸田 悟 (64)	平成29年 4 月	酸化物エレクトロニクス特論 情報エレクトロニクス実験及 び演習 情報エレクトロニクス実験及 び演習	平成29年 3 月担当教員他大学へ転出に 伴い、授業計画を変更(29) 平成29年 3 月担当教員他大学へ転出に 伴い、授業計画を変更(29) 平成29年 3 月担当教員他大学へ転出に 伴い、授業計画を変更(29)
専	准教授	原田 尚志 (42)	平成29年 4 月	生分子機能工 学特論 化学Ⅱ ⅴ実験 及び演習 化学Ⅱ ⅴ実験 及び演習						
専	准教授	野上 敏材 (41)	平成29年 4 月	有機金属化学 特論 化学Ⅱ ⅴ実験 及び演習 化学Ⅱ ⅴ実験 及び演習						
専	准教授	伊福 伸介 (42)	平成29年 4 月	精密合成化学 特論 化学Ⅱ ⅴ実験 及び演習 化学Ⅱ ⅴ実験 及び演習						
専	准教授	韓 旻娥 (46)	平成29年 4 月	分子集積化学 特論 化学Ⅱ ⅴ実験 及び演習 化学Ⅱ ⅴ実験 及び演習	専	教授	松浦 和則 (48)	平成29年 4 月	分子集積化学特論 化学Ⅱ ⅴ実験及び演 習— 化学Ⅱ ⅴ実験及び演 習—	平成29年 2 月担当教員他大学へ転出に 伴い、授業計画を変更(29) 平成29年 2 月担当教員他大学へ転出に 伴い、削除(29) 平成29年 2 月担当教員他大学へ転出に 伴い、削除(29)
専	准教授	小林 和裕 (63)	平成29年 4 月	有機材料化学 特論 化学Ⅱ ⅴ実験 及び演習 化学Ⅱ ⅴ実験 及び演習						
専	准教授	森本 稔 (52)	平成29年 4 月	機能材料化学 特論 化学Ⅱ ⅴ実験 及び演習 化学Ⅱ ⅴ実験 及び演習						
専	准教授	薄井 洋行 (42)	平成29年 4 月	電子材料化学 特論 化学Ⅱ ⅴ実験 及び演習 化学Ⅱ ⅴ実験 及び演習						

専	准教授	鈴木 宏和 (41)	平成29年 4 月	微生物生理学 特論 化学Ⅱ 付実験 及び演習 化学Ⅱ 付実験 及び演習						
専	准教授	櫻井 敏彦 (44)	平成29年 4 月	超分子化学特 論 化学Ⅱ 付実験 及び演習 化学Ⅱ 付実験 及び演習						
専	准教授	溝端 知宏 (49)	平成29年 4 月	遺伝子工学特 論 化学Ⅱ 付実験 及び演習 化学Ⅱ 付実験 及び演習						
専	准教授	岡本 賢治 (54)	平成29年 4 月	生体触媒機能 特論 化学Ⅱ 付実験 及び演習 化学Ⅱ 付実験 及び演習	教授					平成29年 4 月昇任のため、職名を変更 (29)
専	准教授	日野 智也 (42)	平成29年 4 月	蛋白質構造機 能科学特論 化学Ⅱ 付実験 及び演習 化学Ⅱ 付実験 及び演習						
専	准教授	桑野 将司 (36)	平成29年 4 月	交通計画学特 論 社会システム 実験及び演習 社会システム 実験及び演習						
専	准教授	小柳 淳二 (51)	平成29年 4 月	信頼性設計工 学	兼任	河合 一 (70)	平成29年10月	信頼性設計工学	教育効果充実のため、担当教員を追加 (29)	
				確率システム工 学特論 オペレーション・リ サーチ特論 社会システム土 木実験及び演習 社会システム土 木実験及び演習						
専	准教授	土屋 哲 (41)	平成29年 4 月	地域経営工学 特論 社会システム土 木実験及び演習 社会システム土 木実験及び演習						
専	准教授	太田 隆夫 (51)	平成29年 4 月	海域制御工学 防災システム工 学社会システム 実験及び演習 社会システム土 木実験及び演習						
専	准教授	増田 貴則 (45)	平成29年 4 月	環境管理工学 社会システム土 木実験及び演習 社会システム土 木実験及び演習						

専	講師	松野 隆 (41)	平成29年 4 月	航空宇宙流体 力学 流体力学セミナー 流体力学セミナー 機械宇宙工学 実験及び演習 機械宇宙工学 実験及び演習						
専	講師	徳久 雅人 (45)	平成29年 4 月	ソフトウェア 論 情報エレクトロニクス 実験及び演習 情報エレクトロニクス 実験及び演習						
専	講師	辻 悦司 (34)	平成29年 4 月	表面化学特論 化学プロセス実験 及び演習 化学プロセス実験 及び演習						
専	助教	西 遼佑 (32)	平成29年 4 月	機械宇宙工学 実験及び演習 機械宇宙工学 実験及び演習		講師			設計工学特論	平成29年 4 月昇任のため、職名を変更 (29) 教育課程の充実のため、科目を追加 (29)
専	助教	山本 芳苗 (27)	平成29年 4 月	機械宇宙工学 実験及び演習 機械宇宙工学 実験及び演習						
専	助教	本宮 潤一 (28)	平成29年 4 月	機械宇宙工学 実験及び演習 機械宇宙工学 実験及び演習						
専	助教	中谷真太郎 (28)	平成29年 4 月	機械宇宙工学 実験及び演習 機械宇宙工学 実験及び演習						
専	助教	森澤征一郎 (33)	平成29年 4 月	機械宇宙工学 実験及び演習 機械宇宙工学 実験及び演習					高速空力学 流体力学セミナー 流体力学セミナー	教育効果充実のため、担当教員を追加 (29) 教育効果充実のため、担当教員を追加 (29) 教育効果充実のため、担当教員を追加 (29)
専	助教	大信田丈志 (46)	平成29年 4 月	機械宇宙工学 実験及び演習 機械宇宙工学 実験及び演習						
専	助教	加藤 由紀 (48)	平成29年 4 月	機械宇宙工学 実験及び演習 機械宇宙工学 実験及び演習						
専	助教	榊原 寛史 (31)	平成29年 4 月	機械宇宙工学 実験及び演習 機械宇宙工学 実験及び演習						

専	助教	前川 覚 (32)	平成29年 4 月	機械宇宙工学 実験及び演習 機械宇宙工学 実験及び演習						
専	助教	櫛田 大輔 (42)	平成29年 4 月	情報工学的 実験及び演習 情報工学的 実験及び演習						
専	助教	藪田 義人 (47)	平成29年 4 月	情報工学的 実験及び演習 情報工学的 実験及び演習						
専	助教	笹間 俊彦 (44)	平成29年 4 月	情報工学的 実験及び演習 情報工学的 実験及び演習						
専	助教	吉村 宏紀 (46)	平成29年 4 月	情報工学的 実験及び演習 情報工学的 実験及び演習						
専	助教	小山田雄仁 (33)	平成29年 4 月	情報工学的 実験及び演習 情報工学的 実験及び演習						
専	助教	藤村喜久郎 (54)	平成29年 4 月	情報工学的 実験及び演習 情報工学的 実験及び演習						
専	助教	白岩 史 (35)	平成29年 4 月	情報工学的 実験及び演習 情報工学的 実験及び演習						
専	助教	三柴 数 (36)	平成29年 4 月	情報工学的 実験及び演習 情報工学的 実験及び演習		准教授			画像処理工学特論 教育課程の充実のため、科目を追加 (29)	平成28年12月昇任のため、職名を変更 (29)
専	助教	赤岩 和明 (30)	平成29年 4 月	情報工学的 実験及び演習 情報工学的 実験及び演習						
専	助教	八木 寿梓 (39)	平成29年 4 月	生体医学特 論 化学Ⅱ ⅴ実験 及び演習 化学Ⅱ ⅴ実験 及び演習						
専	助教	道見 康弘 (35)	平成29年 4 月	化学Ⅱ ⅴ実験 及び演習 化学Ⅱ ⅴ実験 及び演習						
専	助教	稲葉 央 (30)	平成29年 4 月	化学Ⅱ ⅴ実験 及び演習 化学Ⅱ ⅴ実験 及び演習						
専	助教	井澤 浩則 (36)	平成29年 4 月	化学Ⅱ ⅴ実験 及び演習 化学Ⅱ ⅴ実験 及び演習						

専	助教	早瀬 修一 (59)	平成29年 4 月	化学Ⅱ 付実験 及び演習 化学Ⅱ 付実験 及び演習						
専	助教	菅沼 学史 (33)	平成29年 4 月	化学Ⅱ 付実験 及び演習 化学Ⅱ 付実験 及び演習						
専	助教	小田 沙織 (28)	平成29年 4 月	化学Ⅱ 付実験 及び演習 化学Ⅱ 付実験 及び演習						
専	助教	本郷 邦弘 (46)	平成29年 4 月	化学Ⅱ 付実験 及び演習 化学Ⅱ 付実験 及び演習						
専	助教	福間 三喜 (63)	平成29年 4 月	化学Ⅱ 付実験 及び演習 化学Ⅱ 付実験 及び演習						
専	助教	金氏 裕也 (27)	平成29年 4 月	社会システム土木 実験及び演習 社会システム土木 実験及び演習						
専	助教	河野 勝宣 (31)	平成29年 4 月	社会システム土木 実験及び演習 社会システム土木 実験及び演習		講師				平成29年 3 月昇任のため、職名を変更 (29)
専	助教	梶川 勇樹 (39)	平成29年 4 月	社会システム土木 実験及び演習 社会システム土木 実験及び演習						
専	助教	野口 竜也 (44)	平成29年 4 月	社会システム土木 実験及び演習 社会システム土木 実験及び演習						
専	助教	向坊 恭介 (36)	平成29年 4 月	社会システム土木 実験及び演習 社会システム土木 実験及び演習						
専	助教	井上 真二 (39)	平成29年 4 月	社会システム土木 実験及び演習 社会システム土木 実験及び演習	専	助教	井上—真二 (39)	平成29年 4 月	社会システム土木実験及 び演習— 社会システム土木実験及 び演習—	平成29年 3 月担当教員他大学へ転出に 伴い、削除 (29) 平成29年 3 月担当教員他大学へ転出に 伴い、削除 (29)
専	助教	南野 友香 (28)	平成29年 4 月	社会システム土木 実験及び演習 社会システム土木 実験及び演習						
専	助教	羅 貞一 (42)	平成29年 4 月	社会システム土木 実験及び演習 社会システム土木 実験及び演習						
専	助教	長曽我部まど (30)	平成29年 4 月	社会システム土木 実験及び演習 社会システム土木 実験及び演習						

専	助教	金 洙列 (40)	平成29年 4 月	社会システム土木 実験及び演習 社会システム土木 実験及び演習						
専	助教	大平 悠季 (28)	平成29年 4 月	社会システム土木 実験及び演習 社会システム土木 実験及び演習						
専	助教	高部 祐剛 (33)	平成29年 4 月	社会システム土木 実験及び演習 社会システム土木 実験及び演習						
専	助教	石田 直人 (43)	平成29年 4 月	社会システム土木 実験及び演習 社会システム土木 実験及び演習						
兼担	教授	恒川 篤史 (56)	平成29年 4 月	持続性社会創 生科学概論 1						
兼担	教授	山中 典和 (58)	平成29年 4 月	持続性社会創 生科学概論 1						
兼担	教授	山本 定博 (56)	平成29年 4 月	持続性社会創 生科学概論 1						
兼担	教授	辻本 壽 (58)	平成29年 4 月	持続性社会創 生科学概論 1						
兼担	教授	黒沢 洋一 (60)	平成29年 4 月	持続性社会創 生科学概論 1						
兼担	教授	伊藤 壽啓 (58)	平成29年 4 月	持続性社会創 生科学概論 1						
兼担	教授	安藤 孝之 (61)	平成29年 4 月	持続性社会創 生科学概論 1 国際乾燥地科学特論 国際協力特論					国際乾燥地科学特論 (人間開発)	教職課程認定申請に当たり授業内容を 明確にするため、科目名を変更(29)
兼担	教授	小野 達也 (57)	平成29年 4 月	持続性社会創 生科学概論 2 地域フィールド ワーク学 異分野融合地 域プロジェクト 地域リサーチ特論						
兼担	教授	仲野 誠 (52)	平成29年 4 月	持続性社会創 生科学概論 2 コミュニティ特論	兼担	教授	仲野——誠 (52)	平成29年 4 月	持続性社会創生科学 概論 2	平成28年10月担当教員死去のため、削 除(29)
					兼担	准教授	稲津 秀樹 (33)	平成29年 4 月	コミュニティ特論	担当教員死去のため、担当教員を変更 (29)
兼担	教授	多田憲一郎 (56)	平成29年 4 月	持続性社会創 生科学概論 2 地域経済学特 論						
兼担	教授	霜村 典宏 (52)	平成29年 4 月	持続性社会創 生技術論 1 生命環境農学 特論					生命環境農学特論 (生産資源環境)	教職課程認定申請に当たり授業内容を 明確にするため、科目名を変更(29)
兼担	教授	藤巻 晴行 (47)	平成29年 4 月	国際乾燥地科学特論					国際乾燥地科学特論 (食糧・農業)	教職課程認定申請に当たり授業内容を 明確にするため、科目名を変更(29)

兼担	教授	日置 佳之 (59)	平成29年 4 月	生命環境農学 特論					生命環境農学特論 (里地里山環境)	教職課程認定申請に当たり授業内容を 明確にするため、科目名を変更 (29)
兼担	教授	古塚 秀夫 (63)	平成29年 4 月	生命環境農学 特論					生命環境農学特論 (里地里山環境)	教職課程認定申請に当たり授業内容を 明確にするため、科目名を変更 (29)
兼担	教授	永松 大 (48)	平成29年 4 月	生命環境農学 特論					生命環境農学特論 (里地里山環境)	教職課程認定申請に当たり授業内容を 明確にするため、科目名を変更 (29)
					兼担	教授	松田 敏信 (50)	平成29年 4 月	生命環境農学特論 (里地里山環境)	教育効果充実のため、担当教員を追加 (29) 教職課程認定申請に当たり授業内容を 明確にするため、科目名を変更 (29)
					兼担	教授	大住 克博 (62)	平成29年 4 月	生命環境農学特論 (里地里山環境)	教育効果充実のため、担当教員を追加 (29) 教職課程認定申請に当たり授業内容を 明確にするため、科目名を変更 (29)
					兼担	教授	長澤 良太 (61)	平成29年 4 月	生命環境農学特論 (里地里山環境)	教育効果充実のため、担当教員を追加 (29) 教職課程認定申請に当たり授業内容を 明確にするため、科目名を変更 (29)
					兼担	教授	能美 誠 (59)	平成29年 4 月	生命環境農学特論 (里地里山環境)	教育効果充実のため、担当教員を追加 (29) 教職課程認定申請に当たり授業内容を 明確にするため、科目名を変更 (29)
					兼担	教授	松村 一善 (49)	平成29年 4 月	生命環境農学特論 (里地里山環境)	教育効果充実のため、担当教員を追加 (29) 教職課程認定申請に当たり授業内容を 明確にするため、科目名を変更 (29)
兼担	教授	田村 文男 (58)	平成29年 4 月	生命環境農学 特論					生命環境農学特論 (生産資源環境)	教職課程認定申請に当たり授業内容を 明確にするため、科目名を変更 (29)
兼担	教授	會見 忠則 (50)	平成29年 4 月	生命環境農学 特論					生命環境農学特論 (生産資源環境)	教職課程認定申請に当たり授業内容を 明確にするため、科目名を変更 (29)
					兼担	教授	山口 武視 (56)	平成29年 4 月	生命環境農学特論 (生産資源環境)	教育効果充実のため、担当教員を追加 (29) 教職課程認定申請に当たり授業内容を 明確にするため、科目名を変更 (29)
					兼担	教授	中桐 昭 (60)	平成29年 4 月	生命環境農学特論 (生産資源環境)	教育効果充実のため、担当教員を追加 (29) 教職課程認定申請に当たり授業内容を 明確にするため、科目名を変更 (29)
兼担	教授	東 政明 (60)	平成29年 4 月	生命環境農学 特論					生命環境農学特論 (生命環境科学)	教職課程認定申請に当たり授業内容を 明確にするため、科目名を変更 (29)
兼担	教授	渡邊 文雄 (58)	平成29年 4 月	生命環境農学 特論					生命環境農学特論 (生命環境科学)	教職課程認定申請に当たり授業内容を 明確にするため、科目名を変更 (29)
兼担	教授	田村 純一 (55)	平成29年 4 月	生命環境農学 特論					生命環境農学特論 (生命環境科学)	教職課程認定申請に当たり授業内容を 明確にするため、科目名を変更 (29)
					兼担	教授	河野 強 (54)	平成29年 4 月	生命環境農学特論 (生命環境科学)	教育効果充実のため、担当教員を追加 (29) 教職課程認定申請に当たり授業内容を 明確にするため、科目名を変更 (29)
					兼担	教授	石原 亨 (50)	平成29年 4 月	生命環境農学特論 (生命環境科学)	教育効果充実のため、担当教員を追加 (29) 教職課程認定申請に当たり授業内容を 明確にするため、科目名を変更 (29)

					兼任	教授	一柳 剛 (46)	平成29年 4 月	生命環境農学特論 (生命環境科学)	教育効果充実のため、担当教員を追加 (29) 教職課程認定申請に当たり授業内容を 明確にするため、科目名を変更 (29)
					兼任	教授	明石 欣也 (48)	平成29年 4 月	生命環境農学特論 (生命環境科学)	教育効果充実のため、担当教員を追加 (29) 教職課程認定申請に当たり授業内容を 明確にするため、科目名を変更 (29)
					兼任	教授	児玉基一朗 (57)	平成29年 4 月	生命環境農学特論 (生命環境科学)	教育効果充実のため、担当教員を追加 (29) 教職課程認定申請に当たり授業内容を 明確にするため、科目名を変更 (29)
兼任	教授	安延 久美 (55)	平成29年 4 月	国際乾燥地科学特論					国際乾燥地科学特論 (人間開発)	教職課程認定申請に当たり授業内容を 明確にするため、科目名を変更 (29)
兼任	教授	緒方 英彦 (47)	平成29年 4 月	国際乾燥地科学特論					国際乾燥地科学特論 (人間開発)	教職課程認定申請に当たり授業内容を 明確にするため、科目名を変更 (29)
兼任	教授	CATES ALEXANDER KIPPEN (63)	平成29年 4 月	国際交流と異文化理解						
兼任	教授	藤井 正 (60)	平成29年 4 月	地域フィールドワーク学 地域リサーチ特論						
兼任	教授	未定		異分野融合地域プロジェクト	専	教授	谷本 圭志 (46)	平成29年 4 月	異分野融合地域プロジェクト	担当教員を決定 (29)
兼任	准教授	竹川 俊夫 (49)	平成29年 4 月	持続性社会創生科学概論 2						
兼任	准教授	馬場 芳 (43)	平成29年 4 月	持続性社会創生科学概論 2						
兼任	准教授	木村 玲二 (47)	平成29年 4 月	国際乾燥地科学特論					国際乾燥地科学特論 (環境)	教職課程認定申請に当たり授業内容を 明確にするため、科目名を変更 (29)
兼任	准教授	黒崎 泰典 (46)	平成29年 4 月	国際乾燥地科学特論					国際乾燥地科学特論 (環境)	教職課程認定申請に当たり授業内容を 明確にするため、科目名を変更 (29)
兼任	准教授	谷口 武士 (37)	平成29年 4 月	国際乾燥地科学特論					国際乾燥地科学特論 (環境)	教職課程認定申請に当たり授業内容を 明確にするため、科目名を変更 (29)
兼任	准教授	田川公太郎 (45)	平成29年 4 月	国際乾燥地科学特論					国際乾燥地科学特論 (環境)	教職課程認定申請に当たり授業内容を 明確にするため、科目名を変更 (29)
兼任	准教授	竇来佐和子 (43)	平成29年 4 月	国際乾燥地科学特論					国際乾燥地科学特論 (環境)	教職課程認定申請に当たり授業内容を 明確にするため、科目名を変更 (29)
兼任	准教授	安 萍 (46)	平成29年 4 月	国際乾燥地科学特論					国際乾燥地科学特論 (食糧・農業)	教職課程認定申請に当たり授業内容を 明確にするため、科目名を変更 (29)
兼任	准教授	西原 英治 (48)	平成29年 4 月	国際乾燥地科学特論					国際乾燥地科学特論 (食糧・農業)	教職課程認定申請に当たり授業内容を 明確にするため、科目名を変更 (29)
兼任	准教授	山田 智 (50)	平成29年 4 月	国際乾燥地科学特論		教授			国際乾燥地科学特論 (食糧・農業)	平成29年 4 月昇任のため、職名を変更 (29) 教職課程認定申請に当たり授業内容を 明確にするため、科目名を変更 (29)

兼任	准教授	遠藤 常嘉 (48)	平成29年 4 月	国際乾燥地科学特論		教授				国際乾燥地科学特論 (食糧・農業)	平成28年 8 月昇任のため、職名を変更 (29) 教職課程認定申請に当たり授業内容を 明確にするため、科目名を変更(29)
兼任	准教授	清水 克之 (45)	平成29年 4 月	国際乾燥地科学特論						国際乾燥地科学特論 (食糧・農業)	教職課程認定申請に当たり授業内容を 明確にするため、科目名を変更(29)
兼任	准教授	齊藤 忠臣 (40)	平成29年 4 月	国際乾燥地科学特論						国際乾燥地科学特論 (食糧・農業)	教職課程認定申請に当たり授業内容を 明確にするため、科目名を変更(29)
兼任	准教授	大谷 真二 (50)	平成29年 4 月	国際乾燥地科学特論						国際乾燥地科学特論 (人間開発)	教職課程認定申請に当たり授業内容を 明確にするため、科目名を変更(29)
兼任	准教授	小林 伸行 (53)	平成29年 4 月	国際乾燥地科学特論						国際乾燥地科学特論 (人間開発)	教職課程認定申請に当たり授業内容を 明確にするため、科目名を変更(29)
兼任	准教授	中 朋美 (41)	平成29年 4 月	文化多様性特論							
兼任	准教授	柿内 真紀 (51)	平成29年 4 月	比較国際教育特論							
兼任	准教授	河合 務 (45)	平成29年 4 月	人間形成特論							
兼任	准教授	一盛 真 (53)	平成29年 4 月	人権教育特論	兼任						平成29年 3 月担当教員他大学へ転出の ため、兼任から変更(29)
兼任	准教授	清水 克彦 (53)	平成29年 4 月	海洋水産資源学							
兼任	准教授	有馬 二郎 (42)	平成29年 4 月	海洋水産資源学							
兼任	准教授	筒井 一伸 (42)	平成29年 4 月	異分野融合地域プロジェクト 地域リサーチ特論							
兼任	准教授	未定		異分野融合地域プロジェクト	専	准教授	桑野 将司 (36)	平成29年 4 月	異分野融合地域プロジェクト		担当教員を決定(29)
兼任	特命 准教授	AYEHU HAREGEWEYN (44)	平成29年 4 月	国際乾燥地科学特論						国際乾燥地科学特論 (人間開発)	教職課程認定申請に当たり授業内容を 明確にするため、科目名を変更(29)
兼任	講師	池野なつ美 (31)	平成29年 4 月	国際乾燥地科学特論						国際乾燥地科学特論 (環境)	教職課程認定申請に当たり授業内容を 明確にするため、科目名を変更(29)
兼任	助教	衣笠 利彦 (41)	平成29年 4 月	国際乾燥地科学特論		准教授				国際乾燥地科学特論 (環境)	平成29年 4 月昇任のため、職名を変更 (29) 教職課程認定申請に当たり授業内容を 明確にするため、科目名を変更(29)
兼任	助教	BAYSA ASRES ELIAS (38)	平成29年 4 月	国際乾燥地科学特論						国際乾燥地科学特論 (人間開発)	教職課程認定申請に当たり授業内容を 明確にするため、科目名を変更(29)
兼任		未定		持続性社会創 生科学概論 2	兼任		未定			持続性社会創生科学 概論 2-	授業計画の見直しのため、削除(29)
兼任		未定		持続性社会創 生科学概論 2	兼任		未定			持続性社会創生科学 概論 2-	授業計画の見直しのため、削除(29)
兼任		未定		地域づくりの 心理学				平成29年 7 月			非常勤講師を任用予定(29)

兼任		未定		特別学外実習	専	教授	陳 中春 (54)	平成29年 4 月	特別学外実習	記載誤りのため、教員配置を変更(29)
兼任		未定		長期特別学外実習	専	教授	陳 中春 (54)	平成29年 4 月	長期特別学外実習	記載誤りのため、教員配置を変更(29)
兼任		未定		国際連携特別研究	専	教授	陳 中春 (54)	平成29年 4 月	国際連携特別研究	記載誤りのため、教員配置を変更(29)
兼任		松本 良 (69)	平成29年 4 月	地球科学概論						
兼任		奥田 義久 (69)	平成29年 4 月	海洋調査基礎論 海洋調査演習						
兼任		未定		機械宇宙工学特別講義	兼任		今村 信昭 (62)		機械宇宙工学特別講義	担当教員を決定(29)
					兼任		福島 孝治 (48)		機械宇宙工学特別講義	教育効果充実のため、担当教員を追加(29)
兼任		未定		機械宇宙工学特別講義				平成29年 7 月		非常勤講師を任用予定(29)
兼任		宮崎 和光 (49)	平成29年 4 月	情報エレクトロニクス特別講義						
兼任		木股 雅章 (65)	平成29年 4 月	情報エレクトロニクス特別講義						
兼任		戸田 健司 (53)	平成29年 4 月	化学バイオ特別講義						
兼任		岩崎 憲治 (49)	平成29年 4 月	化学バイオ特別講義						
兼任		未定		社会システム土木特別講義				平成29年 7 月		非常勤講師を任用予定(29)
兼任		未定		社会システム土木特別講義				平成29年 7 月		非常勤講師を任用予定(29)
兼任		未定		メカトロニクス特別講義				平成29年 7 月		非常勤講師を任用予定(29)
兼任		未定		メカトロニクス特別講義				平成30年4月		非常勤講師を任用予定(29)
兼任		未定		情報システム特論				平成29年 7 月		非常勤講師を任用予定(29)
兼任		未定		岩盤物性論	専	講師	河野 勝宣 (31)	平成29年 4 月	岩盤物性論	平成29年 3 月昇任に伴い、授業計画を変更(29)
兼任		未定		地域マネジメント学特別講義				平成29年 7 月		非常勤講師を任用予定(29)
兼任		未定		地域マネジメント学特別講義				平成29年 7 月		非常勤講師を任用予定(29)
兼任		未定		創造地域特論	兼任	准教授	竹内 潔 (36)	平成29年 4 月	創造地域特論	新規採用に伴い、授業計画を変更(29)

- (注)・ 設置時の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 後任が決まっていない場合には、「後任未定」と記入してください。
 - ・ 辞任者は「備考」に退職年月、氏名、理由を記入してください。
 - ・ 年齢は、「**設置時の計画**」には当該学部等の就任時における満年齢を、「**変更状況**」には平成29年5月1日現在の満年齢を記入してください。
 - ・ 教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合(「新規採用」,「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。)は、変更後の状況を記入するとともに、その理由、後任者が決まっていない場合は、「変更状況」の「氏名」に「後任未定」と記入し、及び今後の採用計画を「備考」に記入してください。
 - ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**,当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し,大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(AC教員審査)を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 - ・ 「専任教員採用等変更書(AC)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「○年○月教員審査済」,変更書を提出予定の場合は「○年○月変更書提出予定」と記入してください。
なお,設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は,「備考」に「(教員審査省略)」及びその変更の理由,変更年度()書き等のみを記入してください。

(2) 専任教員数等

(2) ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における設置基準上の必要研究指導教員数	うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数	完成年度時における設置基準上の必要研究指導補助教員数
24 名	3 名	3 名

(注)・大学院に専攻ごとに置くものとする教員の数について定める件(平成十一年九月十四日文部省告示第百七十五号)により算出される教員数を記入してください。

(2) ② 専任教員数

設 置 時 の 計 画					現在（報告書提出時）の状況					現在（報告書提出時）の完成年度時の計画				
教 授	准教授	講 師	助 教	計	教 授	准教授	講 師	助 教	計 （ A ）	教 授	准教授	講 師	助 教	計 （ B ）
48	48	3	40	139	53	43	5	36	137	51	43	5	36	135
(53)	(43)	(5)	(36)	(137)						[3]	[5]	[2]	[4]	[4]
研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数		研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数		研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数				
95	39	5		97	35	5		96	35	4				
(97)	(35)	(5)						[1]	[4]	[1]				

(注)・「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、()内に開設時の状況を記入してください。

・「現在(報告書提出時)の状況」には、報告書提出年度の5月1日の教員数(実人数)を記入してください。

・「現在(報告書提出時)の完成年度時の計画」には、報告書提出年度の5月1日現在、完成年度時に計画している教員数を記入するとともに、[]内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例: 1名減の場合: 1)

(2) ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢(歳)	報告書提出時(上記(A))の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時(上記(B))の教員のうち、定年を延長して採用する教員数
65 歳	0 名	0 名

(注)・「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢(特例等による定年年齢ではありません)、および、平成29年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。

・なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

・専門職大学院の場合は、「研究指導教員」を「研究者教員」と、「研究指導補助教員」を「実務家教員」と修正して記入してください。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番 号	職 位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別		担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由				
1	准教授	矢島 啓	選択		自然災害科学概論		平成28年 9 月 他大学転出のため就任辞退（29）				
			選択		水工計画学特論						
			選択		社会システム土木実験及び演習						
			選択		社会システム土木実験及び演習						
2	准教授	木下健太郎	選択		酸化物エレクトロニクス特論		平成29年 3 月 他大学転出のため就任辞退（29）				
			選択		情報エレクトロニクス実験及び演習						
			選択		情報エレクトロニクス実験及び演習						
3	准教授	韓 旻娥	選択		分子集積化学特論		平成29年 2 月 他大学転出のため就任辞退（29）				
			選択		化学AI 付実験及び演習						
			選択		化学AI 付実験及び演習						
4	助教	井上 真二	選択		社会システム土木実験及び演習		平成29年 3 月 他大学転出のため就任辞退（29）				
			選択		社会システム土木実験及び演習						
合 計（ A ）						後任補充状況の集計（ B ）					
就任を辞退した教員数			担当科目数の合計（ a ）＋（ b ）＋（ c ）			の合計数（ a ）		の合計数（ b ）		の合計数（ c ）	
4	人	必修		0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択		10	科目	選択	9	科目	選択	1	科目
		自由		0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計		10	科目	計	9	科目	計	1	科目

- （注）・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
- ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「（3）- 専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「 」～「 」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・ 専任教員が担当する（している）場合は「 」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「 」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「 」～「 」以外の場合は「 」

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番 号	職 位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由				
合計（ C ）			後任補充状況の集計（ D ）							
辞任した教員数		担当科目数の合計（ a ）+（ b ）+（ c ）		の合計数（ a ）		の合計数（ b ）	の合計数（ c ）			
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- （注）・ 一度就任した後に、辞任した全ての専任教員の辞任の理由を具体的に記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「 」～「 」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・ 専任教員が担当する（している）場合は「 」
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「 」
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「 」～「 」以外の場合は「 」

上記(3)－① ・ (3)－② の合計

合計(A)+(C)			後任補充状況の集計(B)+(D)								
辞任等した教員数	担当科目数の合計(a)+(b)+(c)		の合計数(a)			の合計数(b)			の合計数(c)		
4人	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目	
	選択	10 科目	選択	9 科目	選択	1 科目	選択	0 科目	選択	0 科目	
	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	
	計	10 科目	計	9 科目	計	1 科目	計	0 科目	計	0 科目	

(注) ・ 就任辞退(未就任)及び辞任した全専任教員について、教員数、担当科目数の合計、後任補充の状況を記入ください。

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

大学の所見...就任辞退した専任教員の担当科目にあつては、他の専任教員が、あるいは辞退した当該人が兼任教員として当該科目を担当するため、科目の未開講がないことから、学生への影響はない。
 学生への周知方法...履修の手引きの冊子類等により周知している。

(注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

6 留意事項等に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項 等	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
設 置 時 (○ ○ 年 ○ ○ 月)			
設置計画履行状況 調 査 時 (年 2 月)	該当なし		
設置計画履行状況 調 査 時 (□ □ 年 2 月)			
設置計画履行状況 調 査 時 (● ● 年 2 月)			

- (注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時（認可時又は届出時）に付された留意事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を（ ）書きで付記してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された意見に対する履行状況等について、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
 - ・ 同一設置者が設置する既設学部等に付された意見は、当該大学から提出される全ての報告書に記入してください。
 - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査時」の（年月）には、調査結果を公表した月（通常2月）を記入してください。（実地調査や面接調査を実施した日ではありません。）

7 その他全般的事項

＜持続性社会創生科学研究科 工学専攻（博士前期課程）＞

（１）設置計画変更事項等

設 置 時 の 計 画	変更内容・状況，今後の見通しなど
開設科目数 必修科目 1 科目，選択科目 170 科目	教育課程の充実を図るため，選択科目を 3 科目追加。 （「2 授業科目の概要（1）授業科目表」を参照）

（注）・ 1～6 の項目に記入した事項以外で，設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
・ 設置時の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し，それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。（記入例参照）

（２）教員の資質の維持向上の方策（FD 活動含む）

実施体制

a 委員会の設置状況
鳥取大学教育支援委員会（常置委員会） 規則は別紙のとおり

b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）
年 10 回程度（委員会規則により組織された委員の過半数の出席をもって開催している。）
〔FD 活動については，別途，教育支援・国際交流推進機構及び各部局等がそれぞれ行っている。〕

c 委員会の審議事項等
一 教育方針・教育計画の立案及び実施に関すること。
二 教育に関連する中期目標・計画等の運営の基本方針に関すること。 等

実施状況

a 実施内容
・ 新任 FD 研修会
・ 全学 FD 研修会
・ 全学 FD 講演会
・ 授業公開
・ 英語で効果的に教える方法

b 実施方法
教育支援・国際交流推進機構が行う FD 活動については，機構長を中心に，実施・運営を教育センターが行っている。
・ 新任 FD 研修会については参加を必須とする。
・ その他の FD 研修会及び講演会等は，任意または部局から推薦された者が参加する。

c 開催状況（教員の参加状況含む）
平成 27 年度及び平成 28 年度については，大学全体の FD 活動参加率は 75 % となっている。

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況
・ 不定期に教育支援委員会に報告し，各学部等委員へ報告している。

学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期
各学期（若しくはクォーター）の中間期並びに学期末毎に各 1 回行う。
（学期末アンケートはすべての教員について必須であり，中間期に行うアンケートについては，採用後 3 年以内の教員のみが必須となる。）

b 教員や学生への公開状況，方法等
学期末アンケートについて，本学ホームページに，「科目名」，「アンケート回答数」，「評価平均値」を公開している。

（注）・ 「a 委員会の設置状況」には，関係規程等を転載又は添付すること。
「実施状況」には，実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 自己点検・評価等に関する事項

設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見
設置初年度における研究科の運営については概ね計画どおりであるが、設置の趣旨・目的の達成のため、課題の克服や更なる教育改善に取り組んでいくこととしたい。

自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

未定

b 公表方法

未定

認証評価を受ける計画

・平成33年度に評価機関（独立行政法人大学改革支援・学位授与機構）の評価を受ける予定

（注）・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。
また、「 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。
なお、「 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(4) 情報公表に関する事項

o 設置計画履行状況報告書

a ホームページに公表の有無

(有 ・ 無)

b 公表時期（未公表の場合は予定時期）

(平成29年 9月 1日)

○鳥取大学教育支援委員会規則

平成16年4月9日
鳥取大学規則第74号

(趣旨)

第1条 この規則は、鳥取大学の管理運営に関する規則(平成16年鳥取大学規則第57号)第18条第6項の規定に基づき、鳥取大学教育支援委員会(以下「委員会」という。)に関し必要な事項を定めるものとする。

(審議事項)

第2条 委員会は、次に掲げる事項を審議する。

- 一 教育方針・教育計画の立案及び実施に関すること。
- 二 教育に関連する中期目標・計画等の運営の基本方針に関すること。
- 三 その他大学教育に関すること。

(組織)

第3条 委員会は、次に掲げる者をもって組織する。

- 一 理事(教育担当)(以下「理事」という。)
- 二 各学部(工学部を除く。)の学部長又は副学部長(教務担当)
- 三 工学研究科の研究科長又は副研究科長(教務担当)
- 四 教育センター長及び教員養成センター長
- 五 学生部長及び学生部教育支援課長
- 六 その他委員長が必要と認めた者

2 前項第6号の委員の任期は、委員長がその都度定める。

(委員長)

第4条 委員会に委員長を置き、理事をもって充てる。

- 2 委員長は、委員会を招集し、その議長となる。
- 3 委員長に事故があるときは、委員長があらかじめ指名した委員がその職務を代理する。

(議事)

第5条 委員会は、委員の過半数の出席をもって開くものとする。

2 委員会の議事は、出席した委員の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

(意見の聴取)

第6条 委員会が必要と認めたときは、委員以外の者の出席を求め、その意見を聴くことができる。

(専門委員会)

第7条 委員会に、専門的事項を調査審議するため、専門委員会を置くことができる。

2 前項の専門委員会に関し必要な事項は、別に定める。

(事務)

第8条 委員会の事務は、学生部教育支援課において処理する。

(雑則)

第9条 この規則に定めるもののほか、委員会の運営に関し必要な事項は、委員会の議を経て、委員長が定める。

附 則

- 1 この規則は、平成16年4月9日から施行し、平成16年4月1日から適用する。
- 2 鳥取大学全学教育委員会規則(平成14年鳥取大学規則第3号)は、廃止する。

附 則(平成18年12月14日鳥取大学規則第144号)

- 1 この規則は、平成19年1月1日から施行する。ただし、第3条及び第7条の改正規定並びに次項の規定は、平成19年4月1日から施行する。

2 鳥取大学教育支援委員会に設置する専門委員会に関する細則（平成14年鳥取大学規則第5号）は、廃止する。

附 則（平成19年3月14日鳥取大学規則第20号）

この規則は、平成19年4月1日から施行する。

附 則（平成20年3月25日鳥取大学規則第27号）

この規則は、平成20年4月1日から施行する。

附 則（平成20年5月21日鳥取大学規則第72号）

この規則は、平成20年5月21日から施行し、改正後の鳥取大学教育支援委員会規則の規定は、平成20年4月1日から適用する。

附 則（平成21年6月22日鳥取大学規則第66号）

この規則は、平成21年6月22日から施行し、改正後の鳥取大学教育支援委員会規則の規定は、平成21年4月1日から適用する。

附 則（平成22年3月30日鳥取大学規則第59号）

この規則は、平成22年4月1日から施行する。

附 則（平成22年6月21日鳥取大学規則第96号）

この規則は、平成22年6月21日から施行し、改正後の鳥取大学教育支援委員会規則の規定は、平成22年4月1日から適用する。

附 則（平成23年4月18日鳥取大学規則第52号）

この規則は、平成23年4月1日から施行する。

附 則（平成25年2月5日鳥取大学規則第4号）

この規則は、平成25年2月5日から施行する。

附 則（平成27年3月24日鳥取大学規則第28号）

この規則は、平成27年4月1日から施行する。

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設 置 者

国立大学法人 鳥取大学

(2) 大 学 名

鳥取大学

(3) 大学の位置

〒680 - 8550

鳥取県鳥取市湖山町南4丁目101番地

- (注)・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職 名	設 置 時	変 更 状 況	備 考
学 長	(テシマ リョウタ) 豊島 良太 (平成29年4月)		
研究科長	(ナカジマ ヒロミツ) 中島 廣光 (平成29年4月)		
専 攻 長	(タムラ フミオ) 田村 文男 (平成29年4月)		

- (注)・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例)平成27年度に報告済の内容 → (27)

平成29年度に報告する内容 → (29)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象研究科等の名称，定員，入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部・学科または研究科の専攻等，定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
 ・ 様式は，平成27年度開設の博士後期課程の場合(平成29年度までの3年間)ですが，開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が2年以下の場合には欄を削除し，4年以上の場合には，欄を設けてください。)

(5) - 調査対象研究科等の名称等

調査対象研究科等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画			備考
		修業年限	入学定員	収容定員	
持続性社会創生科学研究科 農学専攻 (博士前期課程) 修士(農学)	農学	2年	46人	92人	基礎となる学部等 農学部生命環境農学科

- (注) ・ 「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
 ・ 定員を変更した場合は，「備考」に変更前的人数，変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
 ・ 学生募集停止を予定している場合は，「備考」にその旨記載してください。
 ・ 「学位又は学科の分野」には，「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) - 調査対象研究科等の入学者の状況

報告年度 区 分	平成 2 9 年度		平成 3 0 年度		平均入学定員 超 過 率	備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	46人	- 人	人	人	0.78 倍	
	(-)		()			
	[-]		[]			
志願者数	39	-				
	(-)	(-)	()	()		
	[-]	[-]	[]	[]		
受験者数	39	-				
	(-)	(-)	()	()		
	[-]	[-]	[]	[]		
合格者数	37	-				
	(-)	(-)	()	()		
	[-]	[-]	[]	[]		
B 入学者数	36	-				
	(-)	(-)	()	()		
	[-]	[-]	[]	[]		
入学定員超過率 B / A	0.78					

- (注) ・ 数字は，平成29年5月1日現在の数字を記入してください。
 ・ ()内には，社会人の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 「社会人」については，認可申請書において貴学が定める社会人の定義に従って記入してください。
 ・ []内には，留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 留学生については，「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により，我が国の大学(大学院を含む)，短期大学，高等専門学校，専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など，定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は，春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学の実施の場合は，その他の学期欄は「-」を記入してください。また，その他の学期に入学定員を設けている場合は，備考欄にその人数を記入してください。
 ・ 「入学定員超過率」については，各年度の春季入学とその他を合計した入学定員，入学者数で算出してください。なお，計算の際は小数点以下第3位を切り捨て，小数点以下第2位まで記入してください。
 ・ 「平均入学定員超過率」には，開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお，計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。

(5) - 調査対象研究科等の在学者の状況

学 年	報告年度	平成 2 9 年度		平成 3 0 年度		備 考
		春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1 年次		36 [-] (-)	- [-] (-)	[] [] ()	[] [] ()	
2 年次				[] ()	[] ()	
計				[] ()	[] ()	

- (注) ・ 数字は、平成 2 9 年 5 月 1 日現在の数字を記入してください。
- ・ [] 内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「 - 」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「 - 」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。
 - ・ () 内には、**留年者の状況について、内数で**記入してください。該当がない年には「 - 」を記入してください。

(5) - 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	入学者数 (b)	退学者数 (a)	退学者数 (内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成29年度 入学者	36 人	0 人	平成29年度	0 人	0 人		0.00 %
			平成30年度	人	人		
平成30年度 入学者	人	0 人	平成30年度	人	人		#DIV/0! %
合 計	36 人	0 人					0.00 %

(注)・数字は、平成29年5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各年度の入学者数については、該当年度当初に入学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- ・各年度の退学者数については、退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)」により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- ・短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- ・「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度の入学者のうち、平成29年5月1日現在までに退学した学生数の合計】を、【当該対象年度の入学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位までを記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。
 (記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
 ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

2 授業科目の概要

＜持続性社会創生科学研究科 農学専攻（博士前期課程）＞

（1）授業科目表

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					備 考
			必 修	選 択	自 由	教 授	准教授	講 師	助 教	助 手	
研究科共通科目	基盤科目	持続性社会創生科学概論 1	1	1							兼7 4 オムニバス
		持続性社会創生科学概論 2	1	1							兼7 オムニバス 担当教員の死去及び授業計画の見直しにより、教員配置を変更
		持続性社会創生技術論 1	1	1		1					
		持続性社会創生技術論 2	1	1							兼1
		起業・知財論	1	1							兼1
		研究者倫理	1	1							兼1
	環境	国際乾燥地科学特論（環境）	1	2							兼7 オムニバス 教職課程認定申請に当たり授業内容を明確にするため、科目名を変更（29）
		国際乾燥地科学特論（食糧・農業）	1	2							兼7 オムニバス 教職課程認定申請に当たり授業内容を明確にするため、科目名を変更（29）
		生命環境農学特論（里地里山環境）	1	2		8					オムニバス 教職課程認定申請に当たり授業内容を明確にするため、科目名を変更（29） 教育効果充実のため、担当教員を追加（29）
		生命環境農学特論（生産資源環境）	1	2		3					オムニバス 教職課程認定申請に当たり授業内容を明確にするため、科目名を変更（29） 教育効果充実のため、担当教員を追加（29）
		生命環境農学特論（生命環境科学）	1	2		5					オムニバス 教職課程認定申請に当たり授業内容を明確にするため、科目名を変更（29） 教育効果充実のため、担当教員を追加（29）
		グリーンサステナブルケミストリー特論	1	2		3					兼1
		バイオ資源特論	1	1		8					兼1
		エネルギー化学特論	1	1		3					兼3 オムニバス
		再生可能エネルギー特論	1	2							兼1
		サステナブル資源利用特論	1	2							兼1
	地域	地域経済学特論	1	2							兼1
		地域経済学特論	1 ~	2							兼1
		戦略的経営論	1 ~	2							兼1
		マーケティング特論	1 ~	2							兼1
		地域づくりとリスクマネジメント	1	1							兼1
		計算社会科学	1	2							兼1
		地域づくりの心理学	1	1							兼1
		スマート社会技術論	1	2							兼1
	グローバル	自然災害科学概論	1	2							11 兼12 オムニバス 担当教員の異動により、教員配置を変更（29）
		国際乾燥地科学特論（人間開発）	1	2							兼7 オムニバス 教職課程認定申請に当たり授業内容を明確にするため、科目名を変更（29）
		国際協力特論	1	2							兼1
		国際交流と異文化理解	1 ~	2							兼1
		コミュニティ特論	1 ~	2							兼1 担当教員の死去により、配当時期を変更（29）
		文化多様性特論	1 ~	2							兼1
		比較国際教育特論	1 ~	2							兼1
		人間形成特論	1	2							兼1
		人権教育特論	1	2							兼1

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					備 考	
			必 修	選 択	自 由	教 授	准教授	講 師	助 教	助 手		
基 幹 科 目	サイエンティフィック・ライティ ング	1		2							兼1	
	サイエンティフィック・ライティ ング・アドバンスド	1		2							兼1	
	インターンシップ	1		1		1						
	インターンシップ	1		1		1						
	海外実践	1		1		1						
	海外実践	1		2		1						
	海外実践	1		3		1						
	応用昆虫学特論	1		2		1	1					オムニバス
	食品・栄養化学特論	1		2		1	1					オムニバス
	植物生理学特論	1		2			2					オムニバス
	生体制御化学特論	1		2		1	1		1			オムニバス 担当教員の昇任により、教員配置 を変更（29）
	天然物化学特論	1		2		1		1				オムニバス
	有機合成化学特論	1		2		2						オムニバス
	発酵・酵素利用学特論	1		2			1					
	分子生物学特論	1		2		1						
	実験動物学特論	1		2		1	1					オムニバス
	食品機能学特論	1		2		1			1			オムニバス
	微生物遺伝育種学特論	1		2		2						オムニバス
	菌類分類学特論	1		2		2	1		1			オムニバス
	作物学特論	1		2		1			1			オムニバス
	植物遺伝育種学特論	1		2			1		1			オムニバス
	植物病理学特論	1		2		1		1				オムニバス
	園芸学特論	1		2		1		1				教育効果充実のため、担当教員を追加（29）
	圃場管理学特論	1		2			2		1			オムニバス 教育効果充実のため、担当教員を 追加（29）
	細胞生物学特論	1		2		1	1					オムニバス 担当教員の昇任により、教員配置 を変更（29）
	畜産学特論	1		2		1			1			オムニバス
	自然再生・生態学特論	1		2		2						オムニバス
	環境木材利用学特論	1		2			1					
	森林水文学特論	1		2			1					
	食料経済学特論	1		2		1						
	食品流通学特論	1		2			1					
	法社会学特論	1		2			1		1			担当教員の昇任により、教員配置を変更（29）
	消費者行動学特論	1		2		1						
	農業経営学特論	1		2		1	1					担当教員の昇任により、教員配置を変更（29）
	動物分類学特論	1		2		1						
	地形・地質環境学特論	1		2		1		1				オムニバス
	土壌生態学特論	1		2		1						教育課程充実のため、科目を追加（29）
	会計学特論	1		2		1						教育課程充実のため、科目を追加（29）
	食料政策学特論	1		2		1						
	育林学特論	1		2		1						
	景観生態学特論	1		2		1						
	農学特別演習	1～2通	12			30		6	5			担当教員の昇任・新規採用等により、教員配置 を変更（29）
	農学特別演習	1～2通	4			28	15	5	8			担当教員の昇任・新規採用等により、教員配置 を変更（29）
76 合計（74科目）		-	17	135 131	0	30 28	15	6 5	5 8	0	65 兼68	-

- （注）・ 認可申請書の様式第2号（その2の1）に準じて作成してください。
- ・ 設置認可時の授業科目全て（兼任、兼任教員が担当する科目を含む。）を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時（平成28年度に認可（届出）された大学等は設置認可（届出）時）より変更されているものは赤字見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
 - ・ なお、昨年度の報告書において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 兼任、兼担の教員が担当する授業科目については、備考欄に担当する教員数を「兼○」と記入してください。
 - ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合で、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査予定年月等を「備考」に記入してください。（今後審査を受ける場合には、「平成○年○月 提出予定」と記入してください。）
 - ・ 「配当年次」について、設置認可申請時に開講時期を記入する必要がなかった学部等（平成19年度認可以前）についても、設置認可時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

設 置 時 の 計 画				変 更 状 況				備 考
必 修	選 択	自 由	計 (A)	必 修	選 択	自 由	計	
科目 3	科目 71	科目 0	科目 74	科目 3 [0]	科目 73 [2]	科目 0 [0]	科目 76 [2]	

(注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに，[] 内に，設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合： 1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由，代替措置の有無
1		該当なし				
2						
3						

- (注)・ 設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず，何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお，理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については，記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は，「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由，代替措置の有無
1		該当なし				
2						
3						

- (注)・ 設置時の計画にあり，何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお，理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は，「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注)・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{0}{74} = \boxed{}\%$$

- (注)・ 小数点以下第3位を切り捨て，小数点以下第2位までを記入してください。
- ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が，「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備考			
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	大学全体 その他のうち、 附属病院 51,492㎡			
	校 舎 敷 地	250,060 ㎡	0 ㎡	0 ㎡	250,060 ㎡				
	運動場用地	123,946 ㎡	0 ㎡	0 ㎡	123,946 ㎡				
	小 計	374,006 ㎡	0 ㎡	0 ㎡	374,006 ㎡				
	そ の 他	9,321,100 ㎡	0 ㎡	0 ㎡	9,321,100 ㎡				
	合 計	9,695,106 ㎡	0 ㎡	0 ㎡	9,695,106 ㎡				
(2) 校 舎		専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	大学全体 別途附属病院 72,428㎡			
		132,192 ㎡ (132,192 ㎡)	0 ㎡ (0 ㎡)	0 ㎡ (0 ㎡)	132,192 ㎡ (132,192 ㎡)				
(3) 教 室 等		講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	持続性社会創生科学研究科農学専攻		
		9 室	32 室	5 室	0 室 (補助職員 0人)	0 室 (補助職員 0人)			
(4) 専任教員研究室		新設学部等の名称			室 数				
		持続性社会創生科学研究科 農学専攻			56 室				
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等の 名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕 点	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	図書、学術雑誌及び視聴覚資料は、研究科及び専攻単位での特定不能なため、鳥取地区全体の数 機械・器具及び標本は、持続性社会創生科学研究科農学専攻	
	持続性社会 創生科学研究科 農学専攻	541,091〔112,417〕 (541,091〔112,417〕)	9,944〔2,513〕 (9,944〔2,513〕)	4,040〔4,040〕 (4,040〔4,040〕)	4,725 (4,725)	4,230 (4,230)	1 (1)		
	計	541,091〔112,417〕 (541,091〔112,417〕)	9,944〔2,513〕 (9,944〔2,513〕)	4,040〔4,040〕 (4,040〔4,040〕)	4,725 (4,725)	4,230 (4,230)	1 (1)		
(6) 図 書 館		面 積	閱 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数		鳥取地区		
		4,380 ㎡	663 席		463,083 冊				
(7) 体 育 館		面 積	体育館以外のスポーツ施設の概要				鳥取地区		
		2,261 ㎡	武道館、弓道場、陸上競技場、野球場、テニスコート、ラグビー兼サッカー場、水泳プール						
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	
		教員1人当り研究費等	- 千円	- 千円	図書購入費	- 千円	- 千円	- 千円	
	共 同 研 究 費 等	- 千円	- 千円	設備購入費	- 千円	- 千円	- 千円		
	学生1人当り 納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次		
	- 千円	- 千円	- 千円	- 千円	- 千円	- 千円			
	学生納付金以外の維持方法の概要		-						

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成29年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(29)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
 - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4 既設大学等の状況

大学 学 校 名 称	鳥 取 大 学								備 考
既設学部等の名称	修業 年限	入 定 学 員	編入学 定 員	収 容 定 員	学位又は 称号	平均入学 定員 超過率	開 設 年 度	所 在 地	
A C 対象学部等	年	人	年次 人	人		倍			
持続性社会創生科学研究科									
地域学専攻	2	20	-	40		0.75	平成29年度	鳥取県鳥取市湖山町 南4丁目101番地	
地域創生コース	2	10	-	20	修士 (地域学)	0.60	平成29年度	同上	
人間形成コース	2	10	-	20	修士 (教育学)	0.90	平成29年度	同上	
工学専攻	2	165	-	330	修士 (工学又は 学術)	1.18	平成29年度	同上	
農学専攻	2	46	-	92	修士 (農学)	0.78	平成29年度	同上	
国際乾燥地科学専攻	2	20	-	40	修士 (農学又は 学術)	0.95	平成29年度	同上	
< 学部 >									
地域学部									
地域学科	4	170	-	680	学士 (地域学)	1.08	平成29年度	鳥取県鳥取市湖山町 南4丁目101番地	
地域創造コース	4	60	-	240	学士 (地域学)	1.08	平成29年度	同上	
人間形成コース	4	55	-	220	学士 (地域学)	1.07	平成29年度	同上	
国際地域文化コース	4	55	-	220	学士 (地域学)	1.1	平成29年度	同上	
地域政策学科	4	-	-	-	学士 (地域学)	-	平成16年度	同上	平成29年度から学生 募集停止
地域教育学科	4	-	-	-	学士 (地域学)	-	平成16年度	同上	平成29年度から学生 募集停止
地域文化学科	4	-	-	-	学士 (地域学)	-	平成16年度	同上	平成29年度から学生 募集停止
地域環境学科	4	-	-	-	学士 (地域学)	-	平成16年度	同上	平成29年度から学生 募集停止
医学部									
医学科	6	105	2年次 5	655	学士 (医学)	1.00	昭和24年度	鳥取県米子市西町 86番地	
生命科学科	4	40	-	160	学士 (生命科学)	1.03	平成2年度	同上	
保健学科						1.01	平成11年度	同上	
看護学専攻	4	80	3年次 2	324	学士 (看護学)	1.01	平成11年度	同上	平成28年度から3年次編入 学定員を変更
検査技術科学専攻	4	40	-	160	学士 (保健学)	1.01	平成11年度	同上	平成28年度から3年次編入 学定員を変更
工学部									
機械物理系学科	4	115	-	460	学士 (工学)	1.01	平成27年度	鳥取県鳥取市湖山町 南4丁目101番地	

電気情報系学科	4	125	-	500	学士 (工学)	1.02	平成27年度	同上	
化学バイオ系学科	4	100	-	400	学士 (工学)	1.03	平成27年度	同上	
社会システム土木系学科	4	110	-	440	学士 (工学)	1.02	平成27年度	同上	
機械工学科	4	-	-	-	学士 (工学)	-	平成元年度	同上	平成27年度から学生募集停止
知能情報工学科	4	-	-	-	学士 (工学)	-	平成元年度	同上	平成27年度から学生募集停止
電気電子工学科	4	-	-	-	学士 (工学)	-	平成元年度	同上	平成27年度から学生募集停止
物質工学科	4	-	-	-	学士 (工学)	-	平成元年度	同上	平成27年度から学生募集停止
生物応用工学科	4	-	-	-	学士 (工学)	-	平成元年度	同上	平成27年度から学生募集停止
土木工学科	4	-	-	-	学士 (工学)	-	平成元年度	同上	平成27年度から学生募集停止
社会開発システム工学科	4	-	-	-	学士 (工学)	-	平成元年度	同上	平成27年度から学生募集停止
応用数理工学科	4	-	-	-	学士 (工学)	-	平成7年度	同上	平成27年度から学生募集停止
農学部									
生命環境農学科	4	220	-	880	学士 (農学)	1.05	平成29年度	鳥取県鳥取市湖山町南4丁目101番地	
生物資源環境学科	4	-	-	-	学士 (農学)	-	平成11年度	同上	平成29年度から学生募集停止
共同獣医学科	6	35	-	210	学士 (獣医学)	1.02	平成25年度	同上	
獣医学科	6	-	-	-	学士 (獣医学)	-	昭和24年度	同上	平成25年度から学生募集停止
< 大学院 >									
地域学研究科									
地域創造専攻	2	-	-	-	修士 (地域学)	-	平成19年度	鳥取県鳥取市湖山町南4丁目101番地	平成29年度から学生募集停止
地域教育専攻	2	-	-	-	修士 (教育学)	-	平成19年度	同上	平成29年度から学生募集停止
医学系研究科									
修士課程									
臨床心理学専攻	2	6	-	12	修士 (臨床心理学)	1.66	平成21年度	鳥取県米子市西町86番地	平成6年度、医学研究科から名称変更
博士課程									
医学専攻	4	30	-	120	博士 (医学)	1.00	平成16年度	同上	
博士前期課程									
生命科学専攻	2	10	-	20	修士 (生命科学)	1.00	平成6年度	同上	平成16年度、生命科学系専攻から名称変更
機能再生医科学専攻	2	11	-	22	修士 (再生医科学)	1.76	平成15年度	同上	
保健学専攻	2	14	-	28	修士 (保健学)	0.99	平成16年度	同上	
博士後期課程									
生命科学専攻	3	5	-	15	博士 (生命科学)	0.33	平成8年度	同上	平成16年度、生命科学系専攻から名称変更
機能再生医科学専攻	3	7	-	21	博士 (再生医科学)	0.42	平成15年度	同上	
保健学専攻	3	4	-	12	博士 (保健学)	1.58	平成20年度	同上	

工学研究科									
博士前期課程									
機械宇宙工学専攻	2	-	-	-	修士 (工学)	-	平成20年度	鳥取県鳥取市湖山町 南4丁目101番地	平成29年度から学生 募集停止
情報エレクトロニクス専攻	2	-	-	-	修士 (工学)	-	平成20年度	同上	平成29年度から学生 募集停止
化学・生物応用工学専攻	2	-	-	-	修士 (工学)	-	平成20年度	同上	平成29年度から学生 募集停止
社会基盤工学専攻	2	-	-	-	修士 (工学)	-	平成20年度	同上	平成29年度から学生 募集停止
博士後期課程									
機械宇宙工学専攻	3	6	-	18	博士 (工学)	0.38	平成20年度	同上	
情報エレクトロニクス専攻	3	6	-	18	博士 (工学)	0.33	平成20年度	同上	
化学・生物応用工学専攻	3	4	-	12	博士 (工学)	1.00	平成20年度	同上	
社会基盤工学専攻	3	5	-	15	博士 (工学)	0.40	平成20年度	同上	
農学研究科									
修士課程									
フィールド生産科学専攻	2	-	-	-	修士 (農学)	-	平成21年度	鳥取県鳥取市湖山町 南4丁目101番地	平成29年度から学生 募集停止
生命資源科学専攻	2	-	-	-	修士 (農学)	-	平成21年度	同上	平成29年度から学生 募集停止
国際乾燥地科学専攻	2	-	-	-	修士 (農学)	-	平成21年度	同上	平成29年度から学生 募集停止
連合農学研究科									
博士課程									
生物生産科学専攻	3	6	-	18	博士 (農学)	0.66	平成元年度	鳥取県鳥取市湖山町 南4丁目101番地	
生物環境科学専攻	3	4	-	12	博士 (農学)	1.00	平成元年度	同上	
生物資源科学専攻	3	4	-	12	博士 (農学)	0.83	平成元年度	同上	
国際乾燥地科学専攻	3	3	-	9	博士 (農学)	2.77	平成21年度	同上	

(注)・本調査の対象となっている大学等の設置者(学校法人等)が設置している全ての大学(学部,学科),大学院(専攻)及び短期大学(学科)(AC対象学部等含む)について,それぞれの学校種ごとに,平成29年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。

・学部の学科または研究科の専攻等,「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。

「入学定員を定めている組織ごと」には,課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。

なお,課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は,法令上規定されている組織上の最小単位(大学であれば「学科」,短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。

・専攻科に係るものについては,記入する必要はありません。

・AC対象学部等についても必ず記入してください。

・「平均入学定員超過率」には,標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点以下第2位まで(小数点以下第3位を切り捨て)を記入してください。

・学生募集を停止している学部等がある場合,入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「-」とし,「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。

5 教員組織の状況

<持続性社会創生科学研究科 農学専攻（博士前期課程）>

（1）担当教員表

設 置 時 の 計 画					変 更 状 況					備 考
専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専	教授	霜村 典宏 (52)	平成29年 4 月	持続性社会創 生技術論 1 生命環境農学 特論 微生物遺伝育 種学特論 農学特別演習 農学特別演習					生命環境農学特論 (生産資源環境)	教職課程認定申請に当たり授業内容を 明確にするため、科目名を変更(29)
専	教授	日置 佳之 (59)	平成29年 4 月	生命環境農学 特論 自然再生・生 態学特論 農学特別演習 農学特別演習					生命環境農学特論 (里地里山環境)	教職課程認定申請に当たり授業内容を 明確にするため、科目名を変更(29)
専	教授	古塚 秀夫 (63)	平成29年 4 月	生命環境農学 特論 食料政策学特論 農学特別演習 農学特別演習					生命環境農学特論 (里地里山環境) 会計学特論	教職課程認定申請に当たり授業内容を 明確にするため、科目名を変更(29) 教育課程の充実のため、科目を追加 (29)
専	教授	永松 大 (48)	平成29年 4 月	生命環境農学 特論 自然再生・生 態学特論 農学特別演習 農学特別演習					生命環境農学特論 (里地里山環境)	教職課程認定申請に当たり授業内容を 明確にするため、科目名を変更(29)
専	教授	田村 文男 (58)	平成29年 4 月	生命環境農学 特論 園芸学特論 農学特別演習 農学特別演習					生命環境農学特論 (生産資源環境)	教職課程認定申請に当たり授業内容を 明確にするため、科目名を変更(29)
専	教授	會見 忠則 (50)	平成29年 4 月	生命環境農学 特論 微生物遺伝育 種学特論 農学特別演習 農学特別演習					生命環境農学特論 (生産資源環境)	教職課程認定申請に当たり授業内容を 明確にするため、科目名を変更(29)
専	教授	東 政明 (60)	平成29年 4 月	生命環境農学 特論 応用昆虫学特論 農学特別演習 農学特別演習					生命環境農学特論 (生命環境科学)	教職課程認定申請に当たり授業内容を 明確にするため、科目名を変更(29)
専	教授	渡邊 文雄 (58)	平成29年 4 月	生命環境農学 特論 食品・栄養化 学特論 農学特別演習 農学特別演習					生命環境農学特論 (生命環境科学)	教職課程認定申請に当たり授業内容を 明確にするため、科目名を変更(29)
専	教授	田村 純一 (55)	平成29年 4 月	生命環境農学 特論 有機合成化学 特論 農学特別演習 農学特別演習					生命環境農学特論 (生命環境科学)	教職課程認定申請に当たり授業内容を 明確にするため、科目名を変更(29)

専	教授	河野 強 (54)	平成29年 4 月	生体制御化学 特論 農学特別演習 農学特別演習						生命環境農学特論 (生命環境科学)	教育効果充実のため、担当教員を追加 (29) 教職課程認定申請に当たり授業内容を 明確にするため、科目名を変更 (29)
専	教授	石原 亨 (50)	平成29年 4 月	天然物化学特論 農学特別演習 農学特別演習						生命環境農学特論 (生命環境科学)	教育効果充実のため、担当教員を追加 (29) 教職課程認定申請に当たり授業内容を 明確にするため、科目名を変更 (29)
専	教授	一柳 剛 (46)	平成29年 4 月	有機合成化学 特論 農学特別演習 農学特別演習						生命環境農学特論 (生命環境科学)	教育効果充実のため、担当教員を追加 (29) 教職課程認定申請に当たり授業内容を 明確にするため、科目名を変更 (29)
専	教授	山野 好章 (60)	平成29年 4 月	分子生物学特論 農学特別演習 農学特別演習							
専	教授	竹内 崇師 (46)	平成29年 4 月	実験動物学特論 農学特別演習 農学特別演習							
専	教授	竹内 崇 (53)	平成29年 4 月	食品機能学特論 農学特別演習 農学特別演習							
専	教授	前川二太郎 (62)	平成29年 4 月	菌類分類学特論 農学特別演習 農学特別演習							
専	教授	中桐 昭 (60)	平成29年 4 月	菌類分類学特論 農学特別演習 農学特別演習						生命環境農学特論 (生産資源環境)	教育効果充実のため、担当教員を追加 (29) 教職課程認定申請に当たり授業内容を 明確にするため、科目名を変更 (29)
専	教授	山口 武視 (56)	平成29年 4 月	作物学特論 農学特別演習 農学特別演習						生命環境農学特論 (生産資源環境)	教育効果充実のため、担当教員を追加 (29) 教職課程認定申請に当たり授業内容を 明確にするため、科目名を変更 (29)
専	教授	児玉基一朗 (57)	平成29年 4 月	植物病理学特論 農学特別演習 農学特別演習						生命環境農学特論 (生命環境科学)	教育効果充実のため、担当教員を追加 (29) 教職課程認定申請に当たり授業内容を 明確にするため、科目名を変更 (29)
専	教授	松本 晃幸 (63)	平成29年 4 月	細胞生物学特論 農学特別演習 農学特別演習							
専	教授	菱沼 貢 (57)	平成29年 4 月	畜産学特論 農学特別演習 農学特別演習							
専	教授	能美 誠 (59)	平成29年 4 月	食料経済学特論 農学特別演習 農学特別演習						生命環境農学特論 (里地里山環境)	教育効果充実のため、担当教員を追加 (29) 教職課程認定申請に当たり授業内容を 明確にするため、科目名を変更 (29)

専	教授	松田 敏信 (50)	平成29年 4 月	消費者行動学特論 農学特別演習 農学特別演習						生命環境農学特論 (里地里山環境)	教育効果充実のため、担当教員を追加 (29) 教職課程認定申請に当たり授業内容を 明確にするため、科目名を変更 (29)
専	教授	鶴崎 展巨 (61)	平成29年 4 月	動物分類学特論 農学特別演習 農学特別演習							
専	教授	小玉 芳敬 (56)	平成29年 4 月	地形・地質環 境学特論 農学特別演習 農学特別演習							
専	教授	大住 克博 (62)	平成29年 4 月	育林学特論 農学特別演習 農学特別演習						生命環境農学特論 (里地里山環境)	教育効果充実のため、担当教員を追加 (29) 教職課程認定申請に当たり授業内容を 明確にするため、科目名を変更 (29)
専	教授	長澤 良太 (61)	平成29年 4 月	景観生態学特論 農学特別演習 農学特別演習						生命環境農学特論 (里地里山環境)	教育効果充実のため、担当教員を追加 (29) 教職課程認定申請に当たり授業内容を 明確にするため、科目名を変更 (29)
専	教授	唐澤 重考 (40)	平成29年 4 月	農学特別演習 農学特別演習						土壌生態学特論	教育課程の充実のため、科目を追加 (29)
専	准教授	中 秀司 (44)	平成29年 4 月	応用昆虫学特論 農学特別演習 農学特別演習							
専	准教授	藪田 行哲 (42)	平成29年 4 月	食品・栄養化 学特論 農学特別演習 農学特別演習							
専	准教授	岡 真理子 (47)	平成29年 4 月	植物生理学特論 農学特別演習 農学特別演習							
専	准教授	上中 弘典 (45)	平成29年 4 月	植物生理学特論 農学特別演習 農学特別演習							
専	准教授	有馬 二郎 (42)	平成29年 4 月	発酵・酵素利 用学特論 農学特別演習 農学特別演習							
専	准教授	富岡 幸子 (41)	平成29年 4 月	実験動物学特論 農学特別演習 農学特別演習							
専	准教授	早乙女 梢 (35)	平成29年 4 月	菌類分類学特論 農学特別演習 農学特別演習							
専	准教授	田中 裕之 (45)	平成29年 4 月	植物遺伝育種 学特論 農学特別演習 農学特別演習							
専	准教授	野波 和好 (54)	平成29年 4 月	圃場管理学特論 農学特別演習 農学特別演習							

専	准教授	明石 欣也 (48)	平成29年 4 月	細胞生物学特論 農学特別演習 農学特別演習		教授				生命環境農学特論 (生命環境科学)	平成28年10月昇任のため、職名を変更 (29) 教育効果充実のため、担当教員を追加 (29) 教職課程認定申請に当たり授業内容を 明確にするため、科目名を変更 (29)
専	准教授	藤本 高明 (45)	平成29年 4 月	環境木材利用 学特論 農学特別演習 農学特別演習							
専	准教授	芳賀 弘和 (44)	平成29年 4 月	森林水文学特論 農学特別演習 農学特別演習							
専	准教授	万 里 (53)	平成29年 4 月	食品流通学特論 農学特別演習 農学特別演習							
専	准教授	松村 一善 (49)	平成29年 4 月	農業経営学特論 農学特別演習 農学特別演習		教授				生命環境農学特論 (里地里山環境)	平成29年 8 月昇任のため、職名を変更 (29) 教育効果充実のため、担当教員を追加 (29) 教職課程認定申請に当たり授業内容を 明確にするため、科目名を変更 (29)
専	准教授	森本 英嗣 (43)	平成29年 4 月	農学特別演習 農学特別演習						圃場管理学特論	教育効果充実のため、担当教員を追加 (29)
専	講師	上野 琴巳 (36)	平成29年 4 月	天然物化学特論 農学特別演習 農学特別演習							
専	講師	大崎久美子 (38)	平成29年 4 月	植物病理学特論 農学特別演習 農学特別演習							
専	講師	近藤 謙介 (43)	平成29年 4 月	圃場管理学特論 農学特別演習 農学特別演習							
専	講師	菅森 義晃 (35)	平成29年 4 月	地形・地質環 境学特論 農学特別演習 農学特別演習							
専	講師	竹村 圭弘 (34)	平成29年 4 月	農学特別演習 農学特別演習						園芸学特論	教育効果充実のため、担当教員を追加 (29)
					専	講師	岩永 史子 (37)	平成29年 4 月	農学特別演習 農学特別演習		教育効果充実のため、担当教員を追加 (29) 教育効果充実のため、担当教員を追加 (29)
専	助教	岩崎 崇 (34)	平成29年 4 月	生体制御化学 特論 農学特別演習 農学特別演習		准教授					平成28年10月昇任のため、職名を変更 (29)
専	助教	美藤 友博 (31)	平成29年 4 月	食品機能学特論 農学特別演習 農学特別演習							
専	助教	遠藤 直樹 (29)	平成29年 4 月	菌類分類学特論 農学特別演習 農学特別演習							
専	助教	辻 涉 (40)	平成29年 4 月	作物学特論 農学特別演習 農学特別演習							

専	助教	佐久間 俊 (31)	平成29年 4 月	植物遺伝育種 学特論 農学特別演習 農学特別演習							
専	助教	西村 亮 (38)	平成29年 4 月	畜産学特論 農学特別演習 農学特別演習							
専	助教	片野 洋平 (42)	平成29年 4 月	法社会学特論 農学特別演習 農学特別演習		准教授					平成29年 4 月昇任のため、職名を変更 (29)
専	助教	芳賀 大地 (30)	平成29年 4 月	農学特別演習 農学特別演習	専	助教	芳賀—大地 (—30—)	平成29年 4 月	農学特別演習— 農学特別演習—		研究指導教員資格不取得のため、削除 (29) 研究指導教員資格不取得のため、削除 (29)
兼担	教授	恒川 篤史 (56)	平成29年 4 月	持続性社会創 生科学概論 1							
兼担	教授	山中 典和 (58)	平成29年 4 月	持続性社会創 生科学概論 1							
兼担	教授	山本 定博 (56)	平成29年 4 月	持続性社会創 生科学概論 1							
兼担	教授	辻本 壽 (58)	平成29年 4 月	持続性社会創 生科学概論 1							
兼担	教授	黒沢 洋一 (60)	平成29年 4 月	持続性社会創 生科学概論 1							
兼担	教授	伊藤 壽啓 (58)	平成29年 4 月	持続性社会創 生科学概論 1							
兼担	教授	安藤 孝之 (61)	平成29年 4 月	持続性社会創 生科学概論 1 国際乾燥地科 学特論 国際協力特論					国際乾燥地科学特論 (人間開発)		教職課程認定申請に当たり授業内容を 明確にするため、科目名を変更 (29)
兼担	教授	小野 達也 (57)	平成29年 4 月	持続性社会創 生科学概論 2							
兼担	教授	仲野 誠 (52)	平成29年 4 月	持続性社会創 生科学概論 2 コミュニティ特論	兼担	教授	仲野—誠 (52)	平成29年 4 月	持続性社会創生科学 概論 2		平成28年10月担当教員死去のため、削 除 (29)
					兼担	准教授	稲津 秀樹 (33)	平成29年 4 月	コミュニティ特論		担当教員死去のため、担当教員を変更 (29)
兼担	教授	多田憲一郎 (56)	平成29年 4 月	持続性社会創 生科学概論 2 地域経済学特 論							
兼担	教授	河田 康志 (60)	平成29年 4 月	持続性社会創 生技術論 2							
兼担	教授	藤巻 晴行 (47)	平成29年 4 月	国際乾燥地科 学特論					国際乾燥地科学特論 (食糧・農業)		教職課程認定申請に当たり授業内容を 明確にするため、科目名を変更 (29)
兼担	教授	伊藤 敏幸 (63)	平成29年 4 月	グリーンサステナ ブルミストリ- 特論							
兼担	教授	大城 隆 (56)	平成29年 4 月	バイオ資源特論							
兼担	教授	坂口 裕樹 (56)	平成29年 4 月	エネルギー化 学特論							

兼担	教授	増井 敏行 (48)	平成29年 4 月	エネルギー化学特論							
兼担	教授	片田 直伸 (51)	平成29年 4 月	エネルギー化学特論							
兼担	教授	小畑 良洋 (61)	平成29年 4 月	サステナブル資源利用特論							
兼担	教授	福山 敬 (50)	平成29年 4 月	地域経済学特論							
兼担	教授	永松 利文 (54)	平成29年 4 月	戦略的経営論マーケティング特論							
兼担	教授	松見 吉晴 (64)	平成29年 4 月	地域づくりとリスクマネジメント							
兼担	教授	石井 晃 (60)	平成29年 4 月	計算社会科学							
兼担	教授	横田 孝義 (60)	平成29年 4 月	スマート社会技術論							
兼担	教授	黒岩 正光 (51)	平成29年 4 月	自然災害科学概論							
兼担	教授	西村 強 (57)	平成29年 4 月	自然災害科学概論							
兼担	教授	香川 敬生 (54)	平成29年 4 月	自然災害科学概論							
兼担	教授	檜谷 治 (58)	平成29年 4 月	自然災害科学概論							
兼担	教授	谷口 朋代 (52)	平成29年 4 月	自然災害科学概論							
兼担	教授	黒田 保 (49)	平成29年 4 月	自然災害科学概論							
兼担	教授	安延 久美 (55)	平成29年 4 月	国際乾燥地科学特論					国際乾燥地科学特論 (人間開発)	教職課程認定申請に当たり授業内容を明確にするため、科目名を変更 (29)	
兼担	教授	緒方 英彦 (47)	平成29年 4 月	国際乾燥地科学特論					国際乾燥地科学特論 (人間開発)	教職課程認定申請に当たり授業内容を明確にするため、科目名を変更 (29)	
兼担	教授	CATES ALEXANDER KIPPEN (63)	平成29年 4 月	国際交流と異文化理解							
兼担	准教授	竹川 俊夫 (49)	平成29年 4 月	持続性社会創生科学概論 2							
兼担	准教授	馬場 芳 (43)	平成29年 4 月	持続性社会創生科学概論 2							
兼担	准教授	山岸 大輔 (41)	平成29年 4 月	起業・知財論							
兼担	准教授	吉野 公 (62)	平成29年 4 月	研究者倫理 自然災害科学概論							
兼担	准教授	木村 玲二 (47)	平成29年 4 月	国際乾燥地科学特論					国際乾燥地科学特論 (環境)	教職課程認定申請に当たり授業内容を明確にするため、科目名を変更 (29)	

兼任	准教授	黒崎 泰典 (46)	平成29年 4 月	国際乾燥地科学特論					国際乾燥地科学特論 (環境)	教職課程認定申請に当たり授業内容を明確にするため、科目名を変更(29)
兼任	准教授	谷口 武士 (37)	平成29年 4 月	国際乾燥地科学特論					国際乾燥地科学特論 (環境)	教職課程認定申請に当たり授業内容を明確にするため、科目名を変更(29)
兼任	准教授	田川公太郎 (45)	平成29年 4 月	国際乾燥地科学特論					国際乾燥地科学特論 (環境)	教職課程認定申請に当たり授業内容を明確にするため、科目名を変更(29)
兼任	准教授	實来佐和子 (43)	平成29年 4 月	国際乾燥地科学特論					国際乾燥地科学特論 (環境)	教職課程認定申請に当たり授業内容を明確にするため、科目名を変更(29)
兼任	准教授	安 萍 (46)	平成29年 4 月	国際乾燥地科学特論					国際乾燥地科学特論 (食糧・農業)	教職課程認定申請に当たり授業内容を明確にするため、科目名を変更(29)
兼任	准教授	西原 英治 (48)	平成29年 4 月	国際乾燥地科学特論					国際乾燥地科学特論 (食糧・農業)	教職課程認定申請に当たり授業内容を明確にするため、科目名を変更(29)
兼任	准教授	山田 智 (50)	平成29年 4 月	国際乾燥地科学特論		教授			国際乾燥地科学特論 (食糧・農業)	平成29年 4 月昇任のため、職名を変更(29) 教職課程認定申請に当たり授業内容を明確にするため、科目名を変更(29)
兼任	准教授	遠藤 常嘉 (48)	平成29年 4 月	国際乾燥地科学特論		教授			国際乾燥地科学特論 (食糧・農業)	平成28年 8 月昇任のため、職名を変更(29) 教職課程認定申請に当たり授業内容を明確にするため、科目名を変更(29)
兼任	准教授	清水 克之 (45)	平成29年 4 月	国際乾燥地科学特論					国際乾燥地科学特論 (食糧・農業)	教職課程認定申請に当たり授業内容を明確にするため、科目名を変更(29)
兼任	准教授	齊藤 忠臣 (40)	平成29年 4 月	国際乾燥地科学特論					国際乾燥地科学特論 (食糧・農業)	教職課程認定申請に当たり授業内容を明確にするため、科目名を変更(29)
兼任	准教授	原 豊 (52)	平成29年 4 月	再生可能エネルギー特論						
兼任	准教授	中村 公一 (41)	平成29年 4 月	自然災害科学概論						
兼任	准教授	塩崎 一郎 (56)	平成29年 4 月	自然災害科学概論						
兼任	准教授	矢島 啓 (51)	平成29年 4 月	自然災害科学概論	兼任	准教授	矢島——啓 (—51—)	平成29年 4 月	自然災害科学概論	平成28年 9 月担当教員他大学へ転出のため、削除(29)
兼任	准教授	浅井 秀子 (56)	平成29年 4 月	自然災害科学概論						
兼任	准教授	小野 祐輔 (43)	平成29年 4 月	自然災害科学概論						
兼任	准教授	大谷 眞二 (50)	平成29年 4 月	国際乾燥地科学特論					国際乾燥地科学特論 (人間開発)	教職課程認定申請に当たり授業内容を明確にするため、科目名を変更(29)
兼任	准教授	小林 伸行 (53)	平成29年 4 月	国際乾燥地科学特論					国際乾燥地科学特論 (人間開発)	教職課程認定申請に当たり授業内容を明確にするため、科目名を変更(29)
兼任	准教授	中 朋美 (41)	平成29年 4 月	文化多様性特論						
兼任	准教授	柿内 真紀 (51)	平成29年 4 月	比較国際教育特論						
兼任	准教授	河合 務 (45)	平成29年 4 月	人間形成特論						
兼任	准教授	一盛 真 (53)	平成29年 4 月	人権教育特論	兼任					平成29年 3 月担当教員他大学へ転出のため、兼任から変更(29)

兼任	特命 准教授	AYEHU HAREGEWEYN (44)	平成29年 4 月	国際乾燥地科学特論					国際乾燥地科学特論 (人間開発)	教職課程認定申請に当たり授業内容を 明確にするため、科目名を変更 (29)
兼任	講師	池野なつ美 (31)	平成29年 4 月	国際乾燥地科学特論					国際乾燥地科学特論 (環境)	教職課程認定申請に当たり授業内容を 明確にするため、科目名を変更 (29)
兼任	助教	衣笠 利彦 (41)	平成29年 4 月	国際乾燥地科学特論		准教授			国際乾燥地科学特論 (環境)	平成29年 4 月昇任のため、職名を変更 (29) 教職課程認定申請に当たり授業内容を 明確にするため、科目名を変更 (29)
兼任	助教	BAYSA ASRES ELIAS (38)	平成29年 4 月	国際乾燥地科学特論					国際乾燥地科学特論 (人間開発)	教職課程認定申請に当たり授業内容を 明確にするため、科目名を変更 (29)
兼任		未定		持続性社会創 生科学概論 2	兼任		未定		持続性社会創生科学 概論 2	授業計画の見直しのため、削除 (29)
兼任		未定		持続性社会創 生科学概論 2	兼任		未定		持続性社会創生科学 概論 2	授業計画の見直しのため、削除 (29)
兼任		未定		地域づくりの 心理学				平成29年 7 月		非常勤講師を任用予定 (29)
兼任		未定		サイエティック・ ライティング	兼任	准教授	FEI PENG (33)	平成29年 4 月	サイエティック・ライティング	平成29年 4 月 新規採用に伴う授業計画の変更により 兼任から変更 (29)
兼任		未定		サイエティック・ ライティング・アド バンス	兼任	特命 教授	PAOLO BILLI (65)	平成29年 4 月	サイエティック・ライティング ・アドバンス	平成29年 4 月 新規採用に伴う授業計画の変更により 兼任から変更 (29)

(注) ・ 設置時の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。

・ 後任が決まっていない場合には、「後任未定」と記入してください。

・ 辞任者は「備考」に退職年月、氏名、理由を記入してください。

・ 年齢は、「**設置時の計画**」には当該学部等の就任時における満年齢を、「**変更状況**」には平成29年5月1日現在の満年齢を記入してください。

・ 教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合(「新規採用」、「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。)は、変更後の状況を記入するとともに、その理由、後任者が決まっていない場合は、「変更状況」の「氏名」に「後任未定」と記入し、及び今後の採用計画を「備考」に記入してください。

・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(AC教員審査)を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**

・ 「専任教員採用等変更書(AC)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「○年○月教員審査済」、変更書を提出予定の場合は「○年○月変更書提出予定」と記入してください。

なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「備考」に「(教員審査省略)」及びその変更の理由、変更年度()書き等のみを記入してください。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における設置基準上の必要研究指導教員数	うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数	完成年度時における設置基準上の必要研究指導補助教員数
7 名	3 名	2 名

(注) ・ 大学院に専攻ごとに置くものとする教員の数について定める件(平成十一年九月十四日文部省告示第百七十五号)により

算出される教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員数

設 置 時 の 計 画					現在(報告書提出時)の状況					現在(報告書提出時)の完成年度時の計画				
教 授	准教授	講 師	助 教	計	教 授	准教授	講 師	助 教	計 (A)	教 授	准教授	講 師	助 教	計 (B)
28	15	5	8	56	30	15	6	5	56	28	15	6	5	54
(30)	(15)	(6)	(5)	(56)						[0]	[0]	[1]	[3]	[0]
研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数			研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数			研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数		
40	16	0			40	16	0			38	16	0		
(40)	(16)	(0)								[2]	[0]	[0]		

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、()内に開設時の状況を記入してください。

・ 「現在(報告書提出時)の状況」には、報告書提出年度の5月1日の教員数(実人数)を記入してください。

・ 「現在(報告書提出時)の完成年度時の計画」には、報告書提出年度の5月1日現在、完成年度時に計画している教員数を記入するとともに、[]内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例: 1名減の場合: 1)

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢(歳)	報告書提出時(上記(A))の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時(上記(B))の教員のうち、定年を延長して採用する教員数
65 歳	0 名	0 名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢(特例等による定年年齢ではありません)、

および、平成29年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。

・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

・ 専門職大学院の場合は、「研究指導教員」を「研究者教員」と、「研究指導補助教員」を「実務家教員」と修正して記入してください。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番 号	職 位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由				
1	助教	芳賀 大地	必修	農学特別演習		研究指導教員資格不取得のため就任辞退（29）				
			必修	農学特別演習						
合計（A）					後任補充状況の集計（B）					
就任を辞退した教員数			担当科目数の合計（a）+（b）+（c）		の合計数（a）		の合計数（b）		の合計数（c）	
1	人		必修	2 科目	必修	2 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
			選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
			自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
			計	2 科目	計	2 科目	計	0 科目	計	0 科目

- （注）・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
- 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「（3）- 専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 - 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 - また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「 」～「 」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・専任教員が担当する（している）場合は「 」
 ・兼任兼担教員が担当する（している）場合は「 」
 ・後任未定、科目廃止など、上記「 」～「 」以外の場合は「 」

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番 号	職 位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由				
合計（C）				後任補充状況の集計（D）						
辞任した教員数			担当科目数の合計（a）+（b）+（c）		の合計数（a）	の合計数（b）	の合計数（c）			
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- （注）・ 一度就任した後に、辞任した全ての専任教員の辞任の理由を具体的に記入してください。
- 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。
 - また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「 」～「 」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・専任教員が担当する（している）場合は「 」
 ・兼任兼担教員が担当する（している）場合は「 」
 ・後任未定、科目廃止など、上記「 」～「 」以外の場合は「 」

上記（3）- ① ・ （3）- ② の合計

合計（Ａ）＋（Ｃ）					後任補充状況の集計（Ｂ）＋（Ｄ）								
辞任等した教員数		担当科目数の合計（a）＋（b）＋（c）			の合計数（a）		の合計数（b）		の合計数（c）				
1	人	必修	2	科目	必修	2	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	2	科目	計	2	科目	計	0	科目	計	0	科目

- （注）・ 就任辞退（未就任）及び辞任した全専任教員について、教員数、担当科目数の合計、後任補充の状況を記入ください。

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

大学の所見...就任辞退した専任教員の担当科目にあつては、他の専任教員が当該科目を担当するため、科目の未開講がないことから、学生への影響はない。
学生への周知方法...履修の手引きの冊子類等により周知している。

(注)・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

6 留意事項等に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項 等		履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
設 置 時 (○ ○ 年 ○ ○ 月)				
設置計画履行状況 調 査 時 (年 2 月)	該当なし			
設置計画履行状況 調 査 時 (□ □ 年 2 月)				
設置計画履行状況 調 査 時 (● ● 年 2 月)				

- (注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時（認可時又は届出時）に付された留意事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を（ ）書きで付記してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された意見に対する履行状況等について、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
 - ・ 同一設置者が設置する既設学部等に付された意見は、当該大学から提出される全ての報告書に記入してください。
 - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査時」の（年月）には、調査結果を公表した月（通常2月）を記入してください。（実地調査や面接調査を実施した日ではありません。）

7 その他全般的事項

<持続性社会創生科学研究科 農学専攻（博士前期課程）>

（１）設置計画変更事項等

設 置 時 の 計 画	変更内容・状況，今後の見通しなど
開設科目数 必修科目 3 科目，選択科目 7 1 科目	教育課程の充実を図るため，選択科目を 2 科目追加。 （「2 授業科目の概要（1）授業科目表」を参照）

（注）・ 1～6 の項目に記入した事項以外で，設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
・ 設置時の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し，それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。（記入例参照）

（２）教員の資質の維持向上の方策（FD活動含む）

実施体制 a 委員会の設置状況 鳥取大学教育支援委員会（常置委員会） 規則は別紙のとおり b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む） 年 10 回程度（委員会規則により組織された委員の過半数の出席をもって開催している。） 〔FD活動については，別途，教育支援・国際交流推進機構及び各部局等がそれぞれ行っている。〕 c 委員会の審議事項等 一 教育方針・教育計画の立案及び実施に関すること。 二 教育に関連する中期目標・計画等の運営の基本方針に関すること。 等 実施状況 a 実施内容 ・ 新任FD研修会 ・ 全学FD研修会 ・ 全学FD講演会 ・ 授業公開 ・ 英語で効果的に教える方法 b 実施方法 教育支援・国際交流推進機構が行うFD活動については，機構長を中心に，実施・運営を教育センターが行っている。 ・ 新任FD研修会については参加を必須とする。 ・ その他のFD研修会及び講演会等は，任意または部局から推薦された者が参加する。 c 開催状況（教員の参加状況含む） 平成27年度及び平成28年度については，大学全体のFD活動参加率は75%となっている。 d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況 ・ 不定期に教育支援委員会に報告し，各学部等委員へ報告している。 学生に対する授業評価アンケートの実施状況 a 実施の有無及び実施時期 各学期（若しくはクォーター）の中間期並びに学期末毎に各1回行う。 （学期末アンケートはすべての教員について必須であり，中間期に行うアンケートについては，採用後3年以内の教員のみが必須となる。） b 教員や学生への公開状況，方法等 学期末アンケートについて，本学ホームページに，「科目名」，「アンケート回答数」，「評価平均値」を公開している。

（注）・ 「a 委員会の設置状況」には，関係規程等を転載又は添付すること。
「実施状況」には，実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 自己点検・評価等に関する事項

設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見
設置初年度における研究科の運営については概ね計画どおりであるが、設置の趣旨・目的の達成のため、課題の克服や更なる教育改善に取り組んでいくこととしたい。

自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

未定

b 公表方法

未定

認証評価を受ける計画

・平成33年度に評価機関（独立行政法人大学改革支援・学位授与機構）の評価を受ける予定

（注）・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。
また、「 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。
なお、「 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(4) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

a ホームページに公表の有無

(有 ・ 無)

b 公表時期（未公表の場合は予定時期）

(平成29年 9月 1日)

○鳥取大学教育支援委員会規則

平成16年4月9日
鳥取大学規則第74号

(趣旨)

第1条 この規則は、鳥取大学の管理運営に関する規則(平成16年鳥取大学規則第57号)第18条第6項の規定に基づき、鳥取大学教育支援委員会(以下「委員会」という。)に関し必要な事項を定めるものとする。

(審議事項)

第2条 委員会は、次に掲げる事項を審議する。

- 一 教育方針・教育計画の立案及び実施に関すること。
- 二 教育に関連する中期目標・計画等の運営の基本方針に関すること。
- 三 その他大学教育に関すること。

(組織)

第3条 委員会は、次に掲げる者をもって組織する。

- 一 理事(教育担当)(以下「理事」という。)
- 二 各学部(工学部を除く。)の学部長又は副学部長(教務担当)
- 三 工学研究科の研究科長又は副研究科長(教務担当)
- 四 教育センター長及び教員養成センター長
- 五 学生部長及び学生部教育支援課長
- 六 その他委員長が必要と認めた者

2 前項第6号の委員の任期は、委員長がその都度定める。

(委員長)

第4条 委員会に委員長を置き、理事をもって充てる。

- 2 委員長は、委員会を招集し、その議長となる。
- 3 委員長に事故があるときは、委員長があらかじめ指名した委員がその職務を代理する。

(議事)

第5条 委員会は、委員の過半数の出席をもって開くものとする。

- 2 委員会の議事は、出席した委員の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

(意見の聴取)

第6条 委員会が必要と認めたときは、委員以外の者の出席を求め、その意見を聴くことができる。

(専門委員会)

第7条 委員会に、専門的事項を調査審議するため、専門委員会を置くことができる。

- 2 前項の専門委員会に関し必要な事項は、別に定める。

(事務)

第8条 委員会の事務は、学生部教育支援課において処理する。

(雑則)

第9条 この規則に定めるもののほか、委員会の運営に関し必要な事項は、委員会の議を経て、委員長が定める。

附 則

- 1 この規則は、平成16年4月9日から施行し、平成16年4月1日から適用する。
- 2 鳥取大学全学教育委員会規則(平成14年鳥取大学規則第3号)は、廃止する。

附 則(平成18年12月14日鳥取大学規則第144号)

- 1 この規則は、平成19年1月1日から施行する。ただし、第3条及び第7条の改正規定並びに次項の規定は、平成19年4月1日から施行する。

2 鳥取大学教育支援委員会に設置する専門委員会に関する細則（平成14年鳥取大学規則第5号）は、廃止する。

附 則（平成19年3月14日鳥取大学規則第20号）

この規則は、平成19年4月1日から施行する。

附 則（平成20年3月25日鳥取大学規則第27号）

この規則は、平成20年4月1日から施行する。

附 則（平成20年5月21日鳥取大学規則第72号）

この規則は、平成20年5月21日から施行し、改正後の鳥取大学教育支援委員会規則の規定は、平成20年4月1日から適用する。

附 則（平成21年6月22日鳥取大学規則第66号）

この規則は、平成21年6月22日から施行し、改正後の鳥取大学教育支援委員会規則の規定は、平成21年4月1日から適用する。

附 則（平成22年3月30日鳥取大学規則第59号）

この規則は、平成22年4月1日から施行する。

附 則（平成22年6月21日鳥取大学規則第96号）

この規則は、平成22年6月21日から施行し、改正後の鳥取大学教育支援委員会規則の規定は、平成22年4月1日から適用する。

附 則（平成23年4月18日鳥取大学規則第52号）

この規則は、平成23年4月1日から施行する。

附 則（平成25年2月5日鳥取大学規則第4号）

この規則は、平成25年2月5日から施行する。

附 則（平成27年3月24日鳥取大学規則第28号）

この規則は、平成27年4月1日から施行する。

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設 置 者

国立大学法人 鳥取大学

(2) 大 学 名

鳥取大学

(3) 大学の位置

〒680 - 8550

鳥取県鳥取市湖山町南4丁目101番地

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
 ・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職 名	設 置 時	変 更 状 況	備 考
学 長	(テシマ リョウタ) 豊島 良太 (平成29年4月)		
研究科長	(ナカジマ ヒロミツ) 中島 廣光 (平成29年4月)		
専 攻 長	(ヤマナカ ノリカズ) 山中 典和 (平成29年4月)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例) 平成27年度に報告済の内容 → (27)

平成29年度に報告する内容 → (29)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象研究科等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部・学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
 ・ 様式は、平成27年度開設の博士後期課程の場合(平成29年度までの3年間)ですが、開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が2年以下の場合には欄を削除し、4年以上の場合には、欄を設けてください。)

(5) - 調査対象研究科等の名称等

調査対象研究科等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画			備考
		修業年限	入学定員	収容定員	
持続性社会創生科学研究科 国際乾燥地科学専攻 (博士前期課程) 修士(農学又は学術)	農学	2年	20人	40人	基礎となる学部等 農学部生命環境農学科

- (注) ・ 「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
 ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
 ・ 学生募集停止を予定している場合は、「備考」にその旨記載してください。
 ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) - 調査対象研究科等の入学者の状況

報告年度 区 分	平成 2 9 年度		平成 3 0 年度		平均入学定員 超 過 率	備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	20人 (-) [-]	- 人 () []	人 () []	人 () []	0.95 倍	
志願者数	19 (-) [3]	- (-) [-]	() () []	() () []		
受験者数	19 (-) [3]	- (-) [-]	() () []	() () []		
合格者数	19 (-) [3]	- (-) [-]	() () []	() () []		
B 入学者数	19 (-) [3]	- (-) [-]	() () []	() () []		
入学定員超過率 B / A	0.95					

- (注) ・ 数字は、平成29年5月1日現在の数字を記入してください。
 ・ ()内には、社会人の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 「社会人」については、認可申請書において貴学が定める社会人の定義に従って記入してください。
 ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
 ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお、計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。

(5) - 調査対象研究科等の在学者の状況

学 年	報告年度	平成 2 9 年度		平成 3 0 年度		備 考
		春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1 年次		19 [3] (-)	- [-] (-)	[] [] ()	[] [] ()	
2 年次				[] ()	[] ()	
計				[] ()	[] ()	

- (注) ・ 数字は、平成 2 9 年 5 月 1 日現在の数字を記入してください。
- ・ [] 内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「 - 」を記入してください。
 - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「 - 」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。
 - ・ () 内には、**留年者の状況について、内数で**記入してください。該当がない年には「 - 」を記入してください。

(5) - 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	入学者数 (b)	退学者数 (a)	退学者数 (内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成29年度 入学者	19 人	0 人	平成29年度	人	人		0.00 %
			平成30年度	人	人		
平成30年度 入学者	人	0 人	平成30年度	人	人		#DIV/0! %
合 計	19 人	0 人					0.00 %

(注)・ 数字は、平成29年5月1日現在の数字を記入してください。

- ・ 各年度の入学者数については、該当年度当初に入学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- ・ 各年度の退学者数については、退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)」により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- ・ 「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度の入学者のうち、平成29年5月1日現在までに退学した学生数の合計】を、【当該対象年度の入学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位までを記入してください。
- ・ 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。
 (記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
 ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

2 授業科目の概要

<持続性社会創生科学研究科 国際乾燥地科学専攻（博士前期課程）>

（１）授業科目表

科目 区分	授業科目の名称		配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					備 考		
				必 修	選 択	自 由	教 授	准教授	講 師	助 教	助 手			
研究科共通科目	基盤科目	持続性社会創生科学概論 1	1		1		4					兼3 4	オムニバス	
		持続性社会創生科学概論 2	1		1							兼7	オムニバス 担当教員の死去及び授業計画の見直しにより、教員配置を変更（29）	
		持続性社会創生技術論 1	1		1							兼1		
		持続性社会創生技術論 2	1		1							兼1		
		起業・知財論	1		1							兼1		
		研究者倫理	1	1								兼1		
	環境 超領域科目	国際乾燥地科学特論（環境）	1		2			6 5 3		1	1		オムニバス 教職課程認定申請に当たり授業内容を明確にするため、科目名を変更（29） 担当教員の昇任のため、教員配置を変更（29）	
		国際乾燥地科学特論（食糧・農業）	1		2			1 6					オムニバス 教職課程認定申請に当たり授業内容を明確にするため、科目名を変更（29） 担当教員の昇任のため、教員配置を変更（29）	
		生命環境農学特論（里地里山環境）	1		2								8 兼3	オムニバス 教職課程認定申請に当たり授業内容を明確にするため、科目名を変更（29） 教育効果充実のため、担当教員を追加（29）
		生命環境農学特論（生産資源環境）	1		2								5 兼3	オムニバス 教職課程認定申請に当たり授業内容を明確にするため、科目名を変更（29） 教育効果充実のため、担当教員を追加（29）
		生命環境農学特論（生命環境科学）	1		2								8 兼3	オムニバス 教職課程認定申請に当たり授業内容を明確にするため、科目名を変更（29） 教育効果充実のため、担当教員を追加（29）
		グリーンサステナブルケミストリー特論	1		2								兼1	
		バイオ資源特論	1		1								兼1	
		エネルギー化学特論	1		1								兼3	オムニバス
		再生可能エネルギー特論	1		2								兼1	
		サステナブル資源利用特論	1		2								兼1	
		地域経済学特論	1		2								兼1	
		地域経済学特論	1 ~		2								兼1	
		戦略的経営論	1 ~		2								兼1	
		マーケティング特論	1 ~		2								兼1	
		地域づくりとリスクマネジメント	1		1								兼1	
		計算社会科学	1		2								兼1	
		地域づくりの心理学	1		1								兼1	
		スマート社会技術論	1		2								兼1	
		自然災害科学概論	1		2								11 兼12	オムニバス 担当教員の異動により、教員配置を変更（29）
		グローバル	国際乾燥地科学特論（人間開発）	1		2		2	2		1		兼2	オムニバス 教職課程認定申請に当たり授業内容を明確にするため、科目名を変更（29）
			国際協力特論	1		2							兼1	
			国際交流と異文化理解	1 ~ 1 ~		2							兼1	
			コミュニティ特論	1 ~		2							兼1	担当教員の死去により、配当時期を変更（29）
			文化多様性特論	1 ~		2							兼1	
			比較国際教育特論	1 ~		2							兼1	
			人間形成特論	1		2							兼1	
			人権教育特論	1		2							兼1	

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					備 考	
			必 修	選 択	自 由	教 授	准教授	講 師	助 教	助 手		
基 幹 科 目	トップサイエンティストレクチャ	1		1		1					兼2 オムニバス 新規採用に伴う授業計画の変更により、教員配置を変更（29）	
	トップサイエンティストレクチャ	1		1			1					
	トップサイエンティストレクチャ	1		1								
	トップサイエンティストレクチャ	1		1								
	サイエンティフィック・ライティング	1		2			1					
	サイエンティフィック・ライティング・アドバンスド	1		2		1						
	インターンシップ	1・・・・		1		1						
	インターンシップ	1・・・・		1		1						
	海外実践	1・・・・		1		1						
	海外実践	1・・・・		2		1						
	海外実践	1・・・・		3		1						
専 門 科 目	乾燥地開発学特論	1		2		1					オムニバス	
	乾燥地土地管理学特論	1		2			1					
	乾燥地気候・気象学特論	1		2			2					
	乾燥地生物環境物理学特論	1		2		1						
	乾燥地地圏環境保全学特論	1		2			1					
	乾燥地土壌化学特論	1		2		1	1				オムニバス 担当教員の昇任により、教員配置を変更（29）	
	乾燥地動物生態学特論	1		2					1			
	乾燥地植物生態学特論	1		2			1		1		担当教員の昇任により、教員配置を変更（29）	
	乾燥地緑化学特論	1		2		1	1				オムニバス	
	乾燥地環境評価学特論	1		2			2	1			オムニバス	
	乾燥地植物資源学特論	1		2		1	1				オムニバス	
							1					
	乾燥地栽培環境学特論	1		2		1	2				オムニバス 担当教員の昇任により、教員配置を変更（29）	
									1			
	乾燥地分子生物学特論	1		2					2		オムニバス 担当教員の異動により、教員配置を変更（29）	
	乾燥地水資源学特論	1		2			1			1	オムニバス	
	乾燥地灌漑排水学 ^{特論}	1		2		1	1				オムニバス 表記誤りのため、科目名を変更（29）	
	乾燥地農業造構学特論	1		2		1	1				オムニバス	
	国際農業開発学 ^{特論}	1		2		1				1	オムニバス 表記誤りのため、科目名を変更（29）	
	国際教育特論	1		2							兼1	
	国際保健医学特論	1		2			1					
		1 ～										
	都市地域特論	1		2							兼1 4	
	日本社会事情特論	1		2							兼7	
						10	14		4			
	国際乾燥地科学特論 A	1		2		9	15	1	6		担当教員の昇任等により、教員配置を変更（29）	
						10	14		4			
	国際乾燥地科学特論 B	1		2		9	15	1	6		担当教員の昇任等により、教員配置を変更（29）	
	海外実践演習	2		1		1					兼1	
	国内実践演習	2		1		1					兼1	
						11			4			
	国際乾燥地科学特別演習	1・2通	12			9	15	1	6		担当教員の昇任・新規採用等により、教員配置を変更（29）	
						11			4			
	国際乾燥地科学特別演習	1・2通	4			9	15	1	6		担当教員の昇任・新規採用等により、教員配置を変更（29）	
	合計（71科目）		-	17	119	0	11 9	15	1	4 6	0	兼69

- (注)・認可申請書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・設置認可時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成28年度に認可(届出)された大学等は設置認可(届出)時)より変更されているものは赤字見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
 - ・なお、昨年度の報告書において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・兼任、兼任の教員が担当する授業科目については、備考欄に担当する教員数を「兼。」と記入してください。
 - ・授業科目を追加又は内容を変更する場合で、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査予定年月等を「備考」に記入してください。(今後審査を受ける場合には、「平成○年○月 提出予定」と記入してください。)
 - ・「配当年次」について、設置認可申請時に開講時期を記入する必要がなかった学部等(平成19年度認可以前)についても、設置認可時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。
 - ・履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

(2) 授業科目数

設 置 時 の 計 画				変 更 状 況				備 考
必 修	選 択	自 由	計 (A)	必 修	選 択	自 由	計	
科目 3	科目 68	科目 0	科目 71	科目 3	科目 68	科目 0	科目 71	
				[0]	[0]	[0]	[0]	

(注)・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに，[] 内に，設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合： 1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由，代替措置の有無
1		該当なし				
2						
3						

- (注)・ 設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず，何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお，理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については，記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は，「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由，代替措置の有無
1		該当なし				
2						
3						

- (注)・ 設置時の計画にあり，何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお，理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は，「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注)・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{0}{71} = \boxed{} \%$$

- (注)・ 小数点以下第3位を切り捨て，小数点以下第2位までを記入してください。
- ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が，「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容					備考		
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計		大学全体 その他のうち、 附属病院 51,492㎡		
	校 舎 敷 地	250,060 ㎡	0 ㎡	0 ㎡	250,060 ㎡				
	運動場用地	123,946 ㎡	0 ㎡	0 ㎡	123,946 ㎡				
	小 計	374,006 ㎡	0 ㎡	0 ㎡	374,006 ㎡				
	そ の 他	9,321,100 ㎡	0 ㎡	0 ㎡	9,321,100 ㎡				
	合 計	9,695,106 ㎡	0 ㎡	0 ㎡	9,695,106 ㎡				
(2) 校 舎		専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計		大学全体 別途附属病院 72,428㎡		
		132,192 ㎡ (132,192 ㎡)	0 ㎡ (0 ㎡)	0 ㎡ (0 ㎡)	132,192 ㎡ (132,192 ㎡)				
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設		持続性社会創生科学研究科国際乾燥地学専攻		
	9 室	32 室	5 室	0 室 (補助職員 0人)	0 室 (補助職員 0人)				
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数					
	持続性社会創生科学研究科 国際乾燥地科学専攻			27 室					
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等の 名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕 点	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	図書、学術雑誌及び視聴覚資料は、研究科及び専攻単位での特定不能なため、鳥取地区全体の数 機械・器具及び標本は、持続性社会創生科学研究科国際乾燥地科学専攻	
	持続性社会 創生科学研究科 国際乾燥地 科学専攻	541,091〔112,417〕 (541,091〔112,417〕)	9,944〔2,513〕 (9,944〔2,513〕)	4,040〔4,040〕 (4,040〔4,040〕)	4,725 (4,725)	4,230 (4,230)	13 (13)		
	計	541,091〔112,417〕 (541,091〔112,417〕)	9,944〔2,513〕 (9,944〔2,513〕)	4,040〔4,040〕 (4,040〔4,040〕)	4,725 (4,725)	4,230 (4,230)	13 (13)		
(6) 図 書 館	面 積		閱 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数		鳥取地区		
	4,380 ㎡		663 席		463,083 冊				
(7) 体 育 館	面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要					鳥取地区	
	2,261 ㎡		武道館，弓道場，陸上競技場，野球場，テニスコート，ラグビー兼サッカー場，水泳プール						
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	
		教員 1 人当り研究費等	- 千円	- 千円	図書購入費	- 千円	- 千円	- 千円	
	共 同 研 究 費 等	- 千円	- 千円	設備購入費	- 千円	- 千円	- 千円		
	学生 1 人当り 納付金	第 1 年次	第 2 年次	第 3 年次	第 4 年次	第 5 年次	第 6 年次		
	- 千円	- 千円	- 千円	- 千円	- 千円	- 千円			
	学生納付金以外の維持方法の概要		-						

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成29年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(29)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
 - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4 既設大学等の状況

大学 学 校 名 称	鳥 取 大 学								備 考
既設学部等の名称	修業 年限	入 定 学 員	編入学 定 員	収 容 定 員	学位又は 称号	平均入学 定員 超過率	開 設 年 度	所 在 地	
A C 対象学部等	年	人	年次 人	人		倍			
持続性社会創生科学研究科									
地域学専攻	2	20	-	40		0.75	平成29年度	鳥取県鳥取市湖山町 南4丁目101番地	
地域創生コース	2	10	-	20	修士 (地域学)	0.60	平成29年度	同上	
人間形成コース	2	10	-	20	修士 (教育学)	0.90	平成29年度	同上	
工学専攻	2	165	-	330	修士 (工学又は 学術)	1.18	平成29年度	同上	
農学専攻	2	46	-	92	修士 (農学)	0.78	平成29年度	同上	
国際乾燥地科学専攻	2	20	-	40	修士 (農学又は 学術)	0.95	平成29年度	同上	
< 学部 >									
地域学部									
地域学科	4	170	-	680	学士 (地域学)	1.08	平成29年度	鳥取県鳥取市湖山町 南4丁目101番地	
地域創造コース	4	60	-	240	学士 (地域学)	1.08	平成29年度	同上	
人間形成コース	4	55	-	220	学士 (地域学)	1.07	平成29年度	同上	
国際地域文化コース	4	55	-	220	学士 (地域学)	1.1	平成29年度	同上	
地域政策学科	4	-	-	-	学士 (地域学)	-	平成16年度	同上	平成29年度から学生 募集停止
地域教育学科	4	-	-	-	学士 (地域学)	-	平成16年度	同上	平成29年度から学生 募集停止
地域文化学科	4	-	-	-	学士 (地域学)	-	平成16年度	同上	平成29年度から学生 募集停止
地域環境学科	4	-	-	-	学士 (地域学)	-	平成16年度	同上	平成29年度から学生 募集停止
医学部									
医学科	6	105	2年次 5	655	学士 (医学)	1.00	昭和24年度	鳥取県米子市西町 86番地	
生命科学科	4	40	-	160	学士 (生命科学)	1.03	平成2年度	同上	
保健学科						1.01	平成11年度	同上	
看護学専攻	4	80	3年次 2	324	学士 (看護学)	1.01	平成11年度	同上	平成28年度から3年次編入 学定員を変更
検査技術科学専攻	4	40	-	160	学士 (保健学)	1.01	平成11年度	同上	平成28年度から3年次編入 学定員を変更
工学部									
機械物理系学科	4	115	-	460	学士 (工学)	1.01	平成27年度	鳥取県鳥取市湖山町 南4丁目101番地	

電気情報系学科	4	125	-	500	学士 (工学)	1.02	平成27年度	同上	
化学バイオ系学科	4	100	-	400	学士 (工学)	1.03	平成27年度	同上	
社会システム土木系学科	4	110	-	440	学士 (工学)	1.02	平成27年度	同上	
機械工学科	4	-	-	-	学士 (工学)	-	平成元年度	同上	平成27年度から学生募集停止
知能情報工学科	4	-	-	-	学士 (工学)	-	平成元年度	同上	平成27年度から学生募集停止
電気電子工学科	4	-	-	-	学士 (工学)	-	平成元年度	同上	平成27年度から学生募集停止
物質工学科	4	-	-	-	学士 (工学)	-	平成元年度	同上	平成27年度から学生募集停止
生物応用工学科	4	-	-	-	学士 (工学)	-	平成元年度	同上	平成27年度から学生募集停止
土木工学科	4	-	-	-	学士 (工学)	-	平成元年度	同上	平成27年度から学生募集停止
社会開発システム工学科	4	-	-	-	学士 (工学)	-	平成元年度	同上	平成27年度から学生募集停止
応用数理工学科	4	-	-	-	学士 (工学)	-	平成7年度	同上	平成27年度から学生募集停止
農学部									
生命環境農学科	4	220	-	880	学士 (農学)	1.05	平成29年度	鳥取県鳥取市湖山町南4丁目101番地	
生物資源環境学科	4	-	-	-	学士 (農学)	-	平成11年度	同上	平成29年度から学生募集停止
共同獣医学科	6	35	-	210	学士 (獣医学)	1.02	平成25年度	同上	
獣医学科	6	-	-	-	学士 (獣医学)	-	昭和24年度	同上	平成25年度から学生募集停止
< 大学院 >									
地域学研究科									
地域創造専攻	2	-	-	-	修士 (地域学)	-	平成19年度	鳥取県鳥取市湖山町南4丁目101番地	平成29年度から学生募集停止
地域教育専攻	2	-	-	-	修士 (教育学)	-	平成19年度	同上	平成29年度から学生募集停止
医学系研究科									
修士課程									
臨床心理学専攻	2	6	-	12	修士 (臨床心理学)	1.66	平成21年度	鳥取県米子市西町86番地	
博士課程									
医学専攻	4	30	-	120	博士 (医学)	1.00	平成16年度	同上	
博士前期課程									
生命科学専攻	2	10	-	20	修士 (生命科学)	1.00	平成6年度	同上	平成16年度、生命科学系専攻から名称変更
機能再生医科学専攻	2	11	-	22	修士 (再生医科学)	1.76	平成15年度	同上	
保健学専攻	2	14	-	28	修士 (保健学)	0.99	平成16年度	同上	
博士後期課程									
生命科学専攻	3	5	-	15	博士 (生命科学)	0.33	平成8年度	同上	平成16年度、生命科学系専攻から名称変更
機能再生医科学専攻	3	7	-	21	博士 (再生医科学)	0.42	平成15年度	同上	
保健学専攻	3	4	-	12	博士 (保健学)	1.58	平成20年度	同上	

工学研究科									
博士前期課程									
機械宇宙工学専攻	2	-	-	-	修士 (工学)	-	平成20年度	鳥取県鳥取市湖山町 南4丁目101番地	平成29年度から学生 募集停止
情報エレクトロニクス専攻	2	-	-	-	修士 (工学)	-	平成20年度	同上	平成29年度から学生 募集停止
化学・生物応用工学専攻	2	-	-	-	修士 (工学)	-	平成20年度	同上	平成29年度から学生 募集停止
社会基盤工学専攻	2	-	-	-	修士 (工学)	-	平成20年度	同上	平成29年度から学生 募集停止
博士後期課程									
機械宇宙工学専攻	3	6	-	18	博士 (工学)	0.38	平成20年度	同上	
情報エレクトロニクス専攻	3	6	-	18	博士 (工学)	0.33	平成20年度	同上	
化学・生物応用工学専攻	3	4	-	12	博士 (工学)	1.00	平成20年度	同上	
社会基盤工学専攻	3	5	-	15	博士 (工学)	0.40	平成20年度	同上	
農学研究科									
修士課程									
フィールド生産科学専攻	2	-	-	-	修士 (農学)	-	平成21年度	鳥取県鳥取市湖山町 南4丁目101番地	平成29年度から学生 募集停止
生命資源科学専攻	2	-	-	-	修士 (農学)	-	平成21年度	同上	平成29年度から学生 募集停止
国際乾燥地科学専攻	2	-	-	-	修士 (農学)	-	平成21年度	同上	平成29年度から学生 募集停止
連合農学研究科									
博士課程									
生物生産科学専攻	3	6	-	18	博士 (農学)	0.66	平成元年度	鳥取県鳥取市湖山町 南4丁目101番地	
生物環境科学専攻	3	4	-	12	博士 (農学)	1.00	平成元年度	同上	
生物資源科学専攻	3	4	-	12	博士 (農学)	0.83	平成元年度	同上	
国際乾燥地科学専攻	3	3	-	9	博士 (農学)	2.77	平成21年度	同上	

(注)・本調査の対象となっている大学等の設置者(学校法人等)が設置している全ての大学(学部,学科),大学院(専攻)及び短期大学(学科)(AC対象学部等含む)について,それぞれの学校種ごとに,平成29年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。

・学部の学科または研究科の専攻等,「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。

「入学定員を定めている組織ごと」には,課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。

なお,課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は,法令上規定されている組織上の最小単位(大学であれば「学科」,短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。

・専攻科に係るものについては,記入する必要はありません。

・AC対象学部等についても必ず記入してください。

・「平均入学定員超過率」には,標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点以下第2位まで(小数点以下第3位を切り捨て)を記入してください。

・学生募集を停止している学部等がある場合,入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「-」とし,「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。

5 教員組織の状況

<持続性社会創生科学研究科 国際乾燥地科学専攻（博士前期課程）>

（1）担当教員表

設 置 時 の 計 画					変 更 状 況					備 考
専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏 名 (年 齢)	就任予定年月	担当授業科目名	
専	教授	恒川 篤史 (56)	平成29年 4 月	持続性社会創生科学概論 1 乾燥地開発学特論 国際乾燥地科学特論 A 国際乾燥地科学特論 B 国際乾燥地科学特別演習 国際乾燥地科学特別演習						
専	教授	山中 典和 (58)	平成29年 4 月	持続性社会創生科学概論 1 乾燥地緑化学特論 国際乾燥地科学特論 A 国際乾燥地科学特論 B 国際乾燥地科学特別演習 国際乾燥地科学特別演習 インターンシップ インターンシップ 海外実践 海外実践 海外実践						
専	教授	山本 定博 (56)	平成29年 4 月	持続性社会創生科学概論 1 乾燥地土壌化学特論 国際乾燥地科学特論 A 国際乾燥地科学特論 B 国際乾燥地科学特別演習 国際乾燥地科学特別演習						
専	教授	辻本 壽 (58)	平成29年 4 月	持続性社会創生科学概論 1 乾燥地植物資源学特論 国際乾燥地科学特論 A 国際乾燥地科学特論 B 国際乾燥地科学特別演習 国際乾燥地科学特別演習						
専	教授	藤巻 晴行 (47)	平成29年 4 月	国際乾燥地科学特論 乾燥地灌漑排水学 国際乾燥地科学特論 A 国際乾燥地科学特論 B 国際乾燥地科学特別演習 国際乾燥地科学特別演習					国際乾燥地科学特論 (食糧・農業) 乾燥地灌漑排水学特論	教職課程認定申請に当たり授業内容を明確にするため、科目名を変更(29) 表記誤りのため、科目名を変更(29)

専	教授	安延 久美 (55)	平成29年 4 月	国際乾燥地科学特論 国際農業開発学 国際乾燥地科学特論 A 国際乾燥地科学特論 B 国際乾燥地科学特別演習 国際乾燥地科学特別演習					国際乾燥地科学特論 (人間開発) 国際農業開発学特論	教職課程認定申請に当たり授業内容を明確にするため、科目名を変更(29) 表記誤りのため、科目名を変更(29)
専	教授	緒方 英彦 (47)	平成29年 4 月	国際乾燥地科学特論 乾燥地農業造構学特論 国際乾燥地科学特論 A 国際乾燥地科学特論 B 国際乾燥地科学特別演習 国際乾燥地科学特別演習					国際乾燥地科学特論 (人間開発)	教職課程認定申請に当たり授業内容を明確にするため、科目名を変更(29)
専	教授	猪迫 耕二 (51)	平成29年 4 月	乾燥地生物環境物理学特論 国際乾燥地科学特論 A 国際乾燥地科学特論 B 国際乾燥地科学特別演習 国際乾燥地科学特別演習						
専	特別招聘 教授	THEIB OWELIS (67)	平成29年 4 月	トップサイエティスト レクチャ	専	特命 教授	PAOLO BILLI (65)	平成29年 4 月	トップサイエティスト レクチャ	平成29年 3 月担当教員就任辞退(29) 平成29年 4 月新規採用に伴い、授業計画を変更(29)
				国際乾燥地科学特論 A 国際乾燥地科学特論 B					国際乾燥地科学特論 A- 国際乾燥地科学特論 B-	平成29年 3 月担当教員就任辞退のため 削除(29) 平成29年 3 月担当教員就任辞退のため 削除(29)
				国際乾燥地科学特別演習 国際乾燥地科学特別演習	専	特命 教授	PAOLO BILLI (65)	平成29年 4 月	国際乾燥地科学特別 演習 国際乾燥地科学特別 演習	平成29年 3 月担当教員就任辞退(29) 平成29年 4 月新規採用に伴い、授業計画を変更(29) 平成29年 3 月担当教員就任辞退(29) 平成29年 4 月新規採用に伴い、授業計画を変更(29)
専	准教授	木村 玲二 (47)	平成29年 4 月	国際乾燥地科学特論 乾燥地気候・気象学特論 国際乾燥地科学特論 A 国際乾燥地科学特論 B 国際乾燥地科学特別演習 国際乾燥地科学特別演習					国際乾燥地科学特論 (環境)	教職課程認定申請に当たり授業内容を明確にするため、科目名を変更(29)
専	准教授	黒崎 泰典 (46)	平成29年 4 月	国際乾燥地科学特論 乾燥地気候・気象学特論 国際乾燥地科学特論 A 国際乾燥地科学特論 B 国際乾燥地科学特別演習 国際乾燥地科学特別演習					国際乾燥地科学特論 (環境)	教職課程認定申請に当たり授業内容を明確にするため、科目名を変更(29)

専	准教授	谷口 武士 (37)	平成29年 4 月	国際乾燥地科学特論 乾燥地緑化学特論 国際乾燥地科学特論 A 国際乾燥地科学特論 B 国際乾燥地科学特別演習 国際乾燥地科学特別演習					国際乾燥地科学特論 (環境)	教職課程認定申請に当たり授業内容を明確にするため、科目名を変更 (29)
専	准教授	田川公太郎 (45)	平成29年 4 月	国際乾燥地科学特論 乾燥地環境評価学特論 国際乾燥地科学特論 A 国際乾燥地科学特論 B 国際乾燥地科学特別演習 国際乾燥地科学特別演習					国際乾燥地科学特論 (環境)	教職課程認定申請に当たり授業内容を明確にするため、科目名を変更 (29)
専	准教授	真来佐和子 (43)	平成29年 4 月	国際乾燥地科学特論 乾燥地環境評価学特論 国際乾燥地科学特論 A 国際乾燥地科学特論 B 国際乾燥地科学特別演習 国際乾燥地科学特別演習					国際乾燥地科学特論 (環境)	教職課程認定申請に当たり授業内容を明確にするため、科目名を変更 (29)
専	准教授	安 萍 (46)	平成29年 4 月	国際乾燥地科学特論 乾燥地植物資源学特論 国際乾燥地科学特論 A 国際乾燥地科学特論 B 国際乾燥地科学特別演習 国際乾燥地科学特別演習					国際乾燥地科学特論 (食糧・農業)	教職課程認定申請に当たり授業内容を明確にするため、科目名を変更 (29)
専	准教授	西原 英治 (48)	平成29年 4 月	国際乾燥地科学特論 乾燥地栽培環境学特論 国際乾燥地科学特論 A 国際乾燥地科学特論 B 国際乾燥地科学特別演習 国際乾燥地科学特別演習					国際乾燥地科学特論 (食糧・農業)	教職課程認定申請に当たり授業内容を明確にするため、科目名を変更 (29)
専	准教授	山田 智 (50)	平成29年 4 月	国際乾燥地科学特論 乾燥地栽培環境学特論 国際乾燥地科学特論 A 国際乾燥地科学特論 B 国際乾燥地科学特別演習 国際乾燥地科学特別演習	教授				国際乾燥地科学特論 (食糧・農業)	平成29年 4 月昇任のため、職名を変更 (29) 教職課程認定申請に当たり授業内容を明確にするため、科目名を変更 (29)

専	准教授	遠藤 常嘉 (48)	平成29年 4 月	国際乾燥地科学特論 乾燥地土壌化学特論 国際乾燥地科学特論 A 国際乾燥地科学特論 B 国際乾燥地科学特別演習 国際乾燥地科学特別演習		教授			国際乾燥地科学特論 (食糧・農業)	平成28年 8 月昇任のため、職名を変更(29) 教職課程認定申請に当たり授業内容を明確にするため、科目名を変更(29)
専	准教授	清水 克之 (45)	平成29年 4 月	国際乾燥地科学特論 乾燥地灌漑排水学 国際乾燥地科学特論 A 国際乾燥地科学特論 B 国際乾燥地科学特別演習 国際乾燥地科学特別演習					国際乾燥地科学特論 (食糧・農業) 乾燥地灌漑排水学特論	教職課程認定申請に当たり授業内容を明確にするため、科目名を変更(29) 表記誤りのため、科目名を変更(29)
専	准教授	齊藤 忠臣 (40)	平成29年 4 月	国際乾燥地科学特論 乾燥地地圏環境保全学特論 国際乾燥地科学特論 A 国際乾燥地科学特論 B 国際乾燥地科学特別演習 国際乾燥地科学特別演習					国際乾燥地科学特論 (食糧・農業)	教職課程認定申請に当たり授業内容を明確にするため、科目名を変更(29)
専	准教授	大谷 眞二 (50)	平成29年 4 月	国際乾燥地科学特論 国際保健医学特論 国際乾燥地科学特論 A 国際乾燥地科学特論 B 国際乾燥地科学特別演習 国際乾燥地科学特別演習					国際乾燥地科学特論 (人間開発)	教職課程認定申請に当たり授業内容を明確にするため、科目名を変更(29)
専	准教授	安田 裕 (63)	平成29年 4 月	乾燥地水資源学特論 国際乾燥地科学特論 A 国際乾燥地科学特論 B 国際乾燥地科学特別演習 国際乾燥地科学特別演習						
専	准教授	兵頭 正浩 (36)	平成29年 4 月	乾燥地農業造構学特論 国際乾燥地科学特論 A 国際乾燥地科学特論 B 国際乾燥地科学特別演習 国際乾燥地科学特別演習						

専	特命 准教授	AYEHU NIGUSSIE HAREGEWEYN (44)	平成29年 4 月	国際乾燥地科学特論 乾燥地土地管理科学特論 国際乾燥地科学特論 A 国際乾燥地科学特論 B 国際乾燥地科学特別演習 国際乾燥地科学特別演習					国際乾燥地科学特論 (人間開発)	教職課程認定申請に当たり授業内容を明確にするため、科目名を変更(29)
					専	准教授	FEI PENG (33)	平成29年 4 月	国際乾燥地科学特別演習 国際乾燥地科学特別演習	平成29年 4 月 新規採用に伴い、授業計画を変更(29) 新規採用に伴い、授業計画を変更(29)
専	講師	池野なつ美 (31)	平成29年 4 月	国際乾燥地科学特論 乾燥地環境評価科学特論 国際乾燥地科学特論 A 国際乾燥地科学特論 B 国際乾燥地科学特別演習 国際乾燥地科学特別演習					国際乾燥地科学特論 (環境)	教職課程認定申請に当たり授業内容を明確にするため、科目名を変更(29)
専	助教	衣笠 利彦 (41)	平成29年 4 月	国際乾燥地科学特論 乾燥地植物生態学特論 国際乾燥地科学特論 A 国際乾燥地科学特論 B 国際乾燥地科学特別演習 国際乾燥地科学特別演習		准教授			国際乾燥地科学特論 (環境)	平成29年 4 月昇任のため、職名を変更(29) 教職課程認定申請に当たり授業内容を明確にするため、科目名を変更(29)
専	助教	BAYSASRES ELIAS (38)	平成29年 4 月	国際乾燥地科学特論 国際農業開発学 国際乾燥地科学特論 A 国際乾燥地科学特論 B 国際乾燥地科学特別演習 国際乾燥地科学特別演習					国際乾燥地科学特論 (人間開発) 国際農業開発学特論	教職課程認定申請に当たり授業内容を明確にするため、科目名を変更(29) 表記誤りのため、科目名を変更(29)
専	助教	伊藤 健彦 (46)	平成29年 4 月	乾燥地動物生態学特論 国際乾燥地科学特論 A 国際乾燥地科学特論 B 国際乾燥地科学特別演習 国際乾燥地科学特別演習						
専	助教	ELTAYEB HABORA AMIN ELSADIG (44)	平成29年 4 月	乾燥地分子生物学特論 国際乾燥地科学特論 A 国際乾燥地科学特論 B 国際乾燥地科学特別演習 国際乾燥地科学特別演習						

専	助教	岡本 昌憲 (39)	平成29年 4 月	乾燥地分子生物学特論 国際乾燥地科学特論 A 国際乾燥地科学特論 B 国際乾燥地科学特別演習 国際乾燥地科学特別演習					乾燥地分子生物学特論 国際乾燥地科学特論 A 国際乾燥地科学特論 B 国際乾燥地科学特別演習— 国際乾燥地科学特別演習—	平成29年 3 月担当教員他大学へ転出のため、削除 (29) 平成29年 3 月担当教員他大学へ転出のため、削除 (29) 平成29年 3 月担当教員他大学へ転出のため、削除 (29) 平成29年 3 月担当教員他大学へ転出のため、削除 (29) 平成29年 3 月担当教員他大学へ転出のため、削除 (29)
専	助教	吉岡 有美 (30)	平成29年 4 月	乾燥地水資源学特論 国際乾燥地科学特論 A 国際乾燥地科学特論 B 国際乾燥地科学特別演習 国際乾燥地科学特別演習						
兼担	教授	黒沢 洋一 (60)	平成29年 4 月	持続性社会創生科学概論 1						
兼担	教授	伊藤 壽啓 (58)	平成29年 4 月	持続性社会創生科学概論 1						
兼担	教授	安藤 孝之 (61)	平成29年 4 月	持続性社会創生科学概論 1 国際乾燥地科学特論 国際協力特論 日本社会事情特論					国際乾燥地科学特論 (人間開発) 日本社会事情特論	教職課程認定申請に当たり授業内容を明確にするため、科目名を変更 (29) 授業計画の見直しにより、削除 (29)
兼担	教授	小野 達也 (57)	平成29年 4 月	持続性社会創生科学概論 2						
兼担	教授	仲野 誠 (52)	平成29年 4 月	持続性社会創生科学概論 2	兼担	教授	仲野——誠 (52)	平成29年 4 月	持続性社会創生科学概論 2	平成28年10月担当教員死去のため、削除 (29)
				コミュニティ特論	兼担	准教授	稲津 秀樹 (33)	平成29年 4 月	コミュニティ特論	担当教員死去のため、担当教員を変更 (29)
兼担	教授	多田憲一郎 (56)	平成29年 4 月	持続性社会創生科学概論 2 地域経済学特論						
兼担	教授	霜村 典宏 (52)	平成29年 4 月	持続性社会創生技術論 1 生命環境農学特論					生命環境農学特論 (生産資源環境)	教職課程認定申請に当たり授業内容を明確にするため、科目名を変更 (29)
兼担	教授	河田 康志 (60)	平成29年 4 月	持続性社会創生技術論 2						
兼担	教授	日置 佳之 (59)	平成29年 4 月	生命環境農学特論					生命環境農学特論 (里地里山環境)	教職課程認定申請に当たり授業内容を明確にするため、科目名を変更 (29)
兼担	教授	古塚 秀夫 (63)	平成29年 4 月	生命環境農学特論					生命環境農学特論 (里地里山環境)	教職課程認定申請に当たり授業内容を明確にするため、科目名を変更 (29)
兼担	教授	永松 大 (48)	平成29年 4 月	生命環境農学特論					生命環境農学特論 (里地里山環境)	教職課程認定申請に当たり授業内容を明確にするため、科目名を変更 (29)
					兼担	教授	松田 敏信 (50)	平成29年 4 月	生命環境農学特論 (里地里山環境)	教育効果充実のため、担当教員を追加 (29) 教職課程認定申請に当たり授業内容を明確にするため、科目名を変更 (29)
					兼担	教授	大住 克博 (62)	平成29年 4 月	生命環境農学特論 (里地里山環境)	教育効果充実のため、担当教員を追加 (29) 教職課程認定申請に当たり授業内容を明確にするため、科目名を変更 (29)

					兼担	教授	長澤 良太 (61)	平成29年 4 月	生命環境農学特論 (里地里山環境)	教育効果充実のため、担当教員を追加 (29) 教職課程認定申請に当たり授業内容を 明確にするため、科目名を変更(29)
					兼担	教授	能美 誠 (59)	平成29年 4 月	生命環境農学特論 (里地里山環境)	教育効果充実のため、担当教員を追加 (29) 教職課程認定申請に当たり授業内容を 明確にするため、科目名を変更(29)
					兼担	教授	松村 一善 (49)	平成29年 4 月	生命環境農学特論 (里地里山環境)	教育効果充実のため、担当教員を追加 (29) 教職課程認定申請に当たり授業内容を 明確にするため、科目名を変更(29)
兼担	教授	田村 文男 (58)	平成29年 4 月	生命環境農学 特論					生命環境農学特論 (生産資源環境)	教職課程認定申請に当たり授業内容を 明確にするため、科目名を変更(29)
兼担	教授	會見 忠則 (50)	平成29年 4 月	生命環境農学 特論					生命環境農学特論 (生産資源環境)	教職課程認定申請に当たり授業内容を 明確にするため、科目名を変更(29)
					兼担	教授	山口 武視 (56)	平成29年 4 月	生命環境農学特論 (生産資源環境)	教育効果充実のため、担当教員を追加 (29) 教職課程認定申請に当たり授業内容を 明確にするため、科目名を変更(29)
					兼担	教授	中桐 昭 (60)	平成29年 4 月	生命環境農学特論 (生産資源環境)	教育効果充実のため、担当教員を追加 (29) 教職課程認定申請に当たり授業内容を 明確にするため、科目名を変更(29)
兼担	教授	東 政明 (60)	平成29年 4 月	生命環境農学 特論					生命環境農学特論 (生命環境科学)	教職課程認定申請に当たり授業内容を 明確にするため、科目名を変更(29)
兼担	教授	渡邊 文雄 (58)	平成29年 4 月	生命環境農学 特論					生命環境農学特論 (生命環境科学)	教職課程認定申請に当たり授業内容を 明確にするため、科目名を変更(29)
兼担	教授	田村 純一 (55)	平成29年 4 月	生命環境農学 特論					生命環境農学特論 (生命環境科学)	教職課程認定申請に当たり授業内容を 明確にするため、科目名を変更(29)
					兼担	教授	河野 強 (54)	平成29年 4 月	生命環境農学特論 (生命環境科学)	教育効果充実のため、担当教員を追加 (29) 教職課程認定申請に当たり授業内容を 明確にするため、科目名を変更(29)
					兼担	教授	石原 亨 (50)	平成29年 4 月	生命環境農学特論 (生命環境科学)	教育効果充実のため、担当教員を追加 (29) 教職課程認定申請に当たり授業内容を 明確にするため、科目名を変更(29)
					兼担	教授	一柳 剛 (46)	平成29年 4 月	生命環境農学特論 (生命環境科学)	教育効果充実のため、担当教員を追加 (29) 教職課程認定申請に当たり授業内容を 明確にするため、科目名を変更(29)
					兼担	教授	明石 欣也 (48)	平成29年 4 月	生命環境農学特論 (生命環境科学)	教育効果充実のため、担当教員を追加 (29) 教職課程認定申請に当たり授業内容を 明確にするため、科目名を変更(29)
					兼担	教授	児玉基一朗 (57)	平成29年 4 月	生命環境農学特論 (生命環境科学)	教育効果充実のため、担当教員を追加 (29) 教職課程認定申請に当たり授業内容を 明確にするため、科目名を変更(29)
兼担	教授	伊藤 敏幸 (63)	平成29年 4 月	グリーンサスティナ ブル-特論						
兼担	教授	大城 隆 (56)	平成29年 4 月	バイオ資源特論						
兼担	教授	坂口 裕樹 (56)	平成29年 4 月	エネルギー化 学特論						

兼担	教授	増井 敏行 (48)	平成29年 4 月	エネルギー化 学特論						
兼担	教授	片田 直伸 (51)	平成29年 4 月	エネルギー化 学特論						
兼担	教授	小畑 良洋 (61)	平成29年 4 月	サステナブル資源 利用特論						
兼担	教授	福山 敬 (50)	平成29年 4 月	地域経済学特 論						
兼担	教授	永松 利文 (54)	平成29年 4 月	戦略的経営論 マーケティング特論						
兼担	教授	松見 吉晴 (64)	平成29年 4 月	地域づくりと リノベーション						
兼担	教授	石井 晃 (60)	平成29年 4 月	計算社会科学						
兼担	教授	横田 孝義 (60)	平成29年 4 月	スマート社会 技術論						
兼担	教授	黒岩 正光 (51)	平成29年 4 月	自然災害科学 概論						
兼担	教授	西村 強 (57)	平成29年 4 月	自然災害科学 概論						
兼担	教授	香川 敬生 (54)	平成29年 4 月	自然災害科学 概論						
兼担	教授	檜谷 治 (58)	平成29年 4 月	自然災害科学 概論						
兼担	教授	谷口 朋代 (52)	平成29年 4 月	自然災害科学 概論						
兼担	教授	黒田 保 (49)	平成29年 4 月	自然災害科学 概論						
兼担	教授	CATES ALEXANDER KIPPEN (63)	平成29年 4 月	国際交流と異 文化理解						
兼担	教授	山下 博樹 (52)	平成29年 4 月	都市地域特論						
兼担	教授	池田 玲子 (59)	平成29年 4 月	日本社会事情 特論						
兼担	准教授	竹川 俊夫 (49)	平成29年 4 月	持続性社会創 生科学概論 2						
兼担	准教授	馬場 芳 (43)	平成29年 4 月	持続性社会創 生科学概論 2						
兼担	准教授	山岸 大輔 (41)	平成29年 4 月	起業・知財論						
兼担	准教授	吉野 公 (62)	平成29年 4 月	研究者倫理 自然災害科学 概論						
兼担	准教授	原 豊 (52)	平成29年 4 月	再生可能エネ ルギー特論						

兼任	准教授	中村 公一 (41)	平成29年 4 月	自然災害科学 概論							
兼任	准教授	塩崎 一郎 (56)	平成29年 4 月	自然災害科学 概論							
兼任	准教授	矢島 啓 (51)	平成29年 4 月	自然災害科学 概論	兼任	准教授	矢島——啓 (←51→)	平成29年 4 月	自然災害科学概論	平成28年 9 月担当教員他大学へ転出の ため、削除 (29)	
兼任	准教授	浅井 秀子 (56)	平成29年 4 月	自然災害科学 概論							
兼任	准教授	小野 祐輔 (43)	平成29年 4 月	自然災害科学 概論							
兼任	准教授	小林 伸行 (53)	平成29年 4 月	国際乾燥地科学 特論					国際乾燥地科学特論 (人間開発)	教職課程認定申請に当たり授業内容を 明確にするため、科目名を変更 (29)	
兼任	准教授	中 朋美 (41)	平成29年 4 月	文化多様性特論							
兼任	准教授	柿内 真紀 (51)	平成29年 4 月	比較国際教育 特論							
兼任	准教授	河合 務 (45)	平成29年 4 月	人間形成特論							
兼任	准教授	一盛 真 (53)	平成29年 4 月	人権教育特論	兼任					平成29年 3 月担当教員他大学へ転出の ため、兼任から変更 (29)	
兼任	准教授	竹田 洋志 (47)	平成29年 4 月	日本社会事情 特論							
兼任	准教授	崎原 麗霞 (51)	平成29年 4 月	日本社会事情 特論	兼任	准教授	崎原——麗霞 (←51→)	平成29年 4 月	日本社会事情特論	授業計画の見直しのため、削除 (29)	
兼任	准教授	DAGNACHEW AKLOG YIHUN (44)	平成29年 4 月	日本社会事情 特論							
兼任	准教授	ダラシエ・クレ・朴 (61)	平成29年 4 月	日本社会事情 特論	兼任	准教授	ダラシエ・クレ・朴 (←61→)	平成29年 4 月	日本社会事情特論	授業計画の見直しのため、削除 (29)	
兼任	講師	御館久里恵 (43)	平成29年 4 月	日本社会事情 特論							
兼任		未定		地域づくりの 心理学				平成29年 7 月		非常勤講師を任用予定 (29)	
兼任		坪 充 (49)	平成29年 4 月	トップサイエンティスト レクチャ	専	准教授	FEI PENG (33)	平成29年 4 月	トップサイエンティストレクチャ	平成29年 4 月 新規採用に伴う授業計画の変更により 教員配置を変更 (29)	
兼任		VINAY NANGIA (40)	平成29年 4 月	トップサイエンティスト レクチャ							
兼任		未定		トップサイエンティスト レクチャ				平成29年10月		平成29年10月就任予定 (29)	
兼任		未定		トップサイエンティスト レクチャ				平成29年10月		平成29年10月就任予定 (29)	
兼任		未定		サイエンティフィック・ ライティング	専	准教授	FEI PENG (33)	平成29年 4 月	サイエンティフィック・ライティング	平成29年 4 月 新規採用に伴う授業計画の変更により 教員配置を変更 (29)	
兼任		未定		サイエンティフィック・ ライティング・アド バンスド	専	特命 教授	PAOLO BILLI (65)	平成29年 4 月	サイエンティフィック・ライティング ・アドバンスド	平成29年 4 月 新規採用に伴う授業計画の変更により 教員配置を変更 (29)	

- (注) ・ 設置時の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 後任が決まっていない場合には、「後任未定」と記入してください。
 - ・ 辞任者は「備考」に退職年月、氏名、理由を記入してください。
 - ・ 年齢は、「**設置時の計画**」には当該学部等の就任時における満年齢を、「**変更状況**」には平成29年5月1日現在の満年齢を記入してください。
 - ・ 教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合(「新規採用」、「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。)は、変更後の状況を記入するとともに、その理由、後任者が決まっていない場合は、「変更状況」の「氏名」に「後任未定」と記入し、及び今後の採用計画を「備考」に記入してください。
 - ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査(AC教員審査)を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 - ・ 「専任教員採用等変更書(AC)」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「○年○月教員審査済」、変更書を提出予定の場合は「○年○月変更書提出予定」と記入してください。
なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「備考」に「(教員審査省略)」及びその変更の理由、変更年度()書き等のみを記入してください。

(2) 専任教員数等

(2) ー① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における設置基準上の必要研究指導教員数	うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数	完成年度時における設置基準上の必要研究指導補助教員数
4 名	3 名	2 名

(注)・大学院に専攻ごとに置くものとする教員の数について定める件(平成十一年九月十四日文部省告示第百七十五号)により算出される教員数を記入してください。

(2) ー② 専任教員数

設置時の計画					現在(報告書提出時)の状況					現在(報告書提出時)の完成年度時の計画				
教授	准教授	講師	助教	計	教授	准教授	講師	助教	計(A)	教授	准教授	講師	助教	計(B)
9	15	1	6	31	11	15	1	4	31	11	15	1	4	31
(11)	(15)	(1)	(4)	(31)						[2]	[0]	[0]	[2]	[0]
研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数			研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数			研究指導教員数	研究指導補助教員数	講義のみ担当の教員数		
23	8	0			23	8	0			23	8	0		
(23)	(8)	(0)								[0]	[0]	[0]		

(注)・「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、()内に開設時の状況を記入してください。
 ・「現在(報告書提出時)の状況」には、報告書提出年度の5月1日の教員数(実人数)を記入してください。
 ・「現在(報告書提出時)の完成年度時の計画」には、報告書提出年度の5月1日現在、完成年度時に計画している教員数を記入するとともに、[]内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例: 1名減の場合: 1)

(2) ー③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢(歳)	報告書提出時(上記(A))の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時(上記(B))の教員のうち、定年を延長して採用する教員数
65 歳	0 名	0 名

(注)・「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢(特例等による定年年齢ではありません)、および、平成29年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。
 ・専門職大学院の場合は、「研究指導教員」を「研究者教員」と、「研究指導補助教員」を「実務家教員」と修正して記入してください。

(3) 一① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

(注)・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した**全ての専任教員**の就任辞退の理由を具体的に記入してください。

・ 「就任辞退(未就任)」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) 専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。

・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退(未就任)」の理由に就任辞退の理由等および「書きで報告年度を記入してください。

・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「」「～」「」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

(3) -② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

(注)・一度就任した後に、辞任した全ての専任教員の辞任の理由を具体的に記入してください。

・昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および()書きで報告年度を記入してください。

・また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「 」～「 」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

上記(3) - ① ・ (3) - ② の合計

(注)・ 就任辞退(未就任)及び辞任した全専任教員について、教員数、担当科目数の合計、後任補充の状況を記入ください。

（４）専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

大学の所見...就任辞退した専任教員の担当科目にあっては、他の専任教員が当該科目を担当するため、科目の未開講がないことから、学生への影響はない。
学生への周知方法...履修の手引きの冊子類等により周知している。

（注）・ 上記（３）の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

6 留意事項等に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項 等	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
設 置 時 (○○年○○月)			
設置計画履行状況 調 査 時 (年2月)	該当なし		
設置計画履行状況 調 査 時 (□□年2月)			
設置計画履行状況 調 査 時 (●●年2月)	・同一設置者が設置する既設学部等(○○学科、●●学科)の～すること。		

- (注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時(認可時又は届出時)に付された留意事項(学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。)と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を()書きで付記してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された意見に対する履行状況等について、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
 - ・ 同一設置者が設置する既設学部等に付された意見は、当該大学から提出される全ての報告書に記入してください。
 - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査時」の(年月)には、調査結果を公表した月(通常2月)を記入してください。(実地調査や面接調査を実施した日ではありません。)

7 その他全般的事項

<持続性社会創生科学研究科 国際乾燥地科学専攻（博士前期課程）>

（１）設置計画変更事項等

設 置 時 の 計 画	変更内容・状況，今後の見通しなど
該当なし	

（注）・ １～６の項目に記入した事項以外で，設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
 ・ 設置時の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し，それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。（記入例参照）

（２）教員の資質の維持向上の方策（FD活動含む）

実施体制 a 委員会の設置状況 鳥取大学教育支援委員会（常置委員会） 規則は別紙のとおり b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む） 年１０回程度（委員会規則により組織された委員の過半数の出席をもって開催している。） 〔FD活動については，別途，教育支援・国際交流推進機構及び各部局等がそれぞれ行っている。〕 c 委員会の審議事項等 一 教育方針・教育計画の立案及び実施に関すること。 二 教育に関連する中期目標・計画等の運営の基本方針に関すること。 等 実施状況 a 実施内容 ・ 新任FD研修会 ・ 全学FD研修会 ・ 全学FD講演会 ・ 授業公開 ・ 英語で効果的に教える方法 b 実施方法 教育支援・国際交流推進機構が行うFD活動については，機構長を中心に，実施・運営を教育センターが行っている。 ・ 新任FD研修会については参加を必須とする。 ・ その他のFD研修会及び講演会等は，任意または部局から推薦された者が参加する。 c 開催状況（教員の参加状況含む） 平成２７年度及び平成２８年度については，大学全体のFD活動参加率は７５％となっている。 d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況 ・ 不定期に教育支援委員会に報告し，各学部等委員へ報告している。 学生に対する授業評価アンケートの実施状況 a 実施の有無及び実施時期 各学期（若しくはクォーター）の中間期並びに学期末毎に各１回行う。 （学期末アンケートはすべての教員について必須であり，中間期に行うアンケートについては，採用後３年以内の教員のみが必須となる。） b 教員や学生への公開状況，方法等 学期末アンケートについて，本学ホームページに，「科目名」，「アンケート回答数」，「評価平均値」を公開している。

（注）・ 「 a 委員会の設置状況」には，関係規程等を転載又は添付すること。
 「 実施状況」には，実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 自己点検・評価等に関する事項

設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見
設置初年度における研究科の運営については概ね計画どおりであるが、設置の趣旨・目的の達成のため、課題の克服や更なる教育改善に取り組んでいくこととしたい。

自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

未定

b 公表方法

未定

認証評価を受ける計画

・平成33年度に評価機関（独立行政法人大学改革支援・学位授与機構）の評価を受ける予定

（注）・設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(4) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

a ホームページに公表の有無

(有 ・ 無)

b 公表時期（未公表の場合は予定時期）

(平成29年 9月 1日)

○鳥取大学教育支援委員会規則

平成16年4月9日
鳥取大学規則第74号

(趣旨)

第1条 この規則は、鳥取大学の管理運営に関する規則(平成16年鳥取大学規則第57号)第18条第6項の規定に基づき、鳥取大学教育支援委員会(以下「委員会」という。)に関し必要な事項を定めるものとする。

(審議事項)

第2条 委員会は、次に掲げる事項を審議する。

- 一 教育方針・教育計画の立案及び実施に関すること。
- 二 教育に関連する中期目標・計画等の運営の基本方針に関すること。
- 三 その他大学教育に関すること。

(組織)

第3条 委員会は、次に掲げる者をもって組織する。

- 一 理事(教育担当)(以下「理事」という。)
- 二 各学部(工学部を除く。)の学部長又は副学部長(教務担当)
- 三 工学研究科の研究科長又は副研究科長(教務担当)
- 四 教育センター長及び教員養成センター長
- 五 学生部長及び学生部教育支援課長
- 六 その他委員長が必要と認めた者

2 前項第6号の委員の任期は、委員長がその都度定める。

(委員長)

第4条 委員会に委員長を置き、理事をもって充てる。

- 2 委員長は、委員会を招集し、その議長となる。
- 3 委員長に事故があるときは、委員長があらかじめ指名した委員がその職務を代理する。

(議事)

第5条 委員会は、委員の過半数の出席をもって開くものとする。

2 委員会の議事は、出席した委員の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

(意見の聴取)

第6条 委員会が必要と認めたときは、委員以外の者の出席を求め、その意見を聴くことができる。

(専門委員会)

第7条 委員会に、専門的事項を調査審議するため、専門委員会を置くことができる。

2 前項の専門委員会に関し必要な事項は、別に定める。

(事務)

第8条 委員会の事務は、学生部教育支援課において処理する。

(雑則)

第9条 この規則に定めるもののほか、委員会の運営に関し必要な事項は、委員会の議を経て、委員長が定める。

附 則

- 1 この規則は、平成16年4月9日から施行し、平成16年4月1日から適用する。
- 2 鳥取大学全学教育委員会規則(平成14年鳥取大学規則第3号)は、廃止する。

附 則(平成18年12月14日鳥取大学規則第144号)

- 1 この規則は、平成19年1月1日から施行する。ただし、第3条及び第7条の改正規定並びに次項の規定は、平成19年4月1日から施行する。

2 鳥取大学教育支援委員会に設置する専門委員会に関する細則（平成14年鳥取大学規則第5号）は、廃止する。

附 則（平成19年3月14日鳥取大学規則第20号）

この規則は、平成19年4月1日から施行する。

附 則（平成20年3月25日鳥取大学規則第27号）

この規則は、平成20年4月1日から施行する。

附 則（平成20年5月21日鳥取大学規則第72号）

この規則は、平成20年5月21日から施行し、改正後の鳥取大学教育支援委員会規則の規定は、平成20年4月1日から適用する。

附 則（平成21年6月22日鳥取大学規則第66号）

この規則は、平成21年6月22日から施行し、改正後の鳥取大学教育支援委員会規則の規定は、平成21年4月1日から適用する。

附 則（平成22年3月30日鳥取大学規則第59号）

この規則は、平成22年4月1日から施行する。

附 則（平成22年6月21日鳥取大学規則第96号）

この規則は、平成22年6月21日から施行し、改正後の鳥取大学教育支援委員会規則の規定は、平成22年4月1日から適用する。

附 則（平成23年4月18日鳥取大学規則第52号）

この規則は、平成23年4月1日から施行する。

附 則（平成25年2月5日鳥取大学規則第4号）

この規則は、平成25年2月5日から施行する。

附 則（平成27年3月24日鳥取大学規則第28号）

この規則は、平成27年4月1日から施行する。